

REGZA

4K 液晶テレビ

形名 43M550K/50M550K/55M550K/
65M550K/75M550K



「付属品を確認する」、
「テレビを設置する」、
「かんたん初期設定」などの
準備は 14ページ～29ページ
をご覧ください。

安全上のご注意

準備をする

本機の利用について

テレビを見る

録画機器を使う

接続機器を使う

インターネット
を楽しむ

調整・設定をする

さまざまな情報

困ったときには

使用上のお願いと
ご注意

★ インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービスや、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。

◆お客様登録サイト<レグザ メンバーズ>に登録をお願いします◆

「レグザ メンバーズ」は、映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※Web限定のサービスです。

<https://store.regza.com/members/>



- ：必ず本製品をご利用いただく前に
「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」142ページをご覧ください。
- ：必ず最初に「安全上のご注意」9ページをご覧ください。
- ：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
「困ったときには」146ページをご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

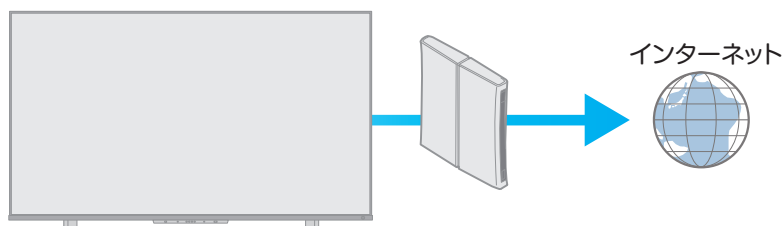
本機の特長 ～こんなことができます～

★Android TV™で楽しむ

本機はAndroid TVをプラットフォームとしており、Android TVに対応したさまざまなアプリなどを、大きな画面で楽しむことができます。
また、Googleアシスタントによる音声操作や検索にも対応しています。

★クラウドサービスで楽しむ

ネットワークを使って、録画した番組やこれから放送される番組から、見たい番組やおすすめの番組を検索できます。また、タレントや好みのテーマに関する番組をおまかせ録画できます。録画した番組は、シーン情報を使って楽しむこともできます。



★新4K8K衛星放送を視聴できる

2018年12月より放送を開始した「BS・110度CSの4K放送」に対応したチューナーを内蔵しています。数々の魅力的な番組が高画質、臨場感あふれる映像で楽しめます。

※ 8K放送の視聴には対応していません。

★4K画質を楽しむ

フルHD映像を4Kパネルと4K高画質化機能で、よりきれいな画質で楽しむことができます。市販の4K画質対応機器※を接続して、より高精細な映像・画質を楽しむことができます。さまざまな4K放送や、4K画質の動画配信サービスに対応しており、4K画質を楽しむことができます。

※ すべての4K画質対応機器を接続して視聴できることを保証するものではありません。

録画する

58頁～66頁

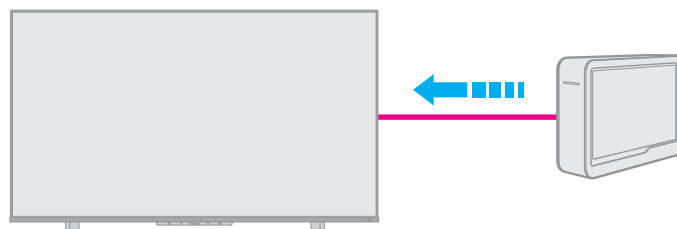
市販のUSBハードディスクにデジタル放送の録画・予約録画ができます。



見る

67頁～75頁

市販のUSBハードディスクに録画した番組の再生ができます。



オンタイマー、オフタイマー機能

46頁～47頁

- オンタイマーでは、設定した時刻に、指定したチャンネルと音量で本機の電源がはいります。オフタイマーでは、設定した時間後に電源を「待機」にできます。

多彩な映像メニュー

106頁

- 周囲の明るさと見ている映像に合わせて、常に見やすい画質で表示される「おまかせAI」のほかに、周囲の環境や映像に合わせて選択できる「あざやか」、「標準」、「映画プロ」、「ゲーム」などの多彩な映像メニューが用意されています。
- お好みに合わせて調整することもできます。106頁～111頁

節電機能

45頁

- 「節電1」、「節電2」の二つの節電モードが用意されています。

もくじ

安全上のご注意	9
---------------	---

準備をする

付属品を確認する	14	地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合	23
各部のなまえ	15	地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合 (マンションの共聴アンテナなど)	23
前面	15	録画機器を経由する場合	24
背面	15	リモコンの準備をする	25
本体操作ボタンと入出力端子	16	乾電池を入れる	25
リモコン	17	リモコンコードについて	25
スタンドを取り付ける	18	リモコンの使用範囲について	25
テレビを設置する	20	電源を入れる	26
正しい置きかた	20	電源を入れる	26
転倒・落下防止のしかた	20	電源を「待機」にする	26
デジタル放送の種類と特徴	21	お願い…電源プラグの取り扱いについて	26
アンテナを接続する	22	「かんたん初期設定」をする	27
お願いとご注意	22	Googleアカウントについて	27
BS・110度CSの4K放送を視聴する 場合のご注意	22	「かんたん初期設定」をする	27
		「かんたん初期設定」をやり直すとき	29

本機の利用について

Android TVを使う	30	ネット動画を楽しむ	31
ホーム画面について	30	Googleアシスタントを使う	31
アプリ画面について	31	Android端末の画面をテレビに表示する	31

テレビを見る

テレビ番組を楽しむ	32	便利な機能を使う	44
リモコンで番組を選ぶ	32	画面サイズを切り換える	44
音量を調節する／音を一時的に消す ／字幕を表示させる	33	降雨対応放送について	44
本体ボタンによる「機能切換」について	33	他の映像・音声を切り換える	44
操作ガイドについて	34	映像を静止させる	45
サブメニューについて	35	画面を一時的に消す	45
番組情報や番組説明を見る	36	映像の詳細情報を表示させる	45
番組情報を見る	36	Dolbyの通知を表示しない設定にする	45
番組説明を見る	36	省エネ設定をする	45
番組表で番組を探す	37	声を聴き取りやすくする	46
番組表を使う	37	ヘッドホンで聴く	46
番組表を便利に使う	38	自動で電源が入るようにする	46
条件を絞りこんで番組を探す	41	自動で電源が切れるようにする	47
データ放送やラジオ放送を楽しむ	43		
連動データ放送を楽しむ	43		
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	43		

録画機器を使う

録画機器の準備をする 48

- 録画・予約機能について 48
 - 録画できる機器と番組 48
 - 接続・設定と録画前の準備 48
- USBハードディスクの接続をする 49
- USBハードディスクの設定をする 50
 - USBハードディスクを本機に登録する 50
 - USBハードディスクの設定をする 50
- 録画の基本的な設定をする 52
 - 録画に使用する機器を設定する 52
 - チャプター分割のしかたを設定する 52

ホームネットワーク機器の準備をする 53

- ホームネットワークについて 53
- ホームネットワークの接続をする 54
 - 機器を接続する 54
 - 機器のネットワーク設定を確認する 55
- ホームネットワークの設定をする 56
 - 接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～ 56
 - 接続機器を本機から起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～ 57

録画・予約をする 58

- 見ている番組を録画する 58
- 番組表で予約をする 59
 - メッセージが表示された場合 59
 - マルチ表示の番組表で予約するとき 59
- 連続ドラマを予約する 60
- 番組ガイドで番組を予約する 61
- 日時を指定して予約をする
 - ／番組を検索して録画・予約をする 62
 - 日時を指定して予約をする 62
 - 番組を検索して録画・予約をする 62

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき 63

予約の確認・変更・取り消しをする 64

おまかせ録画 65

おまかせ録画に必要な準備 65

おまかせ録画について 65

予約・録画の優先順位と予約の動作について 66

予約・録画の優先順位について 66

予約の動作について 66

再生する 67

録画した番組を再生する 67

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた 67

録画番組の再生中にできるリモコン操作 68

録画番組の情報や番組説明を見る 69

録画番組を修復する 69

シーン/出演者の情報を見る 69

見たい録画番組を探して再生する 70

録画リストのさまざまな機能を使う 72

番組を並べ替える 72

おまかせ録画番組を通常録画番組に変更する 72

ほかの機器を選択する 72

機器の情報を確認する 72

ざんまいスマートアクセスで楽しむ 73

ざんまいスマートアクセスで

お好みの番組を選ぶ 73

不要な録画番組を消す ／誤って消さないように保護する 75

不要な録画番組を消す

／誤って消さないように保護する 75

録画番組を消す 75

自動的に消す(自動削除設定) 75

誤って消さないように保護する 75

もくじ っづき

接続機器を使う

外部機器を接続する	76
外部機器接続例	76
デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき	78
レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき	78
外部入力機能を設定する	79
入力切替時に画面に表示される機器名を設定する	79
HDMI入力の設定を変更する	79
Bluetooth機器を接続する	81
Bluetooth機器と接続(ペアリング)する	81
USB機器を接続する	82
記録メディアを接続したとき	82
レグザリンクについて	83
レグザリンク機能でできること	83
HDMI連動機能について	84
本機のリモコンでHDMI連動機器を 操作するための設定をする	85
外部入力の画面に切り換える	86
本機のリモコンで対応機器を操作する	87
機器を操作する	87
本機のリモコンでできるおもな操作	89
レグザサウンドシステムで聴く	90
レグザサウンドシステムの音声を設定する	90
オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く	91
オーディオ機器のスピーカーで聴く	91

動画を再生する	92
動画再生の操作	92
動画の音声を切り換える	93
動画の字幕を切り換える	93
動画の画面サイズを切り換える	93
動画の再生方法を設定する	93
時間を指定して再生する(タイムサーチ)	93
動画ファイルの情報を見る	93
プレイリストを見る	93
画面を非表示にする	93
音楽を再生する	94
音楽再生の操作	94
音楽再生時にできるリモコン操作	95
歌詞を表示する	95
歌詞のデコードを変更する	95
音楽ファイルの情報を見る	95
プレイリストを見る	95
画面を非表示にする	95
写真を再生する	96
写真再生の操作	96
サムネイル画面表示中の操作	97
自動的に順番に再生する(スライドショー)	97
スライドショーの設定を変更する	97
写真を回転する	97
写真の表示サイズを切り換える	97
写真ファイルの情報を見る	97
プレイリストを見る	97

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する 98

インターネットを利用するための接続をする	98
本機をインターネットに接続したときにできること	98
接続のしかた(有線LANの場合)	98
インターネットを利用するための設定をする	99
LANの設定をする	99
ネットワーク情報	99
接続テスト	100
ネットワーク設定の接続テスト結果について	100
クラウドサービスの情報を初期化する	101

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ 103

クラウドサービスと ネットワークサービスについて	103
クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備	103
レグザプライバシー設定を変更する	103
レグザナビを使う	104
レグザナビについて	104
動画配信サービスを楽しむ	105
動画配信サービスを楽しむ	105

調整・設定をする

映像を調整する 106

- お好みの映像メニューを選ぶ 106
- お好みの映像に調整する 106
 - 黒レベル 107
 - 色の濃さ 107
 - 色あい 107
 - 精細感・ノイズ調整 107
 - コントラスト感調整 108
 - 色詳細調整 109
 - プロ調整 109
 - キャリブレーション 110
 - その他の映像設定 110
 - お好み調整を初期値に戻す
／映像調整を初期値に戻す 111
 - テレビの電源ランプを消灯する 111

音声を調整する 112

- お好みの音声メニューを選ぶ 112
- お好みの音声に調整する 112
 - Dolby Atmos 112
 - サラウンド 112
 - サウンドリマスター 113
 - 重低音 113
 - イコライザー 113
 - オートボリューム 113
 - 音声詳細設定 113

その他の設定をする 115

- アンテナを調整する 115
 - 電波の強さ(信号強度)を確認する 115
 - BS・110度CS 4K放送の受信環境を
確認したいとき 116

さまざまな情報

- ソフトウェアを更新する 130
 - ソフトウェアの更新機能について 130
 - ソフトウェアの自動ダウンロードについて 130
 - サーバーから手動でダウンロードする 131
 - ソフトウェアのバージョンを確認するには 131
- お知らせを見る 132
- ACASチップ情報を確認する 133
 - ACASチップ情報を確認する 133
- 文字を入力する 134
- アイコン一覧 135
 - 番組についてのアイコン 135
 - お知らせ、予約、その他についてのアイコン 135

- アンテナを調整する 116
- 地上デジタルアッテネーター設定を変更する 116
- BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する 116
- アンテナ線がショートしたとき 116

- チャンネルを追加したり
設定を変更したりするとき 117
 - 地上デジタルチャンネルを自動で設定する 117
 - チャンネルをお好みに手動で設定する 118
 - 視聴しないチャンネルをスキップする 119

- データ放送の設定をする 120
 - 地域と郵便番号を設定する 120
 - 災害発生時に文字情報を表示させる 120

- 視聴できる番組やアプリを制限する 121
 - 制限するために暗証番号を設定する 121
 - 番組の視聴を制限する 121
 - ネットワークサービスの利用を制限する 122
 - アプリのインストールを制限する 123

- リモコンの設定を変更する 124
 - リモコンを登録する 124
 - 2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する 124
 - 使わない放送切換ボタンの操作を無効にする 124

- Android TV™の設定を変更する 125
 - Android TVの設定を変更する 125
 - Googleアシスタントの設定を変更する 126

- お買い上げ時の設定に戻すには
(設定内容を初期化するには) 127

設定メニュー一覧 128

- Basic Operations 136
- 画面サイズについて 138
- 対応フォーマット 140
 - 本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット 140
 - 本機で再生できるファイルのフォーマット 140
- ライセンスおよび商標などについて 141
- 本製品のご利用に関する重要なお知らせ 142

もくじ っづき

困ったときには

こんな場合は故障ではありません	146
故障かな？と思ったら	146
症状に合わせて解決法を調べる	147
テレビが操作できなくなったとき	
ーテレビをリセットする	147
操作	148
映像	148
音声	149
地上デジタル放送	150
BS・110度CSデジタル放送	150
番組表	151

お知らせアイコン  が何度も表示される	152
録画・再生	152
HDMI連動機能	154
クラウドサービスやネットワークサービスが 利用できない	155
エラーメッセージが表示されたとき	157
全般	157
USBハードディスクに関するエラー表示	157
東芝レコーダーに録画・予約をするときの エラー表示	158
LAN端子を使った通信に関するエラー表示	158
BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示	159

使用上のお願いとご注意

使用上のお願いとご注意	160
取り扱いについて	160
電源プラグをコンセントから抜く際のご注意	160
遠隔操作について	160
録画・録音について	160
4K映像の表示について	160
本機の無線LAN/Bluetoothを 使う際のお願い	160
無線LAN製品ご使用における セキュリティに関するご注意	162
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	162
免責事項について	162

お手入れについて	163
お手入れの際のご注意	163
キャビネットと画面のお手入れ	163
ソフトウェアのバージョンアップ予定	164
バージョンアップで追加を予定している機能	164

仕様	165
さくいん	167
保証とアフターサービス	171

この取扱説明書内のマークの見かた

-  **お知らせ** 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
-  **用語** 用語の説明をしています（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）。
-  関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

-  **お願い** 取扱上のお願いを記載しています。
-  **ご注意** 取扱上のご注意を記載しています。



- この取扱説明書は、43M550K / 50M550K / 55M550K / 65M550K / 75M550Kで共用です。記載しているイラストは43M550Kのものです。本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の表示画面は変更される可能性があります。
- 当社サポートサイト(<https://www.regza.com/regza/support/>)の「取扱説明書(マニュアル)ダウンロード」には最新の取扱説明書を掲載しており、製品発売後に追加公開された説明資料が掲載される場合もありますので、本書でお探しの情報が見つからないときは、合わせてご確認ください。

ご使用の前に ～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されること”を示します。 ^{*1}
 注意	“取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。 ^{*2} ^{*3}

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁 止	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“  ”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 内部に水や異物がはいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したまま取り扱おうと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

安全上のご注意 つづき



警告

異常や故障のとき つづき

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にし、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指 示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

- ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない



禁 止

テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。

多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- ・ スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- ・ 本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- ・ 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- ・ 背の高い家具(食器棚や本棚など)の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- ・ 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- ・ お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

- 振動のある場所に置かない



振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



指 示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- 電源コードのコネクターは、本機のAC IN端子に確実に差し込む



指 示

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差し込み部分のゆるみがないかご確認ください。

- 上にものを置いたり、ペットをのせたりしない



上載せ禁止

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

- 転倒・落下防止の処置をする



指 示

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは「[20](#)」をご覧ください。

- 壁掛け金具をテレビに取り付ける場合にはテレビ本体に取り付けてあるネジは使用しない。



禁 止

壁掛け金具側で指定されているネジを使用しないと、テレビが脱落してけがの原因となります。

- 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する



指 示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

警告

■ 壁に取り付けて使用する場合には、垂直な壁面に取り付け角度0°で設置する

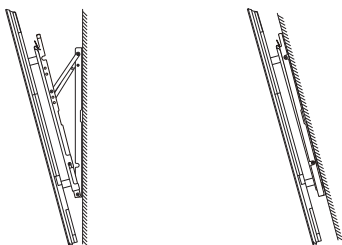


本機の取付角度は(垂直な壁面に対して) 0°のみに対応しています。取付金具で傾けた設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合には、



- 取付金具で傾けた設置はしない
- 傾斜した壁面へは設置しない



取付金具で傾けた設置や、傾斜した壁面への設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近付けるなど)しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない



通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意する



かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する



付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する



電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

安全上のご注意 つづき



設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください(10cm以上の間隔をあける)。

押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。

テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

じゅうたんや布団の上に置かないでください。

あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない



禁止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



指示

● 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、二人以上で取り扱う

一人で取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。

● 離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす

はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

● 車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す

テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。

● 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う

テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ 位置を調整する場合は、本体下面の手掛け部を持って調整する



指示

パネルに無理な力が加わると、パネルが破損するおそれがあります。

■ 車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



指示

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。

畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ テレビ台を使用するときは、



禁止

- 不安定な台を使わない
- 片寄った載せかたをしない
- テレビ台の扉を開けたままにしない
- 耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない

● テレビ台の端からはみ出さない

● 本機とテレビ台の間には布など何も敷かない
倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁止

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない



めれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ テレビやテレビ台にぶら下がったり、上に乗ったりしない



禁止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

注意

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。本体底面にある本体ボタンの中央部やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ リモコンに使用している乾電池は、



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない

- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない



禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に触れないでください。もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない



禁止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります(詳しくは、右の「お知らせ」をご覧ください)。

テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ(ケミカルストレスクラック)の原因となるものもあります。「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜け

感電の原因となることがあります。お手入れのしかたは「163」をご覧ください。(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」「160」をお読みください)

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください



指示

本体の内部にホコリがたまったら使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ お手入れや、画面の向きを変える際に、



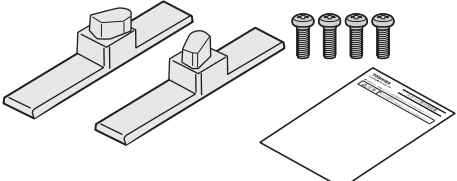
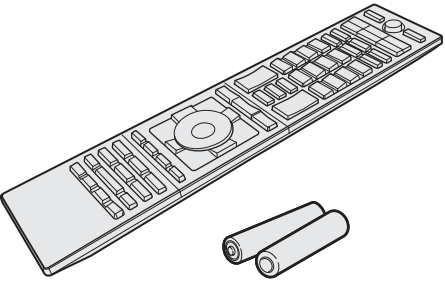
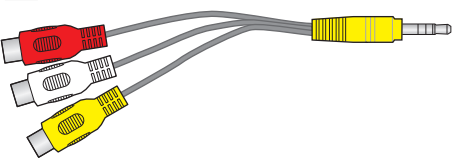
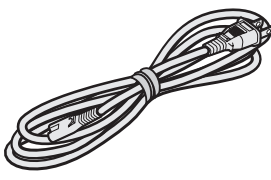
禁止

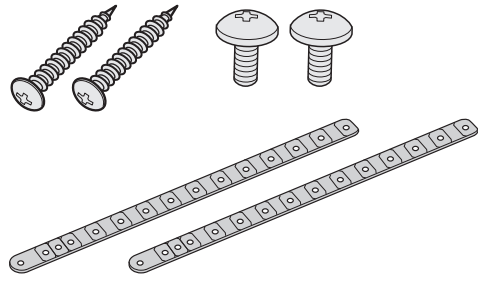
- 画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない
- 画面のみを押したり、引っ張ったりしない

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。お手入れのしかたは「163」をご覧ください。

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド スタンド取付説明書 ● 本体に取り付けます。   ネジ: 43/50/55M550K:M4ネジ(4本) 65/75M550K:M5ネジ(4本) ※イラストは43M550K用です。	1 式*
リモコン(CT-90495) 単四形乾電池 	リモコン 1 個 乾電池 2 個
変換ケーブル ● ビデオ入力端子に機器を接続する場合に使います。  	1 本
電源コード 	1 本

付属品/名称	付属数
ネジ (長)、ネジ (短)、転倒防止用バンド ● テレビの転倒・落下防止に使います。  	ネジ (長) 2 本 ネジ (短) 2 本 バンド 2 本
取扱説明書(本書) 「レグザ メンバーズ」の登録チラシ	各 1 部

※ B-CASカードは付属していません(A C A Sチップが搭載されています)。



※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。



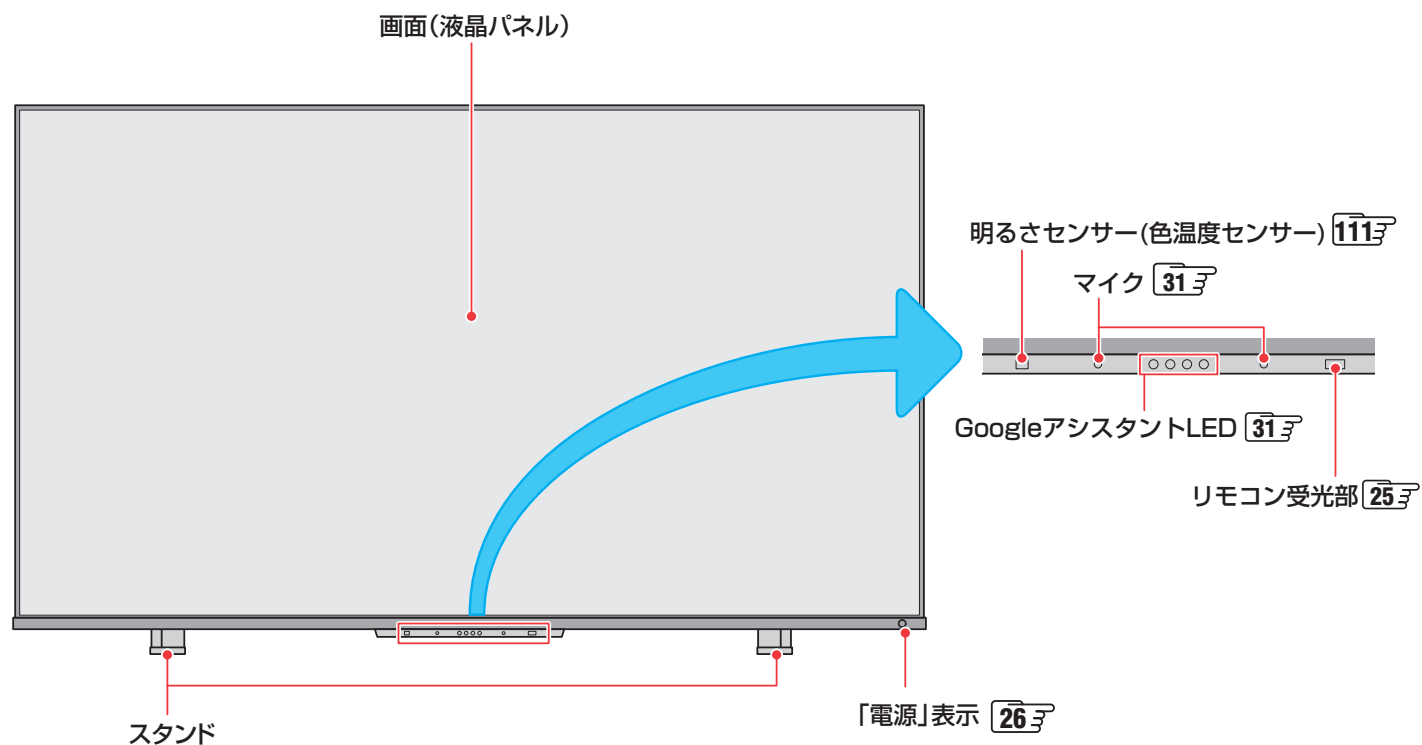
■ ACASチップについて

- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています。
 - ACASチップは、新4K8K衛星放送の受信機に搭載され、有料放送の視聴制御(CAS)や、無料放送の著作権保護(RMP)のために利用されています。
 - ACASチップの番号を確認される場合は、「ACASチップ情報を確認する」をご覧ください。

各部のなまえ

- 製品イラストは43M550Kです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは  内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

前面

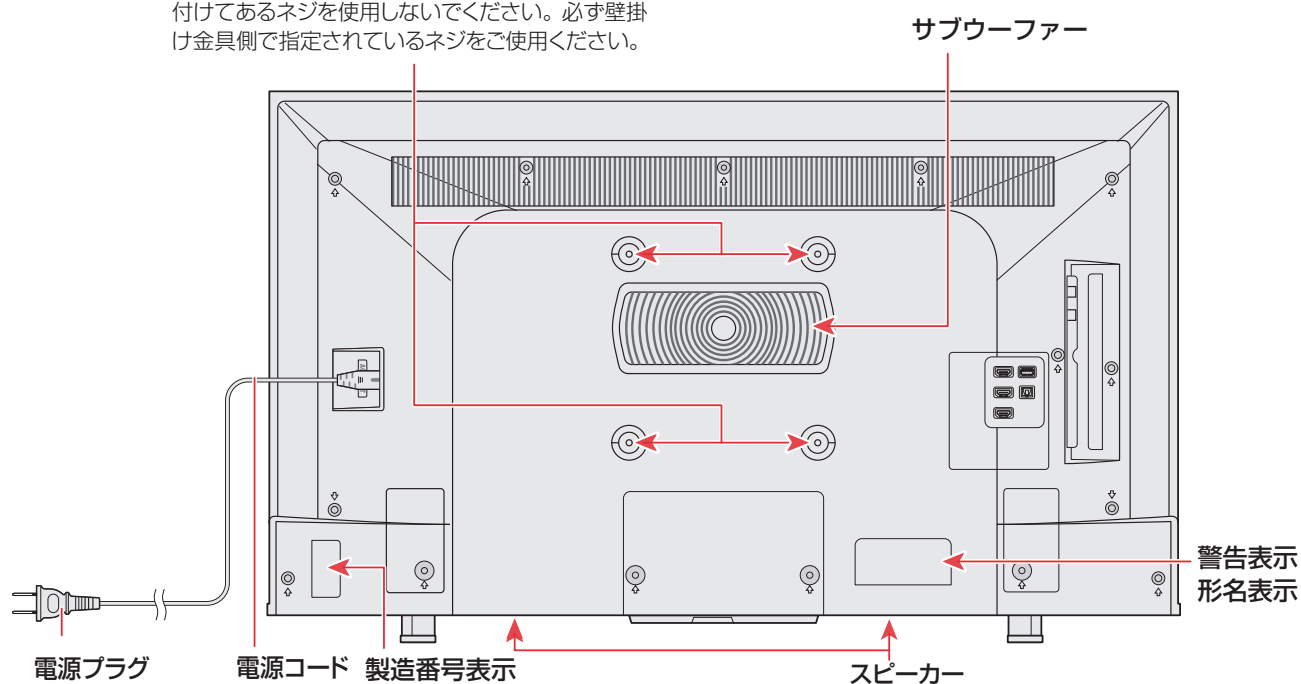


準備をする

背面

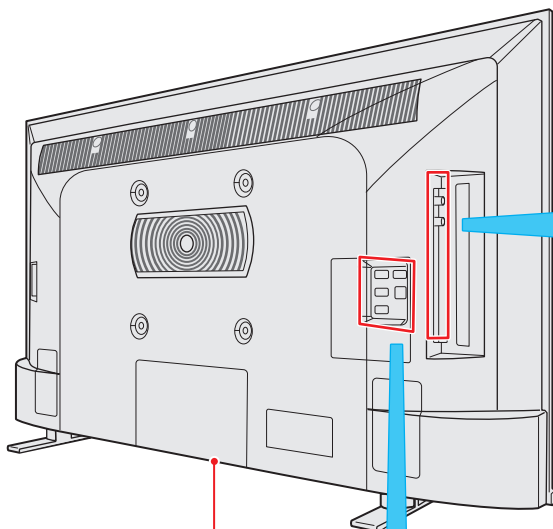
壁掛け用ネジ穴

- ※ 壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるネジを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているネジをご使用ください。

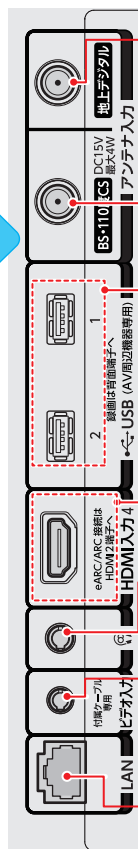


各部のなまえ つづき

本体操作ボタンと入出力端子



底面ボタン



地上デジタルアンテナ入力端子 [22㊦]

- 地デジ受信用のUHFアンテナを接続します。

BS・110度CSアンテナ入力端子 [22㊦]

- 衛星放送および4K放送を視聴する場合にBS・110度CS共用アンテナを接続します。

USB1、2(AV周辺機器専用)端子 [82㊦]

- USB機器を接続します。

HDMI入力 4端子 [76㊦] [78㊦]

- 映像機器やオーディオ機器を接続します。
- ポータブルタイプの映像機器などの接続に便利です。

ヘッドホン出力端子 [46㊦]

- ヘッドホンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。

ビデオ入力端子 [76㊦]

- 映像機器を接続します。

※ 付属の変換ケーブルをご使用ください。

LAN端子 [54㊦] [98㊦]

- ホームネットワークやインターネットに接続します。

HDMI入力 1、2(eARC/ARC)、3端子 [76㊦] [78㊦]

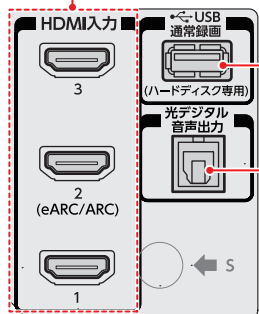
- 映像機器やオーディオ機器を接続します。
- レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器(オーディオシステム)はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。
- 4K×2K 60Hz(10bit, 12bit)出力対応機器を接続する場合はHDMI入力1端子か2端子に接続してください。

USB(通常録画)端子 [49㊦]

- 通常録画用のUSBハードディスクを接続します。

光デジタル音声出力端子 [78㊦]

- 光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器などに接続します。



本体ボタン

電源 [26㊦]

- 中央部を押すと電源を待機/入します。

機能切換 [33㊦]

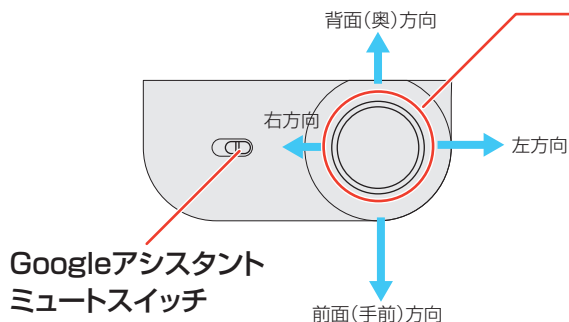
- 手前に動かすたびに、本体ボタンを左右に動かしたときの機能が切り換わります。

音量 [33㊦]

- 通常は、左右に動かすと音量の調節をします。
- 本体ボタンを手前に動かすたびに、機能が切り換わります。

消音 [33㊦]

- 奥に動かすと、音を一時的に消します。
- もう一度奥に動かすと音が出ます。

Googleアシスタント
ミュートスイッチ

• 底面から見た図

リモコン

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。
- 詳しくは  内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

- 外部入力機器の画面に切り換える…………… **86**
- 電源を入れる/待機にする…………… **26**
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る…………… **36**
- 動画配信サービスを楽しむ…………… **31**
- BS・110度CSの4K放送を楽しむ…………… **32**
- 設定メニューを表示する…………… **33**
- 音を消す…………… **33**
- 放送の種類を切り換える…………… **32**
- チャンネルを選ぶ…………… **32**
- チャンネルを順番に選ぶ…………… **32**
- NetTVを楽しむ…………… **31**
- レグザナビを表示する…………… **104**
- シーン/出演者の情報を見る…………… **69**
- 音量を調節する…………… **33**
- データ放送を見る…………… **43**
- タイムシフトリンクメニューを表示する…………… **73**
- ぜんまいスマートアクセスを使う…………… **73**
- 録画リストを表示する…………… **67**
- 番組表で番組を選ぶ…………… **37**
- 番組表などでページを切り換える……………
- メニューから選ぶ、決定する……………
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る……………
- 操作を終了する……………
- ワンタッチリプレイ(10秒戻す)…………… **68**
- ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)…………… **68**
- カラーボタン……………多様な用途があります
- アプリ画面を表示する…………… **31**
- Googleアシスタントを起動する…………… **31**
- ホーム画面を表示する…………… **30**
- 音声を切り換える…………… **44**
- 番組ガイドを表示する…………… **61**
- サブメニューを表示する…………… **35**
- 再生、早見早聞再生をする…………… **68**
- 早送り、早戻しをする…………… **68**
- チャプタースキップをする…………… **68**
- 録画や再生を停止する…………… **68**
- 再生を一時停止する…………… **68**
- 映像を静止する…………… **45**



スタンドを取り付ける



注意

■二人以上で作業する

一人で作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。

■画面を強く握らない

画面を強く握ると、割れるおそれがあります。

● スタンドの取り付けかたについては、付属の別紙「スタンド取付説明書」にも記載しています。



- スタンド取付作業では、包装材を横に寝かせて簡易テーブルとして使用します。包装箱の前方にスペースを確保してください。
本体よりも大きなテーブルがある場合は、テーブルの上に毛布などの柔らかい布を敷いて、作業台とすることができます。
- プラスドライバー（JIS 2番、直径6mm）をご用意ください。
- ※ 保護フィルムがテレビ本体のキャビネットや、スタンドについている場合は、本機の設置作業が終わってから取りはずしてください。

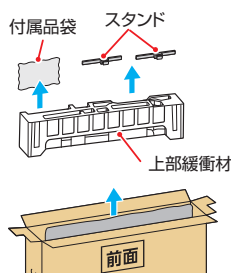


- テレビ画面（液晶パネル）全体に貼りつけられているフィルムは保護フィルムではありませんので絶対にはがさないでください。

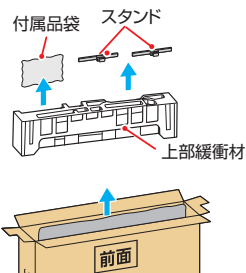
1 包装箱を開けてすべての付属品と緩衝材を取り出す

- 機種によって、緩衝材の形が異なります。
- スタンド以外の付属品は、梱包箱内側に貼り付けた付属品袋に収納されています。
- スタンド組立用部品（スタンド×2個、ネジ×4本）がそろっているかご確認ください。
- 緩衝材は手順 3 で使用します。

■43M550K



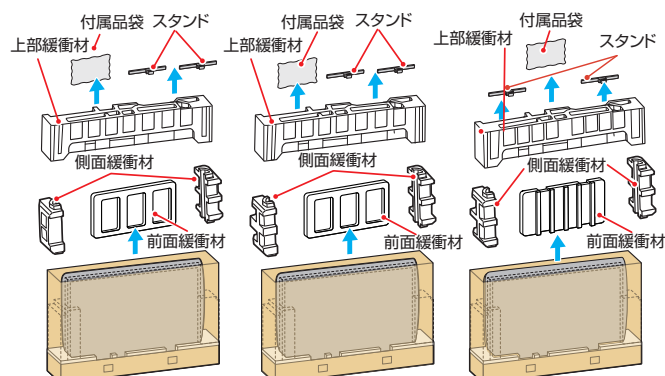
■50M550K



■55M550K

■65M550K

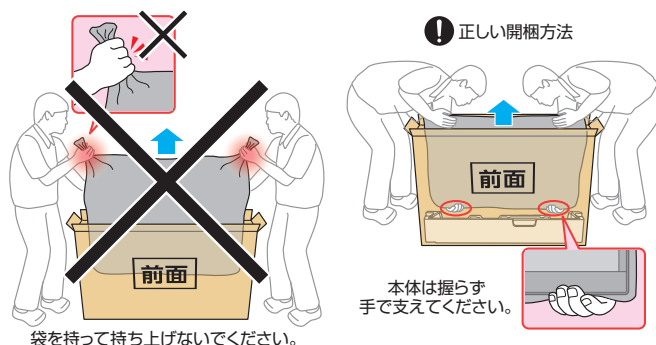
■75M550K



■43/50M550K

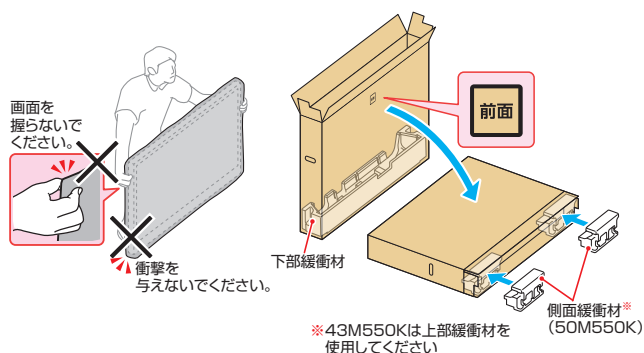
2 本体を包装箱から取り出す

- 本体の下側を手で支えて取り出してください。
- 画面を強く握らないでください。



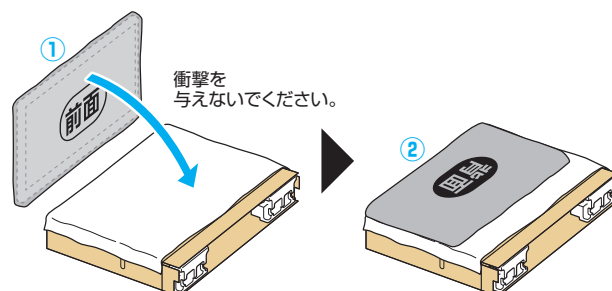
3 簡易テーブルを作成する

- ※ 一人は本体を支え、もう一人は簡易テーブルを作成してください。
- 下部緩衝材が包装箱の奥にセットされていることを確認してください。
- 緩衝材を包装箱にセットします。
- 柔らかい布を敷いてください。



4 本体を簡易テーブルにのせる

- ① 必ず本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
- ② 本体と包装箱の下端を合わせます。

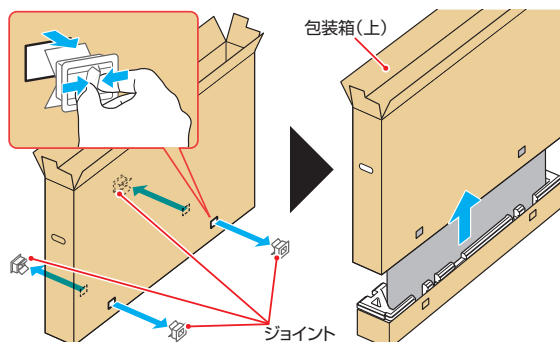


- 手順 5～6 に進みます。

■ 55/65/75M550K

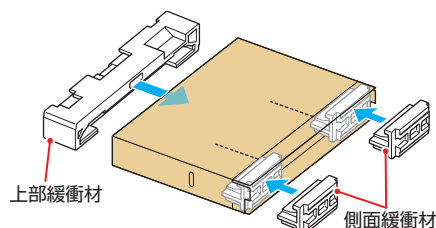
2 包装箱(上)を抜き取る

- ジョイント4個をはずして包装箱(上)を抜き取り、左右の緩衝材をはずします。
- ※ 包装箱(上)を抜き取る時に、本体に触れないように注意してください。
- ※ 側面緩衝材が包装箱(上)の内部に残っていることがあります。
- 側面緩衝材は手順 3 で使用します。



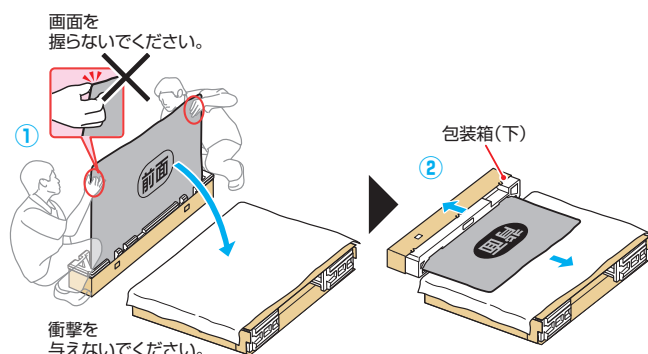
3 簡易テーブルを作成する

- 包装箱(上)に上部緩衝材をセットします。
- 側面緩衝材は、包装箱(上)に印刷された点線に合わせてセットします。
- 柔らかい布を敷いてください。



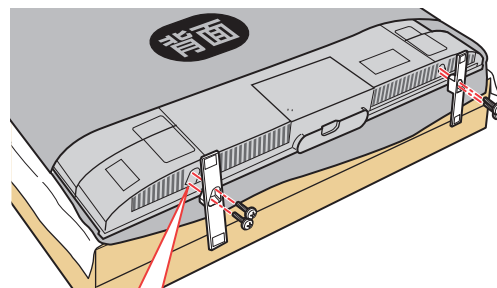
4 本体を簡易テーブルにのせる

- ① 必ず本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
- ② 本体と包装箱の下端を合わせます。

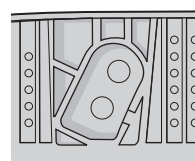


5 本体にスタンドを取り付けてネジで固定する

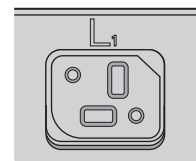
- スタンドの突起を、本体のくぼみに差し込みます。
- ※ ネジを斜めに締めると、ネジ山が破損するおそれがあります。



■ 43M550K



■ 50/55/65/75M550K

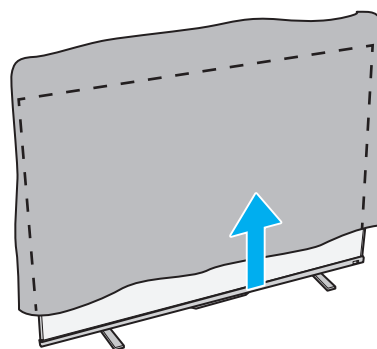


※ 上図は75M550Kです。

- ※ 65/75M550Kは、スタンド取付部位が左右に二か所ずつあります。スタンドが左右対称になるように、L1とR1、またはL2とR2に取り付けてください。

6 本機を起こして袋を取りはずす

- ※ 画面を指で強く押さないようにご注意ください。



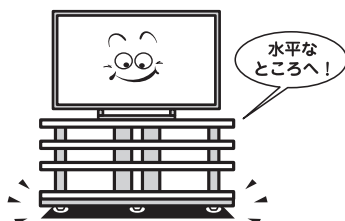
- 電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.0N・m(10kgf・cm)に設定してください。

テレビを設置する

- 設置の前に「安全上のご注意」**9**～**13**を必ずお読みください。
- 製品イラストは43M550Kです。他の機種はイメージが多少異なります。

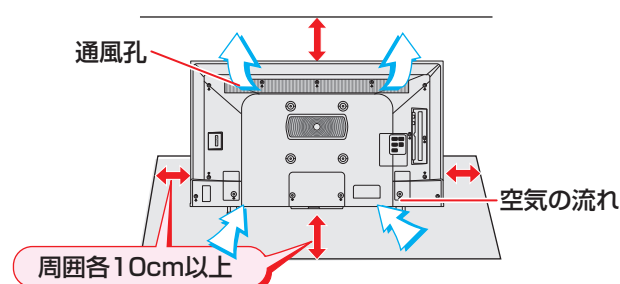
正しい置きかた

- 丈夫で水平な安定した所に設置してください



- 周囲から離して置いてください

- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

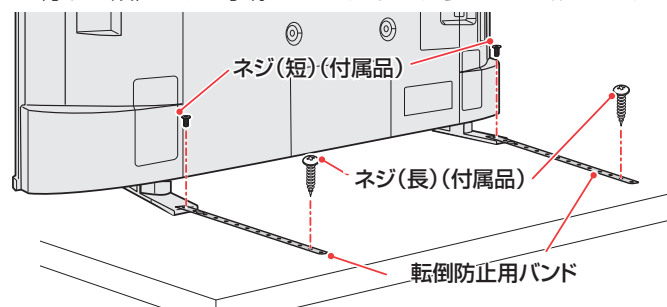


- テレビ台を使用する場合

- テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた

- 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
- ※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。
- スタンドに転倒防止用バンド2本をネジ(短)で取り付け、設置する台の確実に支持できる天面に付属のネジ(長)で固定します。
- ※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がいれないようにしてください。



- 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

デジタル放送の種類と特徴

- 本機は以下の4種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

- UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です
- 本機は「CATVパススルー対応」です
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

- 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。

BSデジタル放送

デジタル方式の放送衛星(Broadcasting Satellite：通称BS)を使用したデジタル衛星放送です。

- 日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります
- 2種類のデータ放送(連動データ放送、独立データ放送)や双方向サービスがあります

110度CSデジタル放送(CS)

BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星(Communication Satellite：通称CS)を利用して、スカパー JSAT(株)が運用しているデジタル衛星放送です。

- さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります
- 多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です

新4K8K衛星放送

「新4K8K衛星放送」とは、2018年12月から放送を開始したBS・110度CSの4K・8K放送のことです。

- 「新4K8K衛星放送」の開始後も、従来のBS・110度CSおよび地上デジタル放送は引き続き提供されています。
- 「新4K8K衛星放送」はBS・110度CS放送で従来から使用されていた放送波(右旋円偏波の電波)と、新しく使用された放送波(左旋円偏波の電波)で提供されています。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

- 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ <http://www.apab.or.jp>



- 本機は8K放送には対応していません。

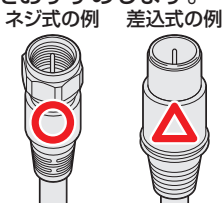
アンテナを接続する

お願いとご注意

※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

● アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

● F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

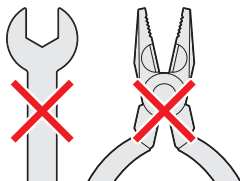


● F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

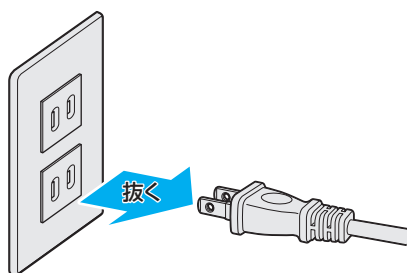


● アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。

工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



● アンテナを接続するときは必ず本機の電源を待機にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

- 右旋円偏波の電波で提供される日本放送協会(NHK)、BS日本(BS日テレ)、ビーエス朝日、BS-TBS、ビーエスフジ、BSテレビ東京の4K放送は、従来のアンテナ設備でご覧いただけます。
- 左旋円偏波の電波で提供されるSCサテライト放送、QVCサテライト、WOWOW、スカパー・エンターテインメントの4K放送をご覧いただくためには、SHマークのついた新4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備が必要になります。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。



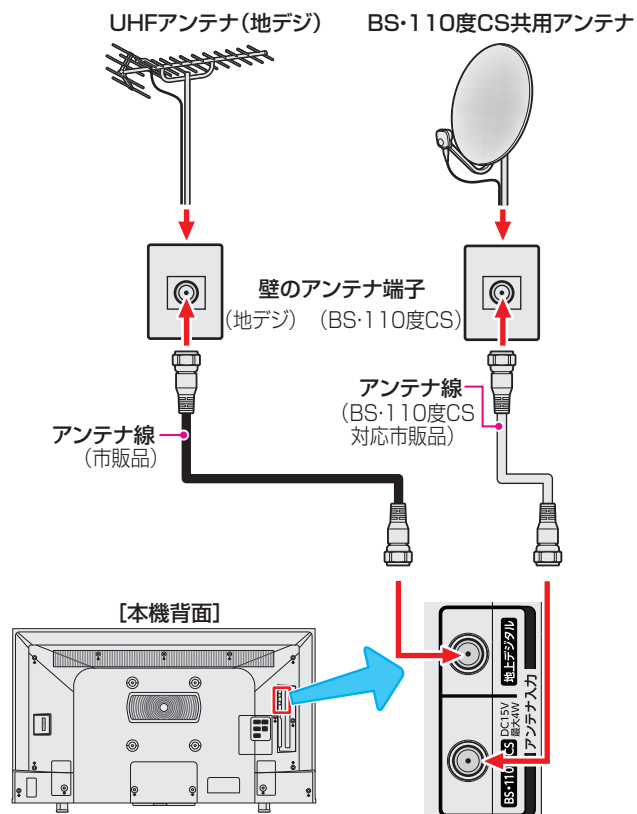
ご注意

- 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

- 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ
<http://www.apab.or.jp>

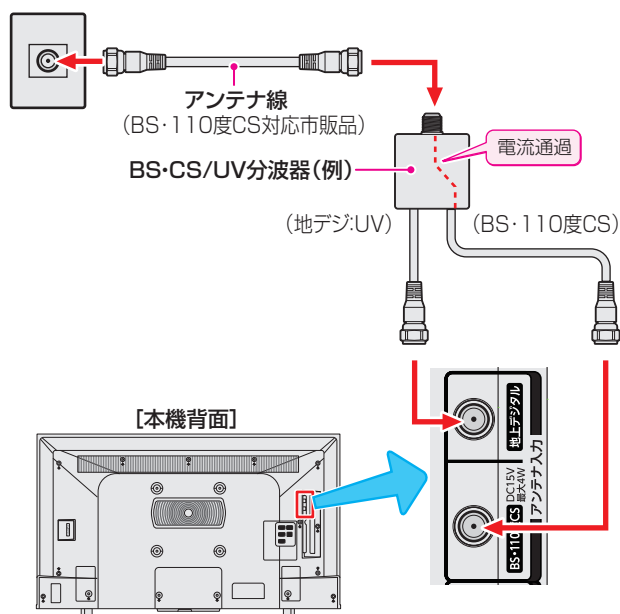
地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合



地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合 (マンションの共聴アンテナなど)

- 地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。
- マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

壁のアンテナ端子

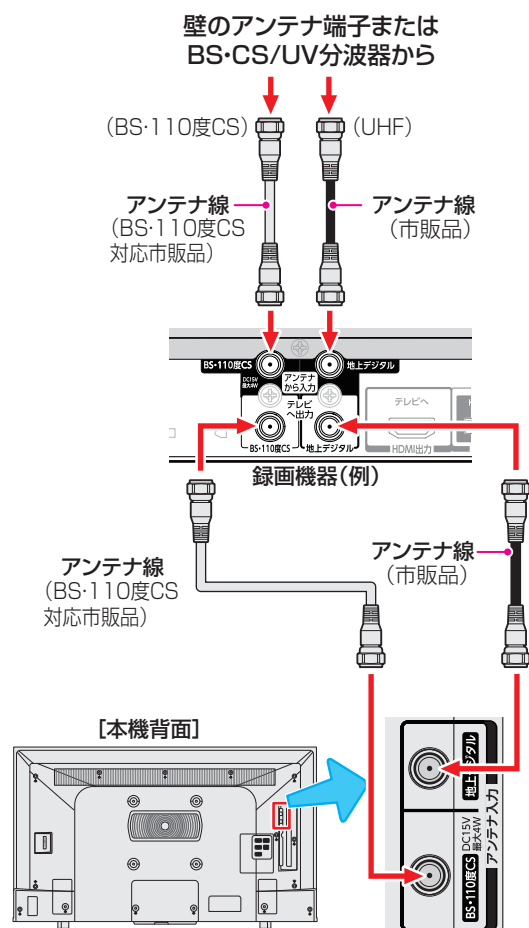


- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。
- ※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません(「かんたん初期設定」**27**のあとで「衛星アンテナ電源供給」を「しない」に設定してください。詳しくは**116**をご覧ください)。

アンテナを接続する つづき

録画機器を経由する場合

- 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。



テレビが映らないとき

- 「かんたん初期設定」[27](#) をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
 - 録画機器が「BS・110度CSの4K放送」に対応していない場合、「BS・110度CSの4K放送」が映らないことがあります。
 - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 症状が改善されない場合は、「アンテナを調整する」[115](#) をご覧ください。

リモコンの準備をする

乾電池を入れる

- 単四形アルカリ乾電池を2本ご使用ください。
お買い上げ時は単四形アルカリ乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす

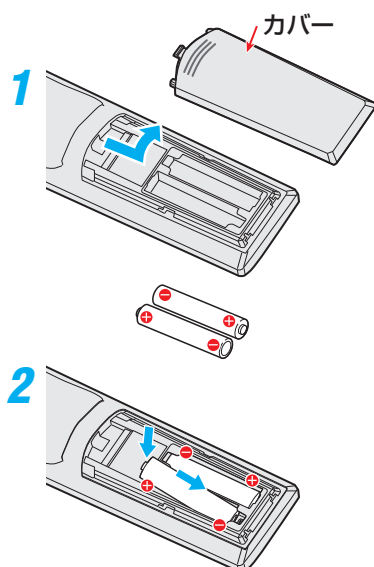
- カバーを下方方向に押しながら下げてから、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

- 極性表示 $\oplus$ と $\ominus$ を確かめて、間違えないように入れます。

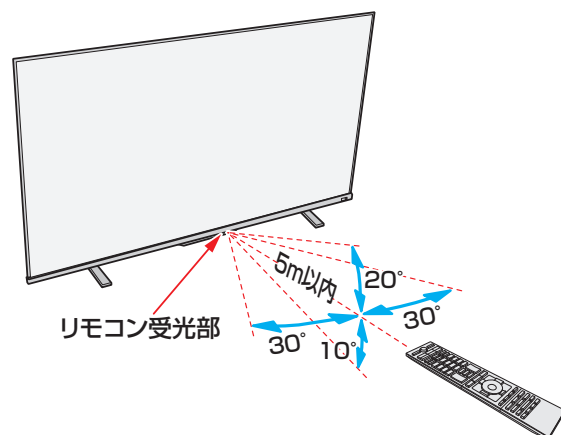
3 電池カバーを閉める

- カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



- リモコン受光部から
距離……5m以内
角度……左右30°以内、上20°、下10°以内
- ※ リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

リモコンコードについて

- 本機のリモコンは、リモコンコードの切替ができます。
1243
- お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
- ※ 「リモコンコード2」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。



■ リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。



■ 乾電池について

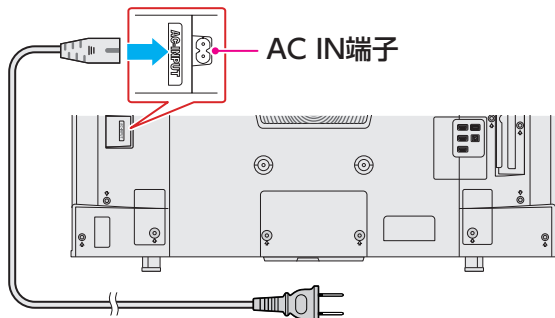
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

電源を入れる

電源コードを本体背面のAC-IN端子に
しっかりと接続する

- 製品イラストは43M550Kです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 奥までしっかりと差し込みます。

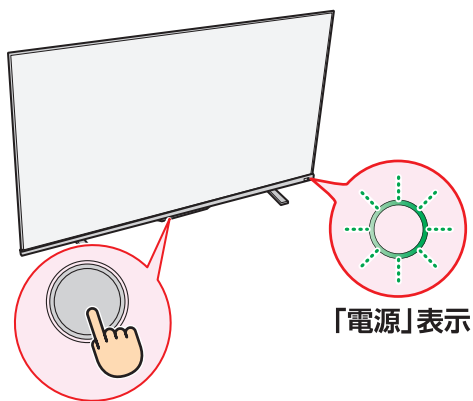


電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください

- 1 本体底面にある本体ボタンの中央部、またはリモコンの **電源** を押す

- 電源が「入」になり、本体前面の「電源表示」が**緑色**に点灯します。



電源を「待機」にする

- 1 電源が「入」のときに、本体底面にある本体ボタンの中央部、またはリモコンの **電源** を押す

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が**赤色**に点灯します

お願い…電源プラグの取り扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。
- ※ 電源プラグを抜いたままにしておく…
 - デジタル放送の番組情報が取得できません。
 - 予約した番組の録画ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画は、電源が「待機」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- 非常の場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。
- 1 **画面表示** を押して、録画中の表示が出ないことを確認する **[36]**
 - 2 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする



- 旅行などで長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いてください。

「かんたん初期設定」をする

Googleアカウントについて

- 本機でGoogle Playなど、Googleが提供するサービスを利用するには、Googleアカウントが必要です。
すでにパソコンやスマートフォンなどでGoogleアカウントを取得している場合は、そのアカウントでログインすることができます。
- Googleアカウントを取得しない場合も、通常のテレビとして番組の視聴や録画、一部のネットワークサービスは楽しめます。

Googleアカウントを取得する

1 パソコンやスマートフォンで、下記のWebサイトにアクセスする

<https://accounts.google.com/signup>



2 画面の指示に従って必要事項を入力し、Googleアカウントを作成する

重要

登録したGoogleアカウントとパスワードはメモするなどして、忘れないようにしてください。

「かんたん初期設定」をする

- はじめて電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。
決定を押すとかんたん初期設定が始まります。
- かんたん初期設定は途中で終了することができません。最後まで設定を行ってください。
- かんたん初期設定の設定手順は予告なく変更される場合があります。

リモコンを登録する

- リモコンを本機に登録することで、リモコンを使ってGoogleアシスタントの操作や音声検索などができるようになります。

1 青を押したまま黄を押し続ける



- 「スキップ」を選ぶと、リモコンを登録せずに次の手順に進みます。この場合、あとから「リモコン設定」でリモコンを登録する事ができます。

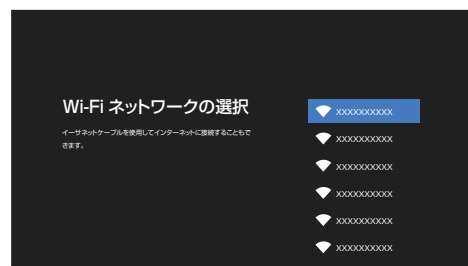
ネットワークとGoogleアカウントの設定をする

- ネットワークの設定と、Googleアカウントの設定を行います。

スマートフォンでテレビをセットアップする場合

- 「AndroidスマートフォンでAndroid TV™をセットアップしますか?」の確認画面で「続行」を選んだ場合、ネットワーク設定とGoogleアカウントへのログインをお手持ちのAndroidスマートフォンで行えます。
- テレビ本体で設定を行う場合は、「スキップ」を選んでください。

1 無線LANまたは有線LANの設定をする



- 「スキップ」を選択すると、ネットワークの設定をせずに手順3に進みます。
- ネットワークの設定は、後から設定することもできます。99

無線LANで接続する場合

- お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書もお読みください。

- 1 ▲・▼で本機の接続先を選び、決定を押す
- 2 1で選択した無線LANアクセスポイント(ルーター)の暗号キーを入力する

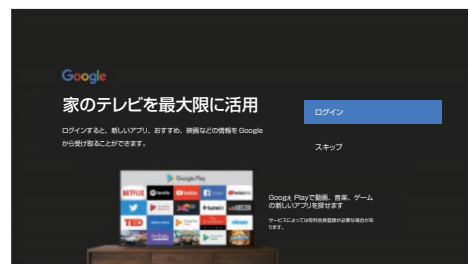
有線LANで接続する場合

- LANケーブルでルーターと本機を接続しておきます。

- 1 ▲・▼で「イーサネットを使用」を選び、決定を押す

2 「ログイン」を選び、Googleアカウントでログインする

- 無線LANもしくは有線LANの設定をしていない場合、この設定はスキップされます。



- 「スキップ」を選ぶとログインせずに設定を続けますが、Googleが提供するサービスの一部がご利用いただけません。

「かんたん初期設定」をする つづき

3 Googleの利用規約を確認し、「同意する」を選んで「決定」を押す

- 「利用規約」「プライバシーポリシー」「Play 利用規約」を選んで決定を押すと、それぞれの内容を確認することができます。

4 Googleサービスの確認をする

- 各項目の内容を確認し、「同意する」を選択して「決定」を押します。

5 Googleアシスタント機能の確認をする

- 内容を確認し、「決定」を押します。

6 本機の名前を選び、「決定」を押す

- 他の端末などから接続するとき使用する名称を選択します。
- 自分で名前を付ける場合は「カスタム名を入力」を選び、自分で入力します。

7 インストールするアプリを選択する

- リストからインストールするアプリを選択します。
- Googleアカウントでログインしていない場合は、この手順はスキップされます。
- ※ 他の機器でGoogleアカウントを使用していた場合、その履歴によりおすすめのアプリが追加されることがあります。アプリによっては、本機で使用できない場合があります。

8 画面のチュートリアルを確認する

- アシスタント機能やテレビの機能に関するチュートリアルが表示されます。「決定」を押すと先に進みます。
- チュートリアルが終わると、設置/アンテナ設定画面に進みます。

設置/アンテナ設定をする

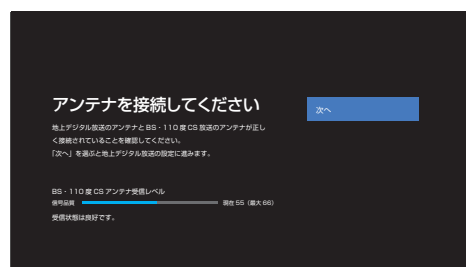
- 地上デジタル放送とBS/CS放送の受信レベルの確認と、地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

1 テレビをお使いになる場所を▲・▼で選び、「決定」を押す



- ご家庭でお使いの場合は、「ご家庭」を選んでください。「店頭」を選ぶと、店頭展示用の設定になります。

2 電波の強度を確認し、「次へ」を選んで「決定」を押す



3 画面の説明を読み、▲・▼で「はい」を選んで「決定」を押す

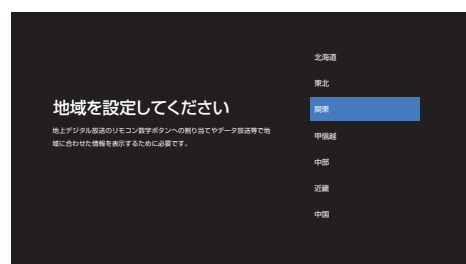
- 「いいえ」を選んだ場合、レグザプライバシーポリシー画面に進みます。

4 お住まいの地域の郵便番号を1～10で入力し、「決定」を押す



- 「0」は「10」で入力します。
- ▲・▼・◀・▶を押して入力することもできます。
- 一番右のボックスを選択した状態で「決定」を押すと、次の手順に進みます。

5 お住まいの地方を▲・▼で選び、「決定」を押す



6 お住まいの都道府県を▲・▼で選び、決定を押す



- 初期スカンが自動的に始まります。終了すると、次の手順の画面が表示されます。

7 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認し、決定を押す



- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

レグザプライバシーポリシーを確認する

- クラウドサービスを使用するには、レグザプライバシーポリシーに同意する必要があります。

1 レグザプライバシーポリシー画面の内容を最後まで読み、▲・▼で「同意する」または「同意しない」を選び、決定を押す



- 「同意しない」を選んだ場合は、映像メニュー設定画面に進みます。
- 「同意しない」を選んだ場合は、レグザナビ、番組ガイドなどの機能の一部が使用できません。

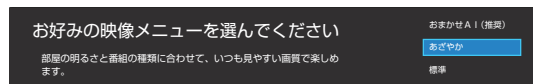
2 アンケートの内容を読み、▲・▼・◀・▶で項目を選び、決定を押す

- アンケートに答えると、映像メニュー設定画面に進みます。

映像メニューを設定する

- 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、好みの映像メニューに設定してください。

1 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、決定を押す



電源待機時の動作モードを変更する

- テレビが電源待機の時でもGoogleアシスタント機能を使用できるようにするための設定です。

1 ▲・▼で有効または無効を選び、決定を押す

- 「有効」にすると、電源待機時でもGoogleアシスタント機能を使うことができます。
- 「無効」にすると、テレビの状態によってはGoogleアシスタント機能を使うことができなくなりますが、電源待機時の消費電力を抑えることができます。

「かんたん初期設定」をやり直すとき

- 「かんたん初期設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「かんたん初期設定」をやり直すことができます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇒「かんたん初期設定」の順に進む

- 「かんたん初期設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、決定を押す

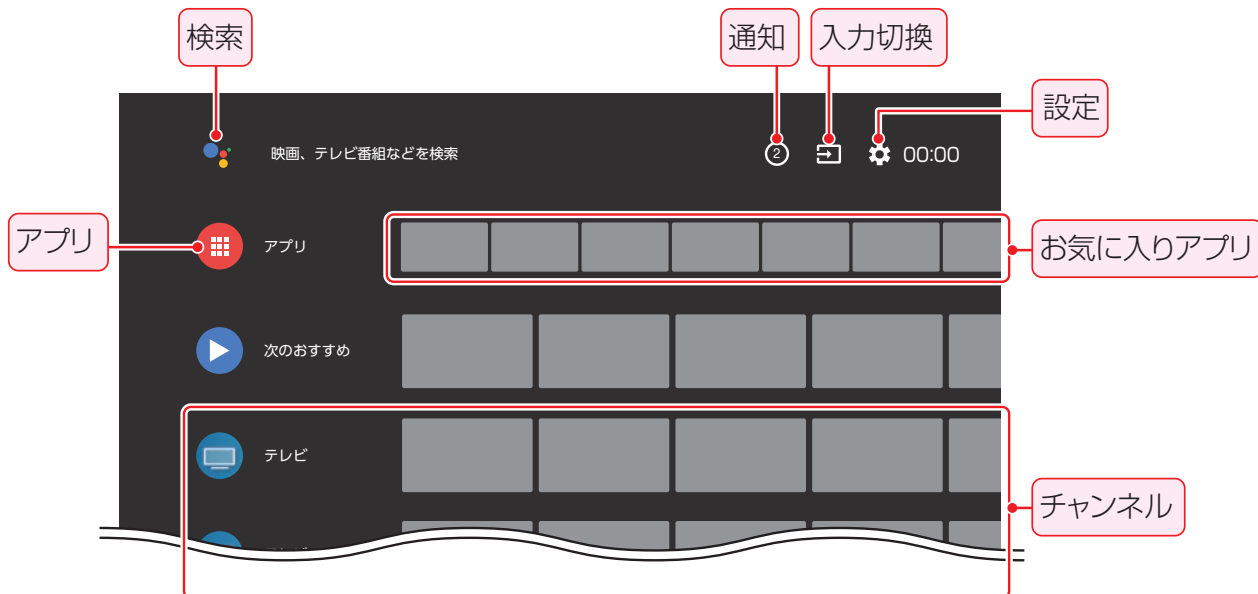
- ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「かんたん初期設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
- データ放送を視聴している状態で「かんたん初期設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのまゝの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

Android TV™を使う

ホーム画面について

1 ホームを押す

- ホーム画面が表示されます。



2 ▲▼◀▶で項目を選び、決定を押して選択する

検索

- マイクを使った音声検索や、キーワードを入力しての検索が行えます。

通知

- お知らせがある場合に表示されます。

入力切換

- 本機の入力を切り換えます。

設定

- 設定メニューを表示します。

アプリ

- アプリ画面を表示します。

お気に入りアプリ

- お気に入りのアプリのリストが表示されます。

チャンネル

- アプリや動画配信サービスの中から、おすすめのコンテンツが表示されます。

お気に入りアプリを追加/編集する

- 「お気に入りアプリ」に表示されたアプリを選んで決定を押すと、アプリの並び順を変更したり、お気に入りから削除したりすることができます。
- 「お気に入りアプリ」の右端の追加アイコンを選ぶと、お気に入りアプリのリストにアプリを追加できます。

チャンネルをカスタマイズする

- 「チャンネルをカスタマイズする」を選ぶと、チャンネルに表示するコンテンツの表示/非表示の設定を変更できます。

アプリ画面について

- アプリ画面では、アプリの利用やインストールが行えます。

1 **アプリ** を押す

- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面で、「アプリ」アイコンを選んで表示できます。

2 ▲・▼・◀・▶ で使用したいアプリを選び、**決定** を押す

- インストールされていないアプリを選択すると、そのアプリがインストールできます。
- **決定** を長押しすると、選択したアプリをホーム画面に追加したり、アプリ画面上で並び変えたりすることができます。

Google Playストアからアプリをインストールする

- Android TVでは、テレビに対応したアプリを Google Play ストアからダウンロードできます。
- スマートフォン/タブレット向けのアプリとは異なる場合があります。

1 ▲・▼・◀・▶ で「Google Play ストア」を選ぶ

2 インストールしたいアプリを選ぶ

- アプリのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終わるとアプリは自動的にインストールされます。
- インストールしたアプリは、アプリ画面上にアイコンが表示されます。



- アプリによっては、会員登録や利用料金の支払いが必要な場合があります。
- 有料のアプリの購入には、プリペイド方式の Google Play ギフトカードやクレジットカード情報が必要になります。

ネット動画を楽しむ

- 様々な動画配信サービスを楽しむことができます。
- ※ 「動画配信サービスを楽しむ」の説明もご覧ください。

1 ホーム画面またはアプリ画面で、見たいネット動画のアプリを選び、**決定** を押す

- ネット動画の画面に切り替わります。
- おもな操作はネット動画アプリの画面に従います。

リモコンでネット動画を選ぶ

- 1 **ABEMA**、**hulu**、**U-NEXT**、**YouTube**、**prime video**、**MyChoice**、**Net.TV** を押す



- 「レグザナビ画面」からも、一部のネット動画を視聴できます。
- **MyChoice** の機能はソフトウェアのバージョンアップで追加を予定しています。

Googleアシスタントを使う

- 本機はGoogleアシスタントに対応しており、音声でのコンテンツ検索やテレビの操作などが行えます。

リモコンでGoogleアシスタントを使う

1 を押す

2 リモコンに向かって話しかける

本体マイクでGoogleアシスタントを使う

- テレビ本体に向かって話しかけることで、Googleアシスタント機能が利用できます。

1 テレビに向かって、「OK Google」と話しかける

- 本体下部のGoogleアシスタント LEDが点灯します。

2 本体マイクに向かって話しかける



- スマートフォンやスマートスピーカーに搭載されている Googleアシスタントとは、動作や対応サービスが異なる場合があります。
- 本体マイクがトリガワードを検出すると、Googleアシスタントが表示されます。会話などでお客様の意図しないときにトリガワードを検出する場合があります。
- テレビが電源待機の時でも本体マイクがトリガワードを検出してテレビの電源が「入」になる場合があります。

本体マイクを無効にするには

- 本体底面にあるGoogleアシスタント ミュートスイッチを切り換えると、本体マイクでのGoogleアシスタント機能が無効になります。



- 本体マイクを無効にしているときは、
- GoogleアシスタントLEDが橙色に点灯します。また、待機中もテレビ内部の動作により、点灯する場合があります。

Android端末の画面をテレビに表示する

- スマートフォンなどで表示している画面を、直接テレビに表示することができます。
- ※ 接続する機器によっては表示できない場合があります。

1 **設定** を押し、◀・▶ と **決定** で「詳細設定」⇒「スクリーンミラーリングについて」の順に進む

2 画面の指示に従って操作する

テレビ番組を楽しむ



- 本体の操作ボタンについては、「本体ボタンによる「機能切替」について」**[33]**をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS、BS/CS 4K、で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します(下の「お知らせ」をご覧ください)。
- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切替ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。
例：BSデジタル放送を見ているときに **BS** を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。
- 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切替ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
 - BSデジタル放送は、グループAとグループBがあります。
 - BS・110度CS 4K放送は、グループAとグループBがあります。
 - 110度CSデジタル放送は、グループA ~ グループFがあります。
- **1** ~ **12** ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル $\wedge$ ・ $\vee$ ボタンで選局する(順次選局)

- **秘秘** でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- チャンネル番号は番組表で確認できます。
- 1 サブメニューを押し、 $\blacktriangle$ ・ $\blacktriangledown$ と**決定**で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」の順に進む
 - 画面の右上に放送選択画面が表示されます。
 - $\blacktriangleleft$ ・ $\blacktriangleright$ で放送を切り換えられます。
- 2 **1** ~ **10**₍₀₎ でチャンネル番号を入力する
例 103チャンネルを選ぶ場合⇒ **1** **10**₍₀₎ **3** の順に押します(「0」は**10**で入力)。
● $\blacktriangleleft$ ・ $\blacktriangleright$ で放送を切り換えられます。
- 3 **決定**を押すと選択したチャンネルに切り換わります。
 - 地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときは、複数のチャンネルが表示されます。 $\blacktriangle$ ・ $\blacktriangledown$ で選んでから**決定**を押してください。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表**[37]**で確認することができます。
- **1** ~ **12** でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです(「チャンネルをお好みに手動で設定する」**[118]**で変更できます)。
 - **地デジ**を押したとき⇒「かんたん初期設定」**[27]**で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - **BS**、**BS/CS 4K**を押したとき⇒各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - **CS**を押したとき⇒110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1**と**2**だけ)。
 - 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」**[121]**をご覧ください。



音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

- ① リモコンの **+** **音量** を押す

音を一時的に消す

- ① リモコンの **消音** を押す
 - 画面中央下に音声バーが表示され、消音のアイコンが表示されます。もう一度 **消音** を押すと音が出ます。

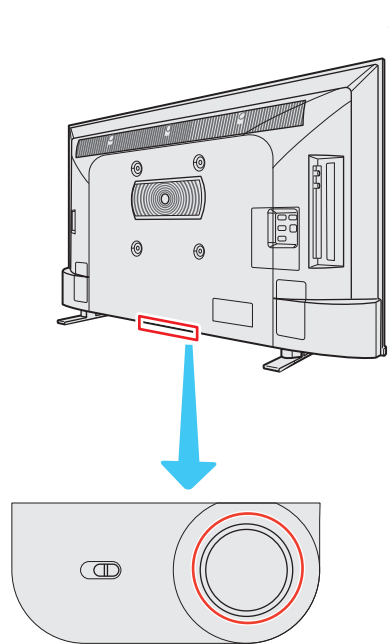
字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ① **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「字幕」を選ぶ
- ② **▲・▼** で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、**決定** を押す

※ 放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

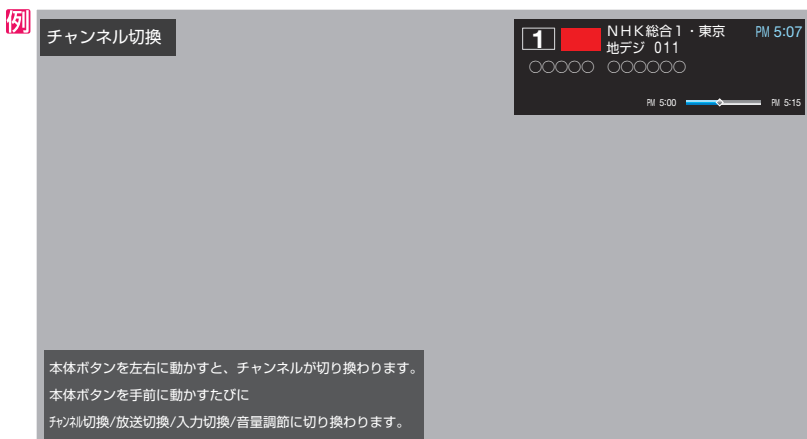
本体ボタンによる「機能切替」について

- 本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」(上記)を行います。手前に動かすたびに機能が切り換わります。



1 本体ボタンを手前に動かす

- 本体ボタンを手前に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。



- 本体ボタンを手前に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し手前に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

- 本体ボタンを手前に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→ チャンネル切替 → 放送切替 → 入力切替 → 表示なし(音量調節)

- チャンネル切替 …… チャンネルが順次に切り換わります。
- 放送切替 …… 「地デジ」、「BS」、「CS」、「BS/CS 4K」が順次に切り換わります。
- 入力切替 …… 入力が順次に切り換わります。 **86**

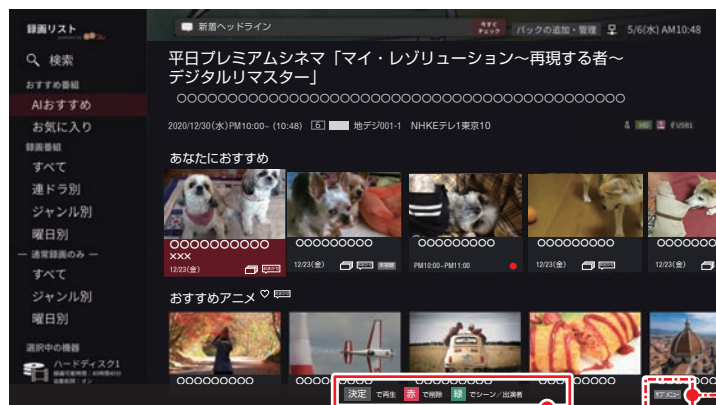
テレビを見る

テレビ番組を楽しむ つづき

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やサブメニューに割り当てられています。

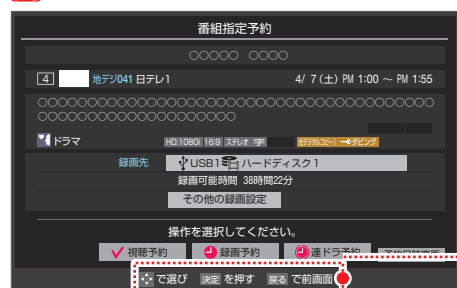
例 録画リスト



例 番組表



例 操作画面



◀ ▶ ▲ ▼ の表示
ページやリストの切り換え
ができることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな
操作ができることを示します。

サブメニュー の表示
サブメニューがある
ことを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったり
することができることを示します。



サブメニューについて

- サブメニューを押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、サブメニューを押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中



▲▼で項目を選び、決定を押すとサブメニューの機能が利用できます。

- サブメニューに階層がある場合は、下の階層のメニューに表示が切り換わります。

サブメニュー	機能（一部省略しています）	詳細記載ページ
タイムシフトマシン機能	タイムシフトマシン対応東芝レコーダーの過去番組表を表示します。 ^{※1}	87
録画	録画ができます。	58
字幕 字幕オフ	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	33
タイマー機能	オンタイマー／オフタイマーの設定ができます。	46
スピーカー出力切換 テレビスピーカー	本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	90
消画	画面を一時的に消します。	45
信号フォーマット詳細表示 視聴している映像や音声の信号情報を表示します。	視聴している映像や音声の信号情報を表示します。	45
その他の操作	「その他の操作」サブメニューに切り換わります。	—
設定	設定メニューを表示します。	—

その他の操作		
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	132
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	44
スキャン切換	画面のスキャンサイズを変更できます。	44
信号切換	一つの番組で複数の映像や音声を送られている場合に切り換えられます。	44
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	32
テレビ／ラジオ／データ切換 テレビ	視聴する放送メディアを切り換えます。	43

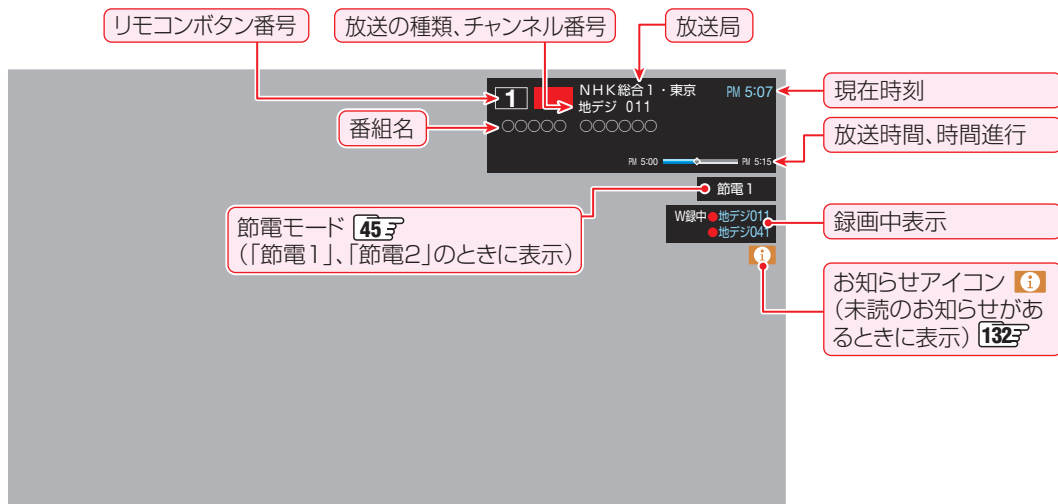
^{※1} サブメニューの「タイムシフトマシン機能」は、本機とタイムシフトマシン対応東芝レコーダーをHDMIケーブルで接続しているときにだけ、表示されます。
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)。
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



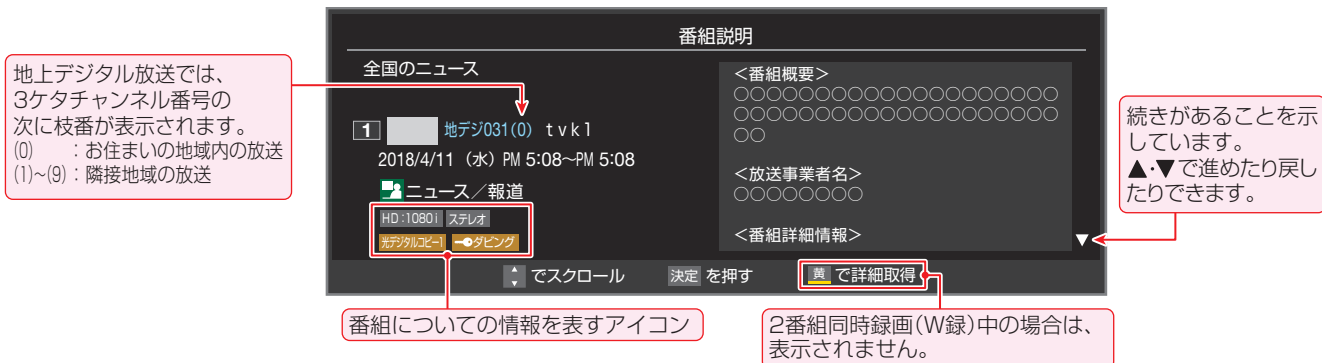
番組説明を見る

1 番組表を表示中にサブメニューを押し、▲・▼と決定で「番組説明」を選ぶ

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
 - ・ 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
 - ・ 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定を押す



- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、「アイコン一覧」135頁をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」[38]をご覧ください)。
- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS**、**4K**を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」[40]で選びます。
- 番組表を消すときは、**終了**を押します。

2 ▲▼◀▶で番組を選ぶ

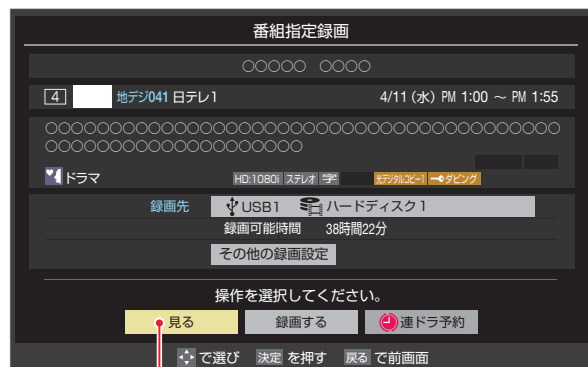
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀▶または◀▶を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。[59]の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、**決定**を押し、**1**～**10**で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲▼◀▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画面からは、録画[58]、連ドラ予約[60]の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約[59]、録画予約[59]、連ドラ予約[60]の設定ができます。

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」[38]の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」[119]で、チェック(☑)が入っていないチャンネルは番組表に表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」[40]で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

番組表で番組を探す つづき

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」[「121」](#)をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」[「40」](#)をご覧ください。

番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表が表示されているときに以下の操作をします。

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 青 (日時切換) を押す

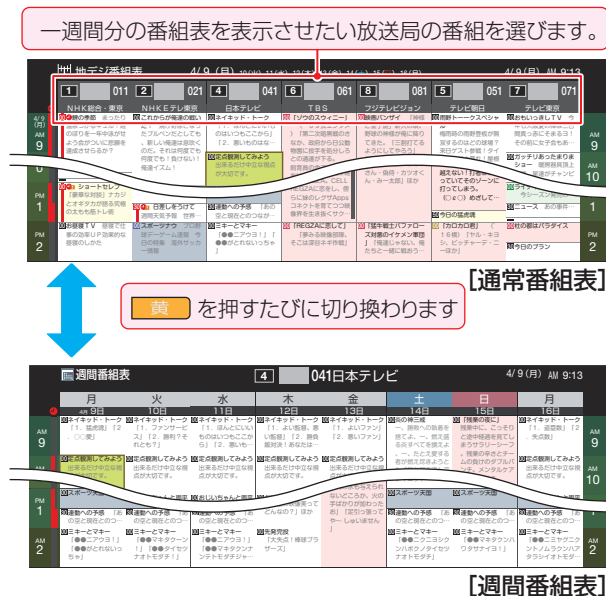
2 ▲・▼・◀・▶ で日時を選び、決定 を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀▶ で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄 (週間番組表) を押す



- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」[「39」](#)に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼ で「番組説明」を選んで決定 を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 サブメニュー を押し、▲・▼ で「番組情報の取得」を選んで決定 を押す

番組情報の取得中に表示されます。



- ※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
- ※ BS・110度CSの4K放送録画中は、BS・110度CS 4K放送の番組情報の取得ができません。
- ※ 2番組同時録画(W録)中は、番組情報の取得ができません。
- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(更新の



- 番組表の操作ガイドに表示される 緑 (番組検索) については、「条件を絞りこんで番組を探す」[「41」](#)をご覧ください。

範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります。

- BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
- 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
- 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
- BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に「サブメニュー」を押す、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1 チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲・▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、**決定**を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。



- 「マルチ表示」での番組予約については、**59**をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 **赤**を押して文字の大きさを切り換える

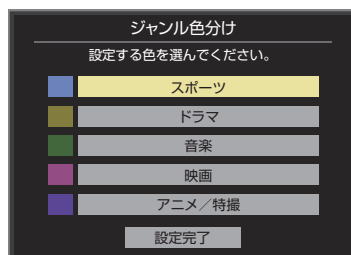
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 **サブメニュー**を押す、▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで**決定**を押す

2 設定する色を▲・▼で選び、**決定**を押す



3 ▲・▼・◀・▶でジャンルを選び、**決定**を押す

- **決定**を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す



(放送の)ネットワーク

デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

番組表で番組を探す つづき

番組記号の説明を見る

- [新]、[再]、[字]などの番組記号の意味調べることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んで 決定 を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定 を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、決定 を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- 通常……………放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先…ワンタッチ選局ボタン

1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- 視聴チャンネル中央表示 …視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示 …お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切替」を選んで 決定 を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで 決定 を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。



放送メディア

デジタル放送の媒体(テレビ放送、データ放送、ラジオ放送)をさします。

条件を絞りこんで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

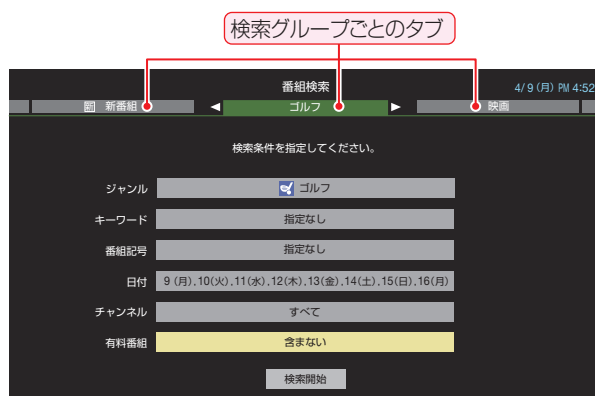
1 を押して、番組表を表示させる

2 (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。

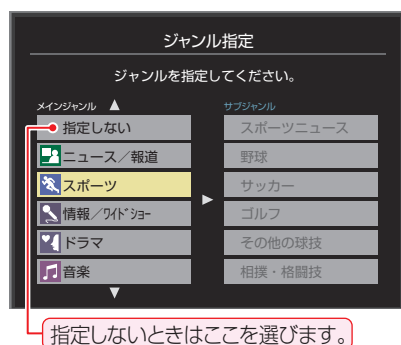


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

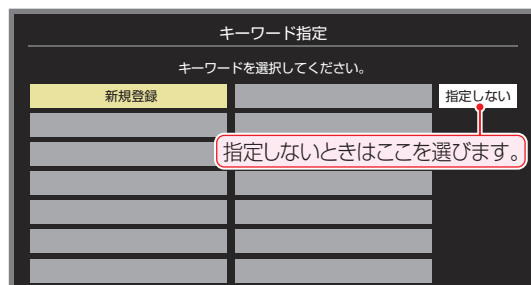
「ジャンル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、を押す
- 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、を押す



「キーワード」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「キーワード」を選び、を押す
 - 2 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



新しいキーワードを登録する場合

- 1 ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、を押す
- 文字入力画面が表示されます。
- 2 キーワードを入力して、を押す
- 文字入力の方法は、をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。

キーワードを編集する場合

- 1 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、を押す

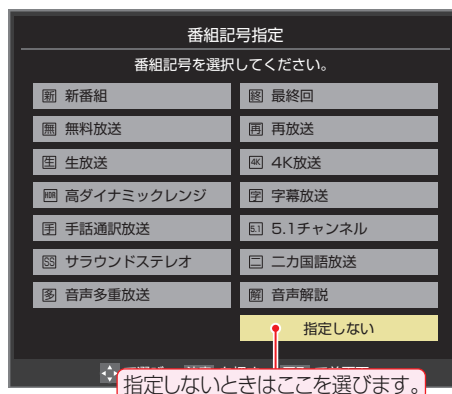
- 2 キーワードを編集し、を押す

キーワードを削除する場合

- 1 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、を押す

「番組記号」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「番組記号」を選び、を押す
- 2 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

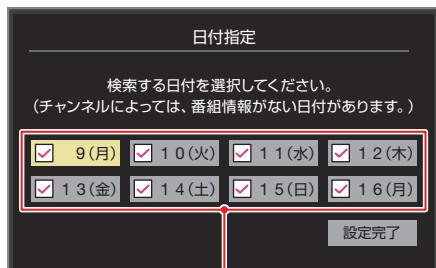


- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「チャンネルスキップ設定」で、チェックをはずしたチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

条件を絞りこんで番組を探す つづき

「日付」を指定するとき

- ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す
- 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 決定を押すたびに、☒ (指定する)と☐ (指定しない)が交互に切り換わります。
 - 7日先まで指定できます。

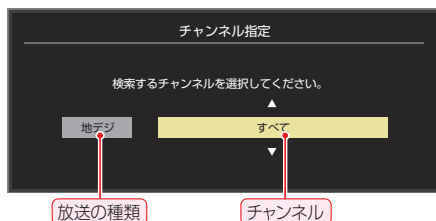


指定する日に「☒」がつくようにします。

- 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- 放送の種類……すべて / BS / CS / BS/CS 4K / 地デジ
- チャンネル……指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて

- 指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。
- ▲・▼で「有料番組」を選び、決定を押す
- ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

- ▲・▼で「検索開始」を選び、決定を押す

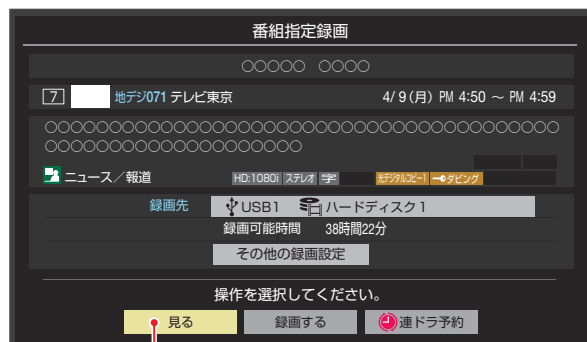
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

- 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで決定を押す



- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。**59**の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけ、**4K**を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

- ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す



「見る」を選びます。

- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)について

- 本機は、Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスに対応しています。
Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)は、放送と通信が連動・連携したサービスです。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1

d データ を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1

放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、**BS** を押します。

2

サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む

3

▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、決定 を押す

- **移動** で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。



お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切替ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切替はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**d データ** は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送、Hybridcast™は録画できません。
- **双方向サービスについて**
 - 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(**98** ~ **102**)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
 - 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
 - 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
 - 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
 - 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、利用できません。
- **Hybridcast™サービスについて**
 - Hybridcast™サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(**98** ~ **102**)をしてください。また、Hybridcast™サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇒「画面サイズ切換」の順に進む

2 お好みの画面サイズを▲・▼で選び、決定 を押す

- 画面の見えかたについては、138P をご覧ください。

スキャンサイズを切り換える

- 16:9の映像を表示する際の設定を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇒「スキャン切換」の順に進む

2 ▲・▼で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」のいずれかを選んで 決定 を押す

スキャン切換

- ☒ ジャストスキャン
- ☐ オーバースキャン

- ジャストスキャン… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- オーバースキャン… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主：副

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 音声1 → 音声2 → 音声3…

映像を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があります。お好みで選択することができます。
- 番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「映像信号切換」の順に進む

2 視聴したい映像を▲・▼で選び、決定 を押す

映像信号切換

- ☒ 映像 1
- ☐ 映像 2
- ☐ 映像 3



● 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 静止 II を押す

- 解除するときは、もう一度 静止 II を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。



- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

画面を一時的に消す

- 一時的に画面を消すことができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「消画」を選んで 決定 を押す

- 画面が消えた状態でも、音声は流れ続けます。
- 音量以外の操作を行うと消画は解除されます。

映像の詳細情報を表示させる

- サブメニュー を押し、「信号フォーマット詳細表示」を有効にすると、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例 信号フォーマット

信号情報

解像度	: 1440 × 1080
走査方式	: インターレース
垂直周波数	: 60Hz
色深度	: 24bit
RGB/YUV	: YUV
クロマフォーマット	: 4:2:0
映像フォーマット	: H.264/AVC
音声フォーマット	: AAC / ステレオ

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「信号フォーマット詳細表示」を選ぶ

2 決定 を押して有効/無効を切り換える

- 有効……視聴画面で、映像信号の詳細な情報が表示されます。
- 無効……信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

Dolbyの通知を表示しない設定にする

- Dolby VisionなどのDolby信号の入力があつたときに、通知を表示するかの設定を変更できます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「詳細設定」⇨「Dolby通知」の順に進む

2 決定 を押して有効/無効を切り換える

- 有効にすると、Dolbyの信号の入力があつたときに通知が表示されます。

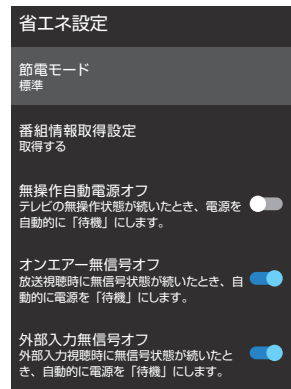
省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「詳細設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、決定 を押す



- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。

① ▲・▼でお好みの設定を選び、決定 を押す

- 標準……標準の明るさです。
- 節電1……画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
- 節電2……画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

便利な機能を使う つづき

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」でを使用することをおすすめします。
- 1 ▲・▼でお好みの設定を選び、決定を押す
 - ・ 取得する …… 電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
 - ・ 取得しない …… 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- 1 決定を押して有効/無効を切り換える
 - ・ 有効 …… 本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
 - ・ 無効 …… テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- 1 決定を押して有効/無効を切り換える
 - ・ 有効 …… 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - ・ 無効 …… 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- 1 決定を押して有効/無効を切り換える
 - ・ 有効 …… 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - ・ 無効 …… 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

声を聴き取りやすくする

- 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

- 1 設定を押し、▲・▼と決定で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む

- 2 ▲・▼で「クリア音声」を選び、決定を押す

- 「クリア音声」にすると、人の声が強調されます。



- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「ヘッドホンのみ」と「ヘッドホンとスピーカー」があります。お買い上げ時は「ヘッドホンのみ」に設定されています。

- 1 設定を押し、▲・▼と決定で「音声設定」⇒「音声詳細設定」⇒「ヘッドホン出力設定」の順に進む

- ・ ヘッドホンのみ
ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
- ・ ヘッドホンとスピーカー
ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。
- 「ヘッドホンとスピーカー」を選択しているときは、音量調整はヘッドホンの音量を調節します。



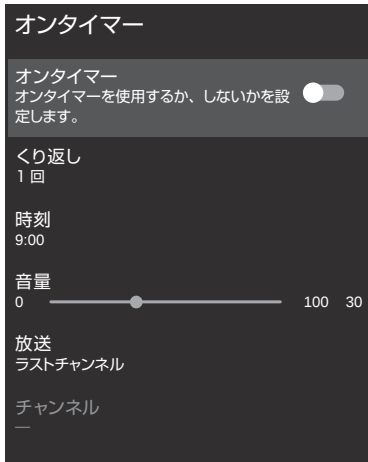
- ヘッドホン端子について
 - ヘッドホン端子では、「左右バランス」と音量の調整以外の音声調整の効果は得られません。
- ヘッドホン出力設定で「ヘッドホンとスピーカー」を選択した場合は、「テレビスピーカー」のみ音声調整の効果を反映します。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

- 1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「タイマー機能」⇒「オンタイマー」の順に進む

- 2 以下の手順で設定する



オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
- ① ▲・▼で「オンタイマー」を選ぶ
- ② を押して有効/無効を切り換える
 - オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で無効を選びます。

くりかえし

- オンタイマーをくりかえし使用するかを設定します。
- ① ▲・▼で「くりかえし」を選び、を押す
- ② ▲・▼で項目を選び、を押す
 - 曜日は「1回」、「毎日」、「月～木」、「月～金」、「月～土」、「毎週(日)」～「毎週(土)」の中から選びます。

時刻

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする時刻を設定します。
- ① ▲・▼で「時刻」を選び、を押す
- ② 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で時刻を選ぶ
- ③ 設定が終わったら、を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。
- ① ▲・▼で「音量」を選ぶ
- ② ◀▶で好みの音量を選ぶ

放送

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映す放送を設定します。
- ① ▲・▼で「放送」を選び、を押す
- ② ▲・▼で放送を選ぶ
 - 放送の種類……地デジ/BS/CS/BS/CS 4K /ラストチャンネル
 - ※ ラストチャンネルは、電源を待機にする前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)
- ③ 設定が終わったら、を押す

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。
- ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、を押す
- ② ▲・▼でチャンネルを選ぶ
 - ※ ラストチャンネルは、電源を待機にする前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)
- ③ 設定が終わったら、を押す

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 を押し、▲・▼とで「タイマー機能」⇒「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、を押す

- 電源が切れる 1 分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに  を押し「タイマー機能」を選択して  を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、オフタイマーの設定項目で「オフ」を選びます。

お知らせ

- 「オンタイマー」について
 - オンタイマーで約3時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
 - オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
 - オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。
- 「オフタイマー」について
 - 設定後に電源を「待機」にしたり再起動したりすると、設定が取り消されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB（通常録画）端子に接続したUSBハードディスクおよびレグザリンク対応の東芝レコーダー*にデジタル放送番組を録画できます（データ放送、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1～4、ビデオ入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。
 - USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。
 - レグザリンク対応の東芝レコーダーの接続は「83」をご覧ください。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク（HDMI連動）機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	● USBハードディスクの電源を入れておきます。 ● USBハードディスクの残量を確認します。「72」 ● 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。「67」 ※ 残量不足や番組数超過（3000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。「75」
レグザリンク対応の東芝レコーダー	● ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、「50」を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」「75」が「オン」に設定されています。



● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。



- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません（「録画番組を修復する」「75」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの接続をする

- 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

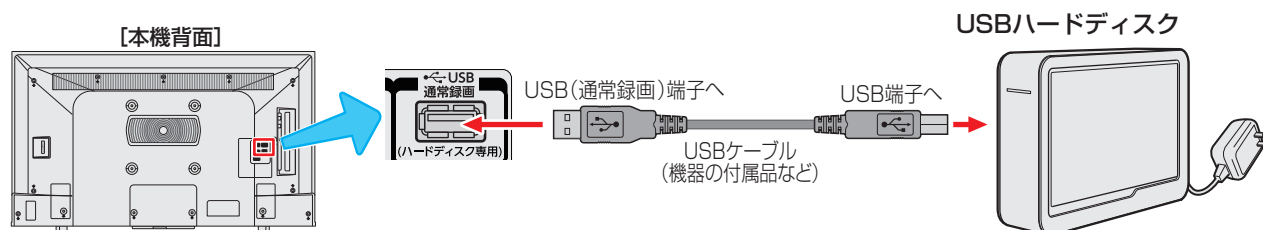
できること	記載ページ
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約	58
録画番組の再生	67



- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」51の手順で操作してください。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本体側面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。
- USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

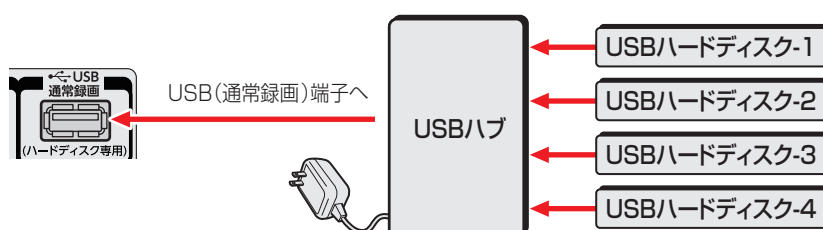
USBハードディスクが1台のとき

- USBハードディスクは、USB (通常録画) 端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
- ※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。



- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

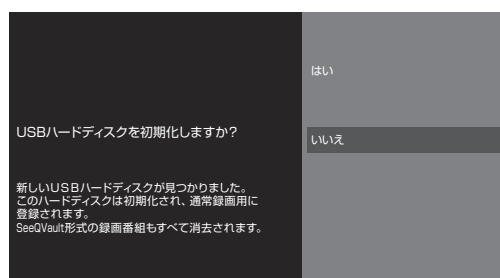
USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクを本機に登録する

- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 ▲・▼で「はい」を選んで **決定** を押す

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。



- ※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次の「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで **決定** を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

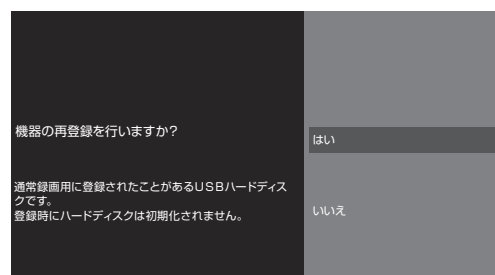
3 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、▲・▼で「はい」を選んで **決定** を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
- ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
- **決定** を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから **決定** を押します。

4 登録結果の内容を確認し、**終了** を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで **決定** を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

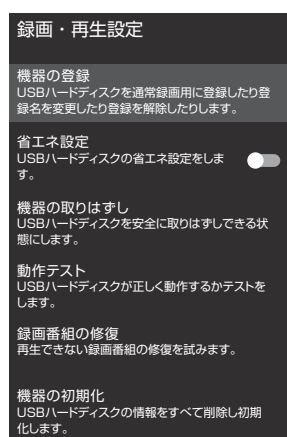
※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

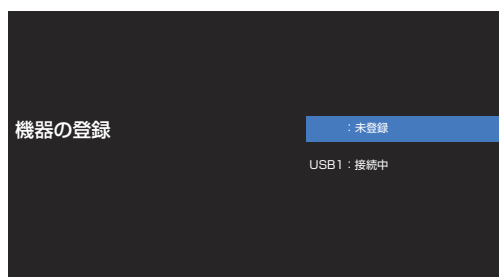
1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「通常録画設定」の順に進む



2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。



- ※ 登録できるのは8台までです。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

- ※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 登録の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで**決定**を押す
- 3 初期化の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで**決定**を押す
 - 初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定**を押す

登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 ▲・▼で「登録名変更」を選び、**決定**を押す
- 3 ▲・▼で「はい」を選び、**決定**を押す
- 4 文字入力画面で登録名を入力する
 - 文字入力の方法は、**134**をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 ▲・▼で「登録解除」を選び、**決定**を押す
- 3 ▲・▼で「はい」を選び、**決定**を押す
 - 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき
録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき
再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※ 本機の電源が「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

1 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オン……USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- オフ……本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

1 取りはずす機器を▲・▼で選び、**決定**を押す

2 確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで**決定**を押す

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

3 USBハードディスクを取りはずし、**決定**を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

1 テストする機器を▲・▼で選び、**決定**を押す

- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - 録画……ハイビジョン画質で録画ができるか
 - 録画中の再生……ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
 - 録画中の早見早聞……録画中にハイビジョン番組の早見早聞**68**ができるか、録画中に4K番組の再生ができるか

- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

USBハードディスクの設定をする つづき

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

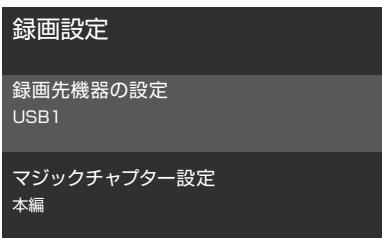
- 1 初期化する機器を▲・▼で選び、決定を押す
- 2 初期化の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで決定を押す
- 3 初期化終了の画面で決定を押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「録画・再生設定」⇒「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



録画に使用する機器を設定する

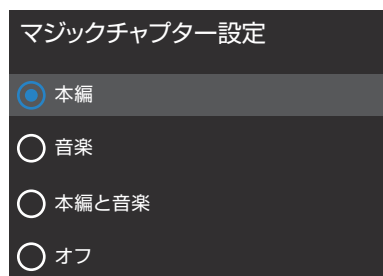
- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

- 1 ▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、決定を押す
- 2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、決定を押す

チャプター分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)。

- 1 ▲・▼で「マジックチャプター設定」を選び、決定を押す
- 2 チャプター分割の場面を▲・▼で選び、決定を押す



- 本編 ……………本編とCMの間でチャプター分割されます。
- 音楽 ……………楽曲の前後でチャプター分割されます。
- 本編と音楽 ……上記の両条件でチャプター分割されます。
- オフ ……………チャプター分割をしません。

※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

ホームネットワーク機器の準備をする

ホームネットワークについて

- ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機と、ネットワークメディアサーバーなどを接続し、録画番組や動画、音楽、写真を再生して楽しむことができます。

ネットワークメディアプレーヤー

- 本機はネットワークメディアプレーヤー(動画/音楽/写真)機能を搭載しています。
ネットワークメディアサーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます。 92頁 ~ 96頁
- ※ ネットワークメディアプレーヤー機能はDTCP-IPに対応していません。

スマートフォンやタブレットPC(レグザAppsコネクト)

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- * DTCP-IP(「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。

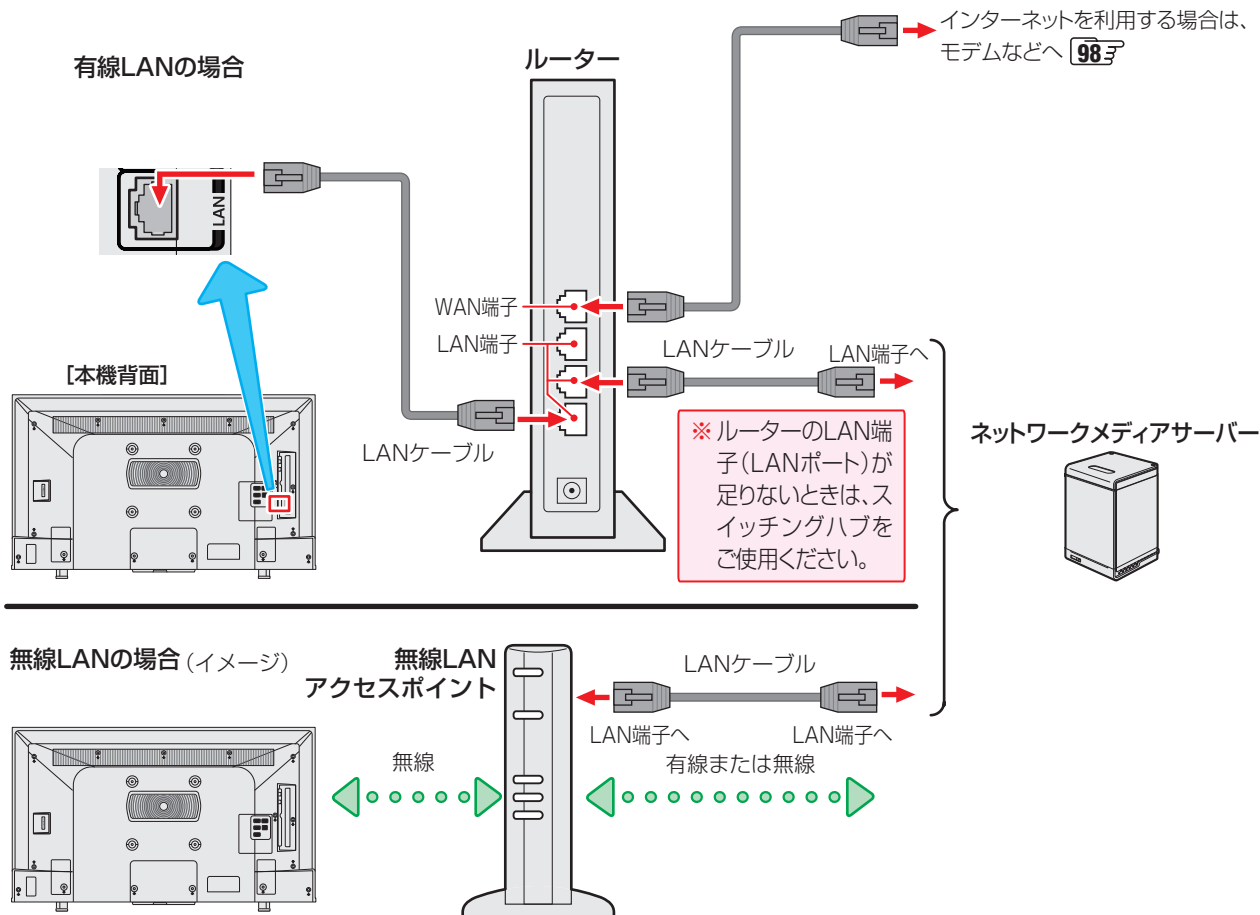


- ネットワークメディアサーバーが公開している一部のコンテンツ(本機対応フォーマット以外のコンテンツなど)は再生できないことがあります。
- 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

ホームネットワークの接続をする

機器を接続する

- 有線LANのブロードバンドルーターの場合は、本機と機器を接続します。無線LANアクセスポイントの場合は、本機を無線LANで接続する設定をします(有線LANか無線LANのどちらかを選びます。両方を同時に使用することはできません)。



お知らせ

- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。
- すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、デジタル放送などの著作権保護付データをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのデータを取り扱う場合も、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。 162

機器のネットワーク設定を確認する

- 「IP設定」が「DHCP」で使用する前提です。
- 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」の操作で確認できます。
- 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください(ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください)。

① ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる

② IPアドレスを確認する

無線LAN接続の場合

① を押し、▲・▼とで「ネットワークとインターネット」を選ぶ

② ▲・▼で接続しているアクセスポイントを選び、を押す

- ネットワーク情報が表示されます。

有線LAN接続の場合

① を押し、▲・▼とで「ネットワークとインターネット」を選ぶ

- IPアドレスは、「イーサネット」の項目に表示されます。

● ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス(下表の範囲のどれか)でなければなりません。

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

- 本機でインターネットにアクセスする場合、双方向サービス、クラウドサービスなどを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。

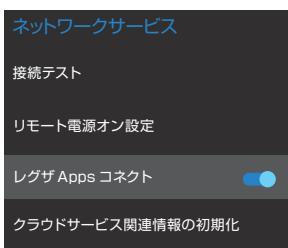
ホームネットワークの設定をする

接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～

レグザAppsコネクトの設定

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- 本機のレグザAppsコネクト機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワークとインターネット」⇒「レグザAppsコネクト」の順に進む



2 **決定** を押し、設定を切り換える

- **決定** を押すごとに、有効と無効が交互に切り換わります。

接続機器を本機から起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器を相互に登録しておく、番組再生などの際に接続機器または本機が起動していないときに本機または接続機器の操作で相手の機器を起動する(電源を入れる)ことができます。
- 対象の機器を接続して電源を入れ、以下の操作をします。
- ※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも設定をしてください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)

本機のリモート電源オン機能を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワークとインターネット」⇒「リモート電源オン設定」⇒「外部機器から電源オン」の順に進む

外部機器から電源オン

- ☒ オン
リモート電源オン機能を利用して、スマートフォンの対応アプリからテレビの電源を「入」にすることができます。ただし待機中の消費電力が増えます。
- ☐ オフ
スマートフォンの対応アプリからテレビの電源を「入」にすることができません。

- 2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。



- 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

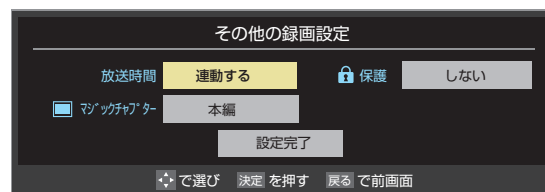
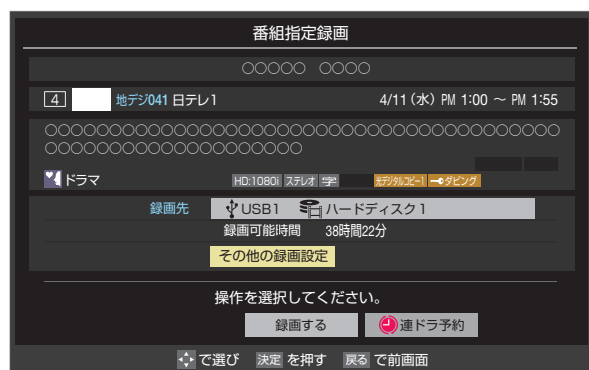
見ている番組を録画する

- 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
- ※ USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)はこの操作はできません。

1 テレビ放送を見ているときに「サブメニュー」を押し、▲・▼で「録画」を選び、決定を押す

- 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

2 録画設定を変更する場合は、▲・▼・◀・▶で「その他の録画設定」を選んで決定を押す



その他の録画設定でできる設定

● 放送時間連動機能の変更

放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。

- 1 「放送時間」で決定を押し、「連動する」または「連動しない」を選んで決定を押す
- 2 「設定完了」を選び、決定を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」[63](#)をご覧ください。

3 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」にします(録画は継続されます)。
- ※ 2番組の同時予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

1 録画中に「終了」または「停止」を押す

- 2番組同時録画(W録)をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲・▼で選んで、決定を押します。

2 「録画中止」の画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

2番組同時録画(W録)について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- BS・110度CSの4K放送の二つの番組を同時に録画することはできません。
- 一つの有料番組でW録はできません。
 - 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
 - 録画中の有料番組を視聴中に録画の操作をしても録画(W録)は開始されません。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

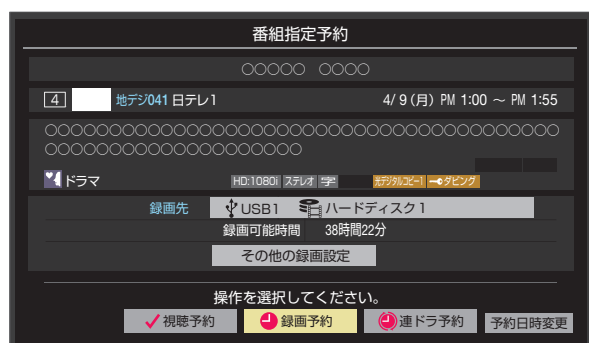
1 を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

- 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**63**の操作をします。



- ① ▲・▼・◀・▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- **視聴予約**：指定した番組の視聴を予約します。
 - **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
 - **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。**60分**
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「**毎予約**」が表示されます。

- ②「予約を設定しました。」が表示されたら、**決定**を押す

予約する日時を変更する場合

- 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができません。

- ① ▲・▼・◀・▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す
- ② メッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ③ 「日時を指定して予約をする」62の手順3以降の操作をする

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」**121**をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」**40**をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

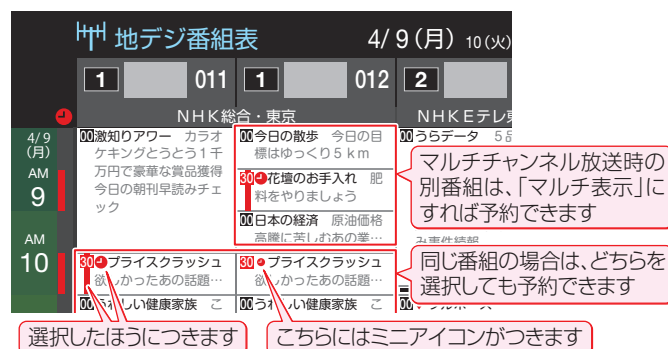
- 1 **◀・▶**で「はい」を選び、**決定**を押す
● 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 2 予約を取り消す番組を**▲・▼**で選び、**決定**を押す
● **決定**を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。
● ☒をつけた番組の予約が取り消されます。
- 3 **赤**を押して、取り消しを実行する

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- 1 を押す
- 2 「予約の確認・変更・取り消しをする」の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。**[37P]** (東芝レコーダーへの予約は表示されません)
- 予約の確認や取り消しについては**[64P]**を、予約の優先順位については**[66P]**をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては受け付けない(録画しない／録画機能が働かない)ことがあります。

連続ドラマを予約する

● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。



- 本機では、PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV（ペイ・パー・ビュー）番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

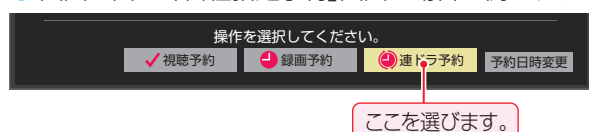
- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」
[63]の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」[63]の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。



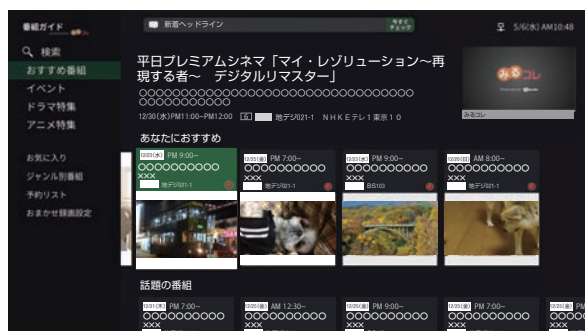
- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては[64]を、予約の優先順位については[66]をご覧ください。

番組ガイドで番組を予約する

- 番組ガイドでは、クラウドサービスを利用して、放送予定の番組からおすすめの番組などを探して簡単に予約ができます。また、おまかせ録画の設定や重複している録画予約の確認ができます。
- 番組ガイドを使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 番組ガイドを押す

- 番組ガイドが表示されます。



予約リスト

- 「予約リスト」のタブを選択すると、予約リストが表示されます。



2 ▲▼でタブを切り換え、決定を押す

- 画面の右側には、タブで選択されている項目の未来番組が表示されます。

お気に入り

- お気に入りパックの未来番組が表示されます。
- 「パックの追加・管理」を選ぶと、お気に入りパックの追加や削除、並べ替えができます。
- ※ 「パック」については、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

ジャンル別番組

- ▲▼でジャンルを選んで決定を押すと、選択したジャンルの未来番組が表示されます。

3 ▲▼・◀▶で番組を選び、決定を押す

- 番組詳細画面が表示されます。



- 番組詳細画面からは、「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」の予約の他、その番組をおまかせ録画するように設定できます。

おまかせ録画設定

- 「おまかせ録画設定」のタブを選択すると、おまかせ録画の設定画面が表示されます。
- 「おまかせ録画」を「する」に設定すると、おまかせ録画する録画先ハードディスクの選択や、おまかせ録画領域の設定が選べます。
- おまかせ録画を解除する場合は、「おまかせ録画」を「しない」に設定します。

日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする

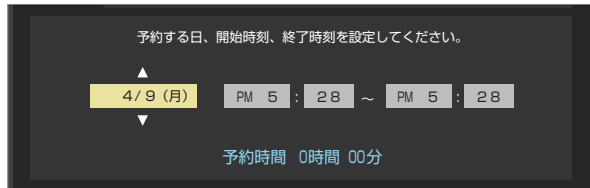
日時を指定して予約をする

1 番組表を表示中に「サブメニュー」を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで「決定」を押す

2 青 を押す

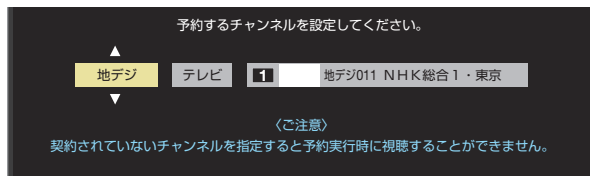
- 日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する



- ① 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する
 - 6週間先まで指定できます。
 - 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
 - 設定できる時間は最大23時間59分です。
- ② 設定が終わったら、「決定」を押す

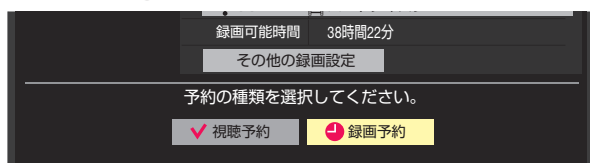
4 録画するチャンネルを設定する



- ① 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
 - 放送の種類……地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
 - 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSだけ)／データ
 - チャンネル……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル
- ② 設定が終わったら、「決定」を押す

5 録画設定を変更する場合は、[63]の手順で操作をする

6 ▲・▼・◀・▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、「決定」を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、「決定」を押す
メッセージなどが表示された場合

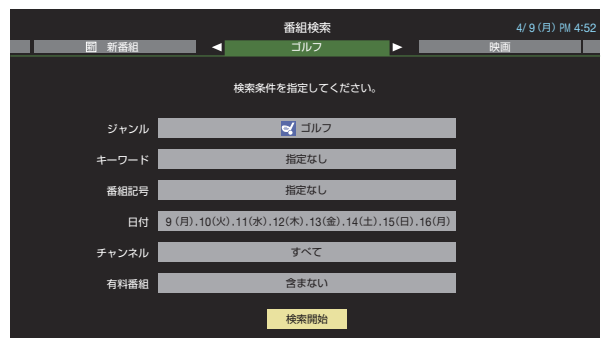
- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、[59]をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表 を押して、番組表を表示させる

2 緑 (番組検索) を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」[41]の手順3～5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲・▼で選び、「決定」を押す



5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」[59]の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。



- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては、[64]を、予約の優先順位については、[66]をご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

● 録画・録画予約の「録画先」の設定は、画面上の「録画先」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

① 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

② ▲・▼で設定したい録画先を選び、決定を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります(「×」は設定がありません)。

3 ▲・▼で内容を選び、決定を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項 目	内 容	USB ハードディスク	レグザリンク対応 の東芝レコーダー
録画先	録画をする機器を選びます。	○	○*
マジックチャプター	「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ)。 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 - マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 ※ 番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ チャプター数の上限(99個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。	○	×
保護	- 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。 - 録画後に設定することもできます。「75」	○	×
連ドラ	- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。 - 文字入力の方法は、「134」をご覧ください。	○	×
追跡キーワード	文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。	○	×
追跡基準	必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。	○	×
上書き録画	- 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 - 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。	○	×
放送時間	- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。 - ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については「66」をご覧ください。	○	○
録画品質	「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 「ハイビジョン画質(DR)」 - デジタル放送をそのままの画質で録画します。 「録画先の設定画質」 - 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。	×	○

* レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取り消しをする

- 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

1 番組表を表示中に「サブメニュー」を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで「決定」を押す

- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、**緑** を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、「決定」を押す



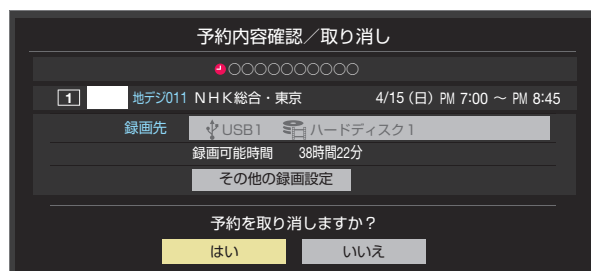
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
 ● は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。
 ● は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

- たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

- 1 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す



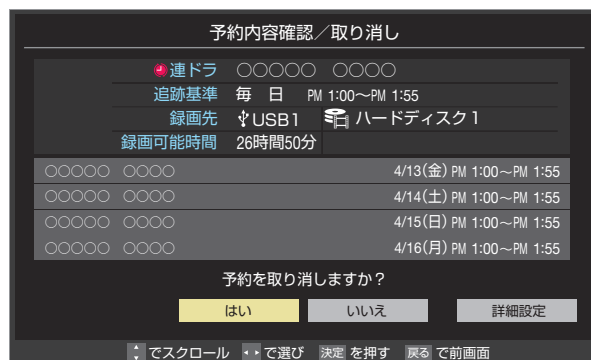
- ※ BS・110度CSの4K放送PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の予約を取り消しても、購入手続きは取り消されません(予約を取り消しても購入情報が残ります)。

録画設定を変更するとき

- 前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

- 1 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す



- 予約時間が3番組以上重なっているときは、**!** が表示されます。
- 同一の有料番組が重なっている場合は、**¥!** が表示されます。
- ※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

- 1 ▲・▼・◀▶ で「詳細設定」を選び、**決定** を押す
- 2 ▲・▼で設定を変更する項目を選び、**決定** を押す
 - 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。
- 3 ▲・▼・◀▶ で「設定完了」を選び、**決定** を押す

おまかせ録画

- おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。おまかせ録画は、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに録画されます。おまかせ録画について詳しくは、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。
- ※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

- おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定	記載ページ
● インターネットを利用するための接続をする。 ● インターネットを利用するための設定をする。 ● 「レグザプライバシーポリシー」を「同意する」に設定する。 ● 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」※を登録する。	98ページ 99ページ～102ページ 103ページ —

※ 「みるコレ パック」については、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

- 1 **番組ガイド**を押して、「おまかせ録画設定」タブを選んで表示された設定画面で、「おまかせ録画」を「する」に設定します。
- 2 ▲・▼で「お気に入り」タブを選び、「パックの追加・管理」を選ぶと、パック(おまかせ録画できるジャンルやタレント)の一覧が表示されます
- 3 おまかせ録画したいパックを選んでいる状態で **青** を押すと、パックがお気に入りに追加され、おまかせ録画も設定できます

録画について

- 地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送／新4K8K衛星放送のテレビ放送を録画します。
 - 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
 - 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。
- おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。
 - 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時時間帯に3件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。
- おまかせ録画の最大予約件数は32件です。
 - おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

- おまかせ録画は、通常録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。
 - おまかせ録画領域の設定は、番組ガイド機能の「おまかせ録画設定」の画面から行います。
 - 通常録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。
- 録画番組は、通常録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)がつきます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
 - おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または通常録画番組に変更することができます。
 - おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で **青** を押すと通常録画予約に変更できます。
 - おまかせ録画番組は、録画リストで **サブメニュー** を押し、「通常録画番組に変更」を選ぶと、通常録画番組に変更できます。

おまかせ録画でのご注意

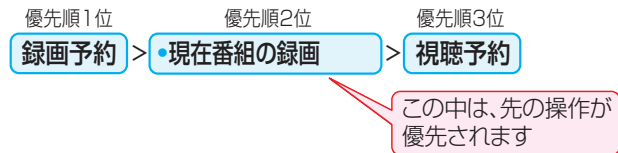
- 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの通常録画領域の容量を基に表示されます。
- おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
 - おまかせ録画番組は削除されません。
- 「レグザプライバシーポリシー」103ページを「同意しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。

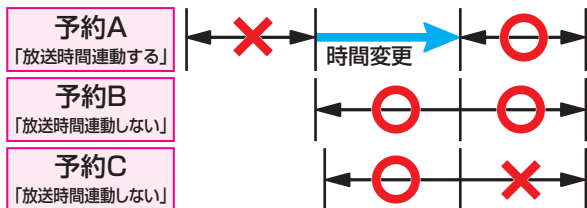


放送時間に変更されたとき

- 予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

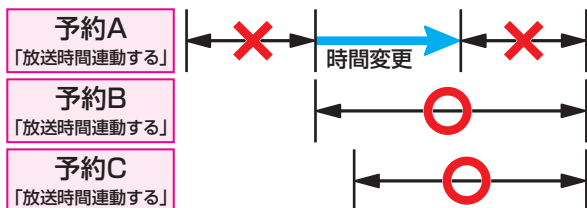
- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
- 例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。



「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

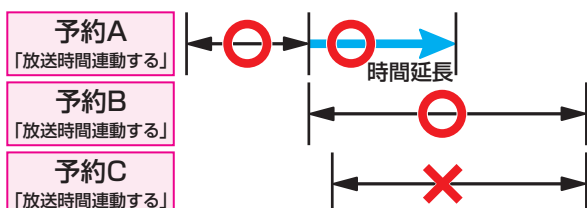
① 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。
- 例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



② 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。
- 例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。



③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 予約を登録した順に2番組まで録画されます。

- 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。
- 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。
- 番組情報(放送時間)が変更され、「録画予約」と「連ドラ予約」が同時刻で重なった場合は「録画予約」が優先録画されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、 または を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換えることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まる時は、メッセージが表示されます。 を押し、暗証番号 **1213** を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「動画を再生する」[92](#)をご覧ください。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

- **レグザナビ**を押して表示されるレグザナビの画面で、「録画リスト」を選択しても表示できます。

2 ▲・▼で録画リストの表示を切り換える

- 分類タブについては、下の図を参照してください。
- 「おすすめ番組」選択中の表示はタイル表示、「録画番組」ではリスト表示になります。
- ※ 「おすすめ番組」を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

おすすめ番組

- AIおすすめ……おすすめの録画番組が表示されます。
- お気に入り……お気に入りパックの録画番組が表示されます。

録画番組

- すべて……すべての録画番組が表示されます。
- 連ドラ別……連ドラ名のリストが表示されます。
▲・▼で連ドラ名を選びます。
- ジャンル別……ドラマや映画などのジャンルリストが表示されます。▲・▼でジャンルを選びます。
番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- 曜日別……曜日のリストが表示されます。
▲・▼で曜日を選びます。

- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、「サブメニュー」を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで**決定**を押してから暗証番号を入力してください。
- 「通常録画のみ」の下タブでは、おまかせ録画の番組を除いた通常録画の番組のみが表示されます。

3 ▶または**決定**を押す

- カーソルが右側の録画番組のリストに移動します。
- 録画番組のリストの左端で◀を押すと、分類タブの切り換えに戻ります。

4 見たい番組を▲・▼・◀・▶または▲・▼で選び、**決定**を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- **▶/再帰**を押すと小画面が開き、選択中の録画番組のプレビュー再生ができます。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

5 番組再生を終了するには、**■**または**終了**を押す

- 放送画面などに戻ります。

録画中の番組を再生するー追っかけ再生ー

1 録画中の番組を▲・▼で選んで**決定**を押す

- お知らせ**
- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっていきます)。
 - 録画リストについて
 - 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
 - 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画リスト (例: AIおすすめ選択時)



録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内 容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 ・再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ・放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 ・一時停止中に押すとコマ送りができます。 ・一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 ・一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなる場合があります。 ・一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中に押すと、前/次のシーンへスキップします。 ・シーン情報がない録画番組の場合は、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします(録画時間が短い番組では動作しないことがあります)。 ・シーン/出演者画面のように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
	シーンリストを表示します。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次のシーンにスキップします。 ・シーン情報のない録画番組の場合は、次のチャプターにスキップします。
	一つ前のシーンにスキップします。 ・シーン情報のない録画番組の場合は、一つ前のチャプターにスキップします。
	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

- ※ BS・110度CSの4K 録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。
- ※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ/ワンタッチリプレイの時間を変更する

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておく、と、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

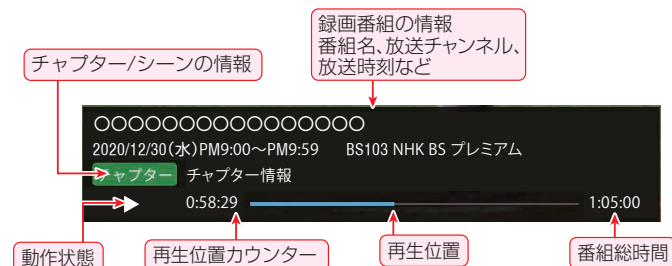
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
- 2 ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲・▼で時間を選び、**決定** を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

1 再生中に「画面表示」を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



2 表示を消すには、もう一度「画面表示」を押す

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

1 「設定」を押し、▲・▼と決定で「録画・再生設定」⇒「通常録画設定」の順に進む

2 ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、決定を押す

3 番組を修復する機器を▲・▼で選び、決定を押す

4 確認画面で、▲・▼で「はい」を選び、決定を押す

- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

5 「録画番組を修復しました。」が表示されたら、決定を押す

- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

シーン/出演者の情報を見る

- クラウドサービスを利用して、番組のシーンの情報や、出演者の情報を見ることができます。
- シーンリストおよび出演者のリストを表示するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- ※ すべての番組にシーンリストが用意されることを保証するわけではございません。シーンについて詳しくは、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

1 シーン/出演者 または▲・▼を押す

- シーンや出演者、シリーズの画面が表示されます。



2 «・» で分類タブを切り替える

- カーソルを分類タブに合わせて◀▶でも切り換えられます。

シーン

- シーンリストを表示します。
- シーン情報がない番組の場合は、チャプターリストが表示されます。
- 青を押して、シーンリストとチャプターリストを切り換えることもできます。
- シーン詳細がある場合、▶を押すとシーン詳細を表示します。
- 決定を押すと、選択したシーンの再生が始まります。

出演者

- 番組説明と出演者のリストが表示されます。
- ▲・▼で番組説明や出演者を選び、▶を押すと詳細が表示されます。

シリーズ

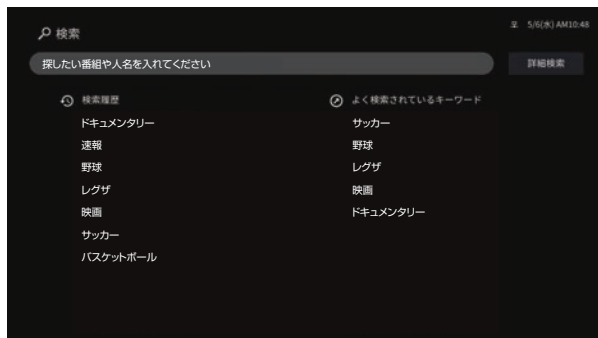
- 連ドラなどで、該当番組のその他の話数の番組を表示します

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組や未来番組、バック、シーンを横断検索します。
- 検索機能を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 録画リストの表示中に▲・▼・◀・▶で検索アイコン(🔍)を選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。



詳細を指定して検索する

- 1 ▲・▼・◀・▶で「詳細検索」を選び、決定を押す
- 詳細検索画面が表示されます。



2 以下の手順で番組を探す

- 録画番組検索画面が表示されます。

検索履歴から選択する

- 1 ▲・▼で検索履歴から見たい番組を選び、決定を押す

キーワードを入力して検索する

- 1 ▲・▼で検索窓を選び、決定を押す
 - キーワード入力画面になります。
- 2 キーワードを入力して決定を押す
 - 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
 - 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。
- 3 ▲・▼・◀・▶で見たい番組を選び、決定を押す



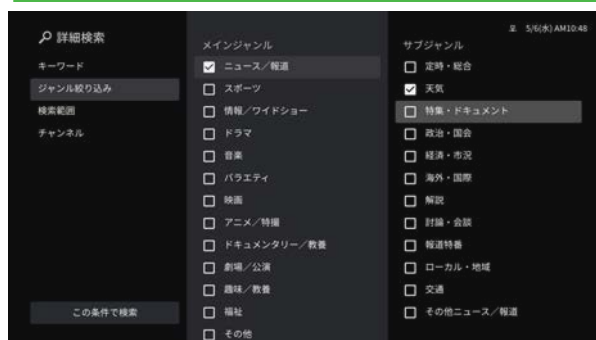
- キーワードを入力せずに、▲・▼・◀・▶で「よく検索されているキーワード」を選んで検索することもできます。

- 2 ▲・▼・◀・▶と決定で詳細な条件を入力する

キーワード

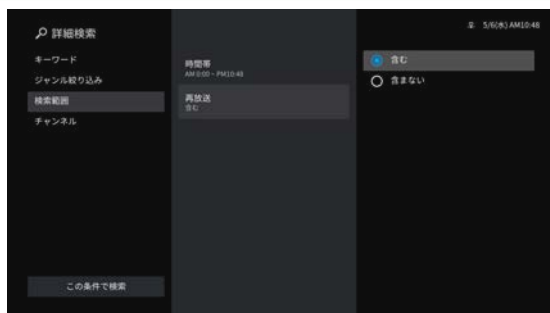
- 「以下のいずれかを含む」、「以下のいずれも含まない」の条件を設定できます。
- 「+追加」を選ぶとキーワード入力画面が表示され、キーワードを追加できます。
- 既にあるキーワードを削除する場合は、キーワードを選んで▶を押し、「削除」を選びます。

ジャンル絞り込み



- ▲・▼でジャンルを選び、決定を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。
- メインジャンルの選択で▶を押すとサブジャンルの選択にカーソルが移動します。◀でメインジャンルに戻ります。

検索範囲



- 検索する時間帯と、再放送を含むかどうかを選択します。

時間帯

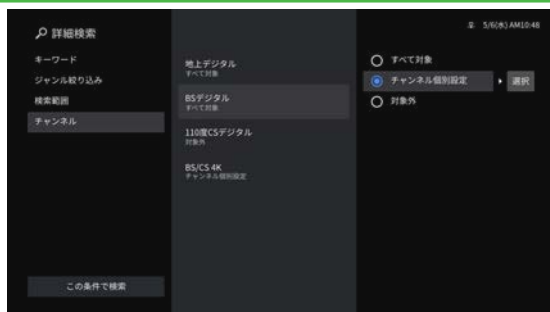


- ▲・▼・◀・▶で、検索したい時間帯を指定します。

再放送

- 再放送の番組を含むかどうかを選択します。

チャンネル



- 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル/BS/CS 4Kから、検索するチャンネルを選びます。

- 3 条件を入力したら、「この条件で検索」を選んで **決定** を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

- 4 ▲・▼・◀・▶で見たい番組を選び、 **決定** を押す

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

番組を並べ替える

- 録画リストの「録画番組」タブに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「録画番組」の並べ替えを選んで決定を押す

2 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 新しい順……………日付の新しい順に表示されます。
- 古い順……………日付の古い順に表示されます。

おまかせ録画番組を通常録画番組に変更する

- おまかせ録画で録画した番組を、「通常録画のみ」のリストに表示される通常録画番組に変更することができます。

1 録画リスト上で変更したい録画番組を選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「通常録画番組に変更」を選んで決定を押す

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 ▲・▼で「選択中の機器」を選ぶ

- 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

- カーソルが右側のリストに移動します。

3 使用する機器を▲・▼で選び、決定を押す

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
 - ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS・110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 ▲・▼で「選択中の機器」を選ぶ

- 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

例：USBハードディスクの場合



ざんまいスマートアクセスで楽しむ

- 番組を見ながら、お好みの録画番組や放送中の番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。
- 本機能の一部を使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

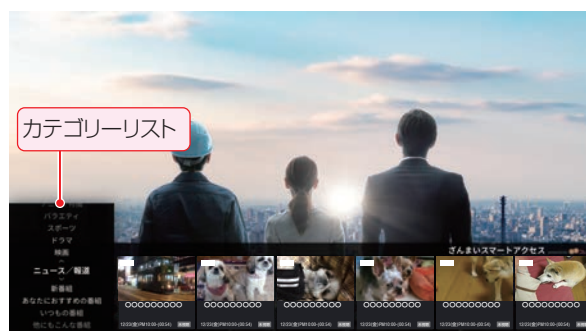
ざんまいスマートアクセスでお好みの番組を選ぶ

1 ざんまい を押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。

2 ▲・▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

- サムネイルが表示されます。



3 ◀▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、決定を押す

- 選択した番組の再生が始まります。
- 放送中の番組を選んで決定を押した場合は、選んだ番組が選局されます。
- 視聴制限番組の場合は、番組タイトルや詳細が伏せ字(「****」)で表示されます。

カテゴリーリストについて

- カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面で☒がついている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、「カテゴリーリストの項目を変更する」**74**の操作で確認することができます。



選択している番組の情報が表示されます。

サムネイル表示
番組の内容を表す画像が、
並んで表示されます。



サムネイルの種類について

- 番組のサムネイルや番組のジャンルを表すサムネイルなどが表示されます。
- 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「H」(地デジ番組)、「Q」(BS / CS / BS/CS 4K 番組)が表示されます。

カテゴリーをお好みに変更する

- カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

カテゴリーリストの項目を変更する

1 ▲・▼を押して、カテゴリーリストから「カテゴリー設定」を選び、決定を押す

- 表示可能なカテゴリー項目が表示されます。



- カテゴリーリストに表示されている項目には、☒がついています。

2 ◀・▶でカテゴリーを選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☒ (表示する) と ☐ (表示しない) が交互に切り換わります。
- 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。
- 「パックの追加・管理」のカテゴリーを選んで決定を押すと、パックの追加・管理画面が表示されます。パックをお気に入りに追加すると、ざんまいのカテゴリーとして追加することができます。

3 変更が終了したら、▲・▼を押す

- カテゴリー設定が終了し、カテゴリーリストに表示が戻ります。

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

録画番組を消す

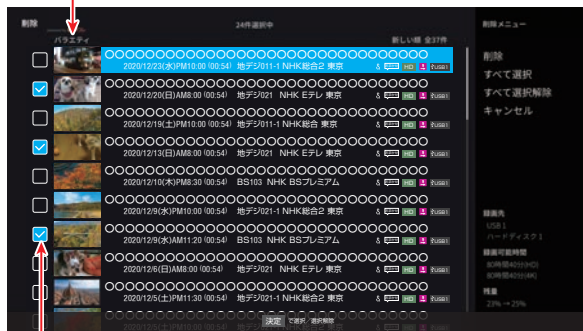
1 消す番組を▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

- 録画番組削除画面が表示されます。

2 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わります。削除する番組に☒をつけます。
- **▶**を押してカーソルを右に移動し、▲・▼で「すべて選択」を選んで**決定**を押すと、リストにあるすべての録画番組にチェックをつけることができます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

録画リストで選んでいる分類タブが表示されます



✓をつけた番組が削除されます

3 選択が終わったら、**▶**を押す

- 右側の削除メニューにカーソルが移動します。

4 ▲・▼で「削除」を選び、**決定**を押す

5 確認画面で、◀▶で「削除する」を選んで**決定**を押す

6 削除が終了したら、**決定**を押す



- 「おすすめ番組」タブで**赤** (削除)を押した場合は、1件削除の確認画面が表示されます。

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「自動削除」を無効(オフ)に設定してください。

1 ▲・▼で「選択中の機器」を選ぶ

- 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

- カーソルが右側のリストに移動します。

3 ▲・▼で「自動削除」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、自動削除の有効(オン) / 無効(オフ)が交互に切り換わります。

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲・▼で選び、**サブメニュー**を押す

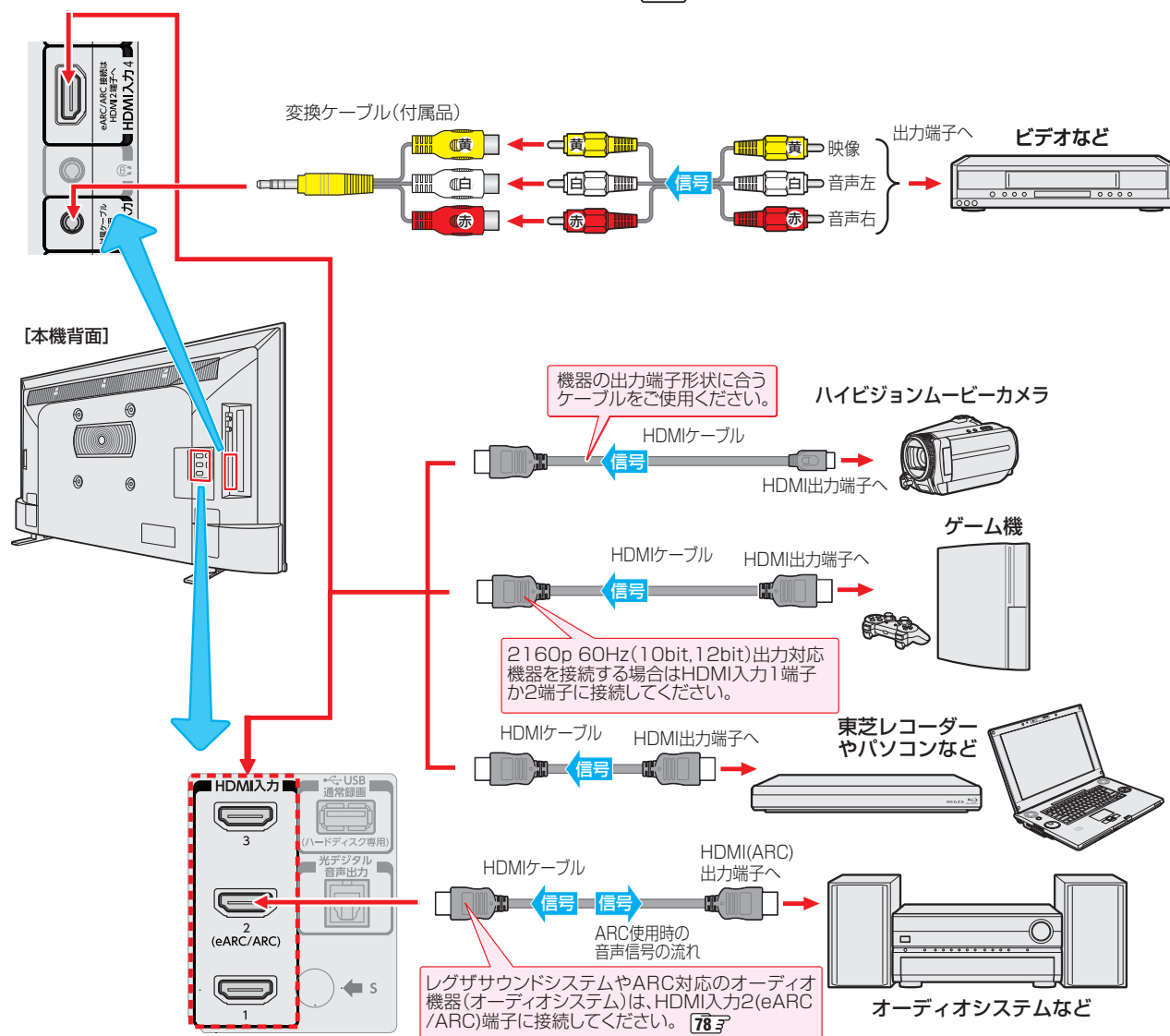
2 ▲・▼で「保護」を選び、**決定**を押す

- 選択した番組が保護されます(**赤**がつきます)。
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

外部機器を接続する

外部機器接続例

- レコーダーなどの録画機器の場合、アンテナの接続については、**[24]**をご覧ください。
- 接続が終わったら、「外部入力の機能を設定する」**[79]**を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器(レグザリンク対応機器)では、本機との連動機能によって、ワンタッチプレイやシステムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「レグザリンクについて」**[83]**をご覧ください。必要に応じて「HDMI連動機能」**[85]**の設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルを無くし、ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。ARC対応していないオーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、「レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき」**[78]**をご覧ください。



お知らせ

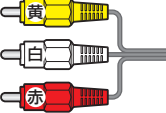
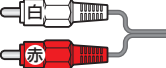
※ 本機の「レゾリューションプラス」**[107]**と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス」をオフにしてください。

- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- HDMI 4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号**[140]**を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。

- 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(**HDMI**)の表示があるケーブルをご使用ください。
- ※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
- ※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p)を入力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
- ※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p 60Hz(10bit, 12bit))を入力する場合は、ウルトラハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください(HDMI入力1、2端子のみ)

接続ケーブル (接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル (入力用/ eARC/ARC用) 	画質・音質 ともに最高	デジタル映像信号 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p, 4K×2K, 4K×2K 60Hz (10bit, 12bit) デジタル音声信号(入力) リニアPCM, MPEG-2 AAC, ドルビーデジタル、 ドルビーデジタルプラス、 ドルビーアトモス サンプル周波数: 48kHz, 44.1kHz, 32kHz ドルビー TrueHD/MAT サンプル周波数: 48kHz デジタル音声信号(eARC/ARC) リニアPCM, ドルビーデジタル、 ドルビーデジタルプラス、 ドルビーアトモス、ドルビー TrueHD/MAT(eARCのみ) サンプル周波数: 48kHz MPEG-2 AAC サンプル周波数: 48kHz, 44.1kHz, 32kHz
映像・音声用 コード(入力用) 	画質・音質 ともに標準	アナログ映像信号 480i アナログ音声信号
音声用コード (入力用) 	標準の音質	アナログ音声信号
オーディオ用 光デジタル ケーブル(出力用) 	最高の音質	デジタル音声信号(光) リニアPCM, ドルビーデジタル サンプル周波数: 48kHz MPEG-2 AAC サンプル周波数: 48kHz, 44.1kHz, 32kHz
音声用コード (出力用) 	標準の音質	アナログ音声信号

著作権保護について

- 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。

対応HDCPバージョン:

- HDCP1.4, HDCP2.3

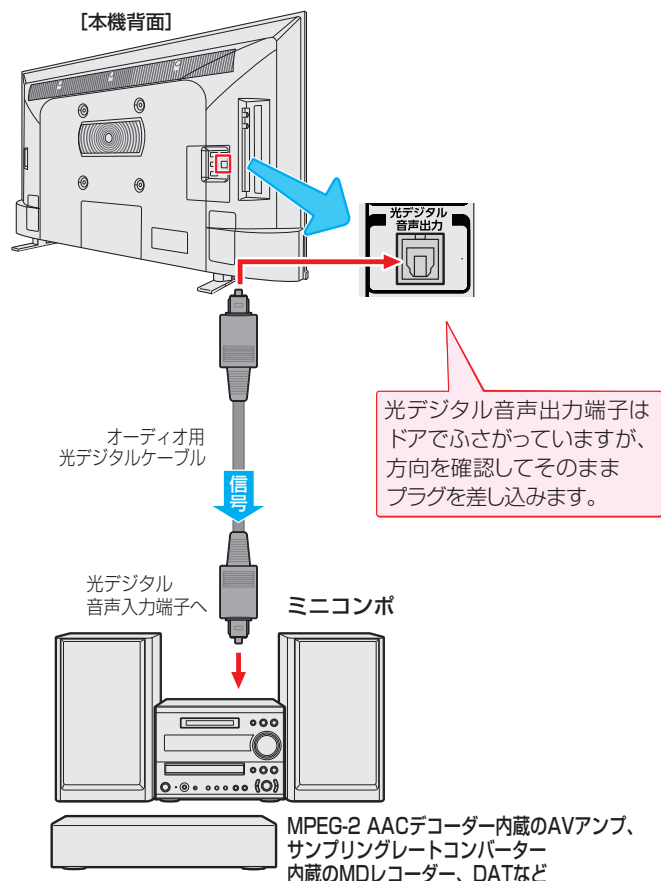


- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外部機器を接続する つづき

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

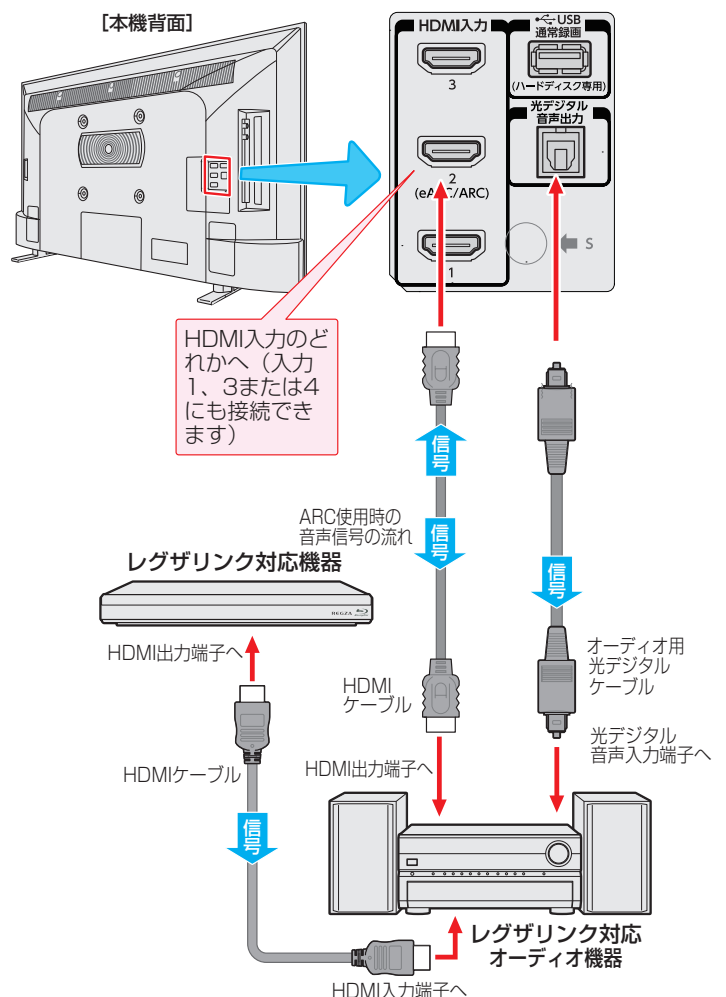
- ミニコンボなどのオーディオ機器(オーディオシステム)に接続するとき
 - ・ 本機の音声を最小に調節し、ミニコンボなどのオーディオ機器(オーディオシステム)側で音量を調節してください。
 - ・ オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」**[114]**の設定をします。
- サンプリグレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき
 - ・ MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
 - ・ 「デジタル音声出力」**[114]**を「PCM」に設定します。
- MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき
 - ・ デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
 - ・ 「デジタル音声出力」**[114]**を「デジタルスルー」に設定します。



※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。本機側に差し込むプラグの形状は、です。

レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき

- レグザリンク対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。**[83]**
- オーディオ機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」**[114]**の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」**[85]**をしてください。
- レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。
- ARCに対応していないオーディオ機器を使用する場合やHDMI入力2(eARC/ARC)端子以外に接続する場合は本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節できません。本機の音声を最小に調節し、オーディオ機器側で音量を調節してください。



※ ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続する場合は、光デジタルケーブルの接続は不要です。

お知らせ

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号は、音声メニューおよび音声調整の効果を得られません(ドルビー DRCの効果は、「PCM」や「オート」を選択してリニアPCM信号で出力される場合にだけ得られます)。
- サンプリグレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては**[77]**をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器(推奨機器)については、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

外部入力機能を設定する

- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

入力切替時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切替をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「外部入力」の順に進む

2 設定する外部入力を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

3 表示させる機器名を ▲・▼ で選び、**決定** を押す



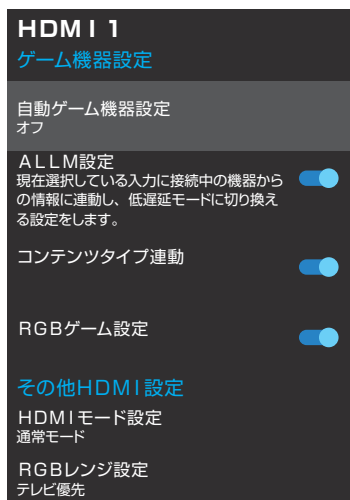
- 「この入力を表示」のチェックをはずすと、入力切替のときにこの外部入力が表示されなくなります。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の設定を変更する

- HDMI入力端子ごとに、モード切り換えなどの機能を設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「外部入力」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



自動でゲームモードに切り換える

- ゲーム機を接続したときに自動で機器を判別し、最適な設定に変更することができます。

1 設定する外部入力を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

2 ▲・▼ で「自動ゲーム機器設定」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼ を押して設定を選び、**決定** を押す

- オート:
接続されたゲーム機を判別し、「ALLM設定」、「コンテンツタイプ連動」、「RGBゲーム設定」を機器に合わせた設定に変更する
- オフ:
この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

自動で遅延時間を短縮する設定にする

- ALLM (Auto Low Latency Mode) 設定を切り換える事で、選択しているALLM対応入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- ※ 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

1 設定する外部入力を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

2 ▲・▼ で「ALLM設定」を選ぶ

3 **決定** を押して有効/無効を切り換える

- 有効:
入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- 無効:
この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

- HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※ 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

1 設定する外部入力を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

2 ▲・▼ で「コンテンツタイプ連動」を選ぶ

3 **決定** を押して有効/無効を切り換える

- 有効:
入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
- 無効:
この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

外部入力機能を設定する つづき

RGB入力時にゲームモードに切り換える

- HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

- 1 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - 2 ▲・▼で「RGBゲーム設定」を選ぶ
 - 3 **決定**を押して有効/無効を切り換える
 - 有効：

入力映像がRGB信号の場合に、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
 - 無効：

この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMIモードを変更する

- 高速信号モードは4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
- 通常モードは「高速信号モード」で映像や音声为正しく出力されないときに選びます。

- 1 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 ▲・▼で「HDMIモード設定」を選び、**決定**を押す
- 3 ▲・▼を押してモードを選び、**決定**を押す
 - 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

- 1 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - 2 ▲・▼で「RGBレンジ設定」を選び、**決定**を押す
 - 3 ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す
 - オート……………自動切替になります。
 - フルレンジ……………RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
 - リミテッドレンジ……………RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

Bluetooth機器を接続する

- 本機はBluetooth機能を搭載しており、Bluetooth対応デバイスと無線で接続する事ができます。

Bluetooth機器と接続(ペアリング)する

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「リモコンとアクセサリ」⇒「Bluetooth設定」の順に進む

2 ▲・▼で「アクセサリ追加」を選び、**決定** を押す

- あらかじめ接続するBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

3 画面の指示に従い、機器をペアリングする

- 接続するBluetooth機器の操作方法については、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。



- Bluetooth接続して本機で動作する場合がありますが、サポート対象外です。
一般的に「Android™ OS用」として販売されているBluetoothキーボード・マウス、その他Bluetooth機器について、動作保証はしておりません。
お買い求めになった製品のメーカーへお問い合わせください。
- A2DP対応のBluetoothオーディオ機器を接続した場合、Bluetoothの特性により音声が遅延するため、映像と音声にずれが発生します。
- Bluetoothオーディオ機器とテレビスピーカの両方から同時に音を出すことができません。

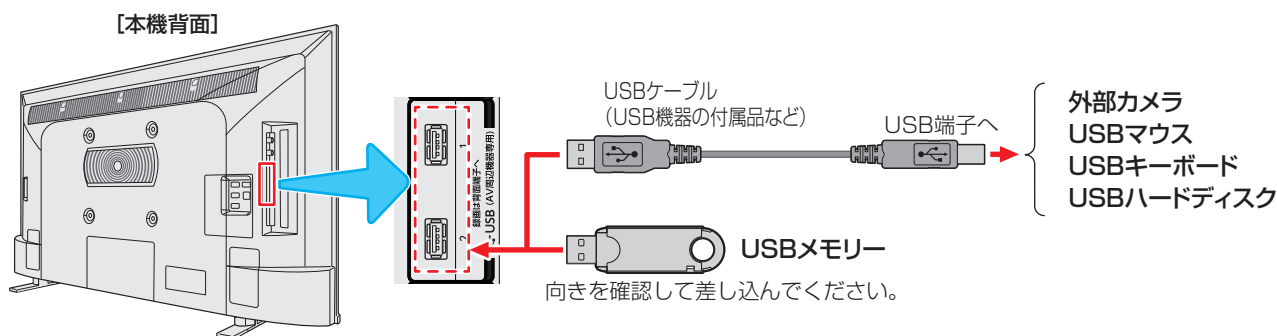
USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。[92] ~ [97]

※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。



- 以下のUSB機器は、図の位置のUSB端子(AV周辺機器専用)に接続してください。背面のUSB(通常録画)端子には接続しないでください。
- USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



記録メディアを接続したとき

- 放送番組や外部入力の見聴時にUSBメモリーなどの記録メディアを接続すると、メディアプレーヤーの起動確認画面が表示されます。

「メディアプレーヤー」を選んで **決定** を押すと、メディアプレーヤーが起動します。

- ※ USBメモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリーなどを挿入した場合には、メディアプレーヤーの起動確認画面が表示されない場合があります。
- メディアプレーヤーの操作方法については、「動画を再生する」～「写真を再生する」をご覧ください。



- USB接続して本機で動作する場合がありますが、サポート対象外です。一般的に「Android™ OS用」として販売されているUSBキーボード・マウス、その他USB機器について、動作保証はしておりません。お買い求めになった製品のメーカーへお問い合わせください。
- ファイルフォーマットがexFATであるUSB機器はご利用いただけません。
- USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

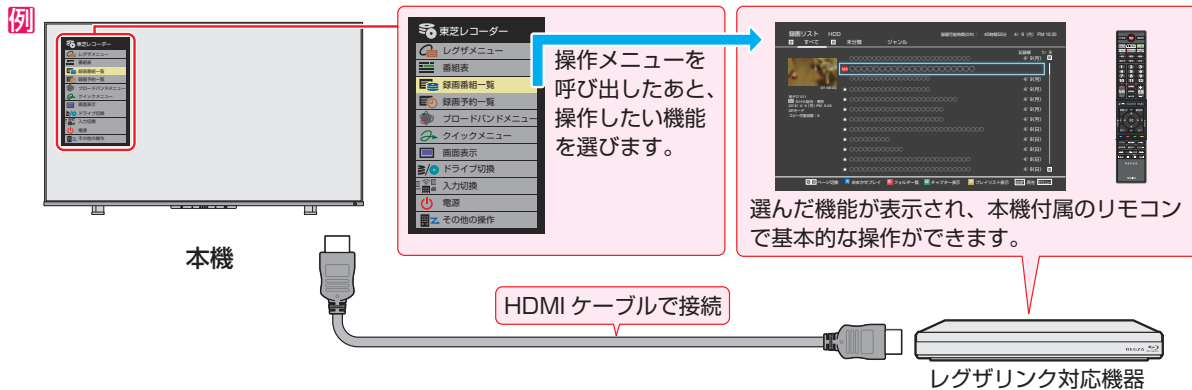
レグザリンクについて

レグザリンク機能でできること

- 本機は以下のレグザリンク機能(HDMI連動)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

- 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます。 **[87]**

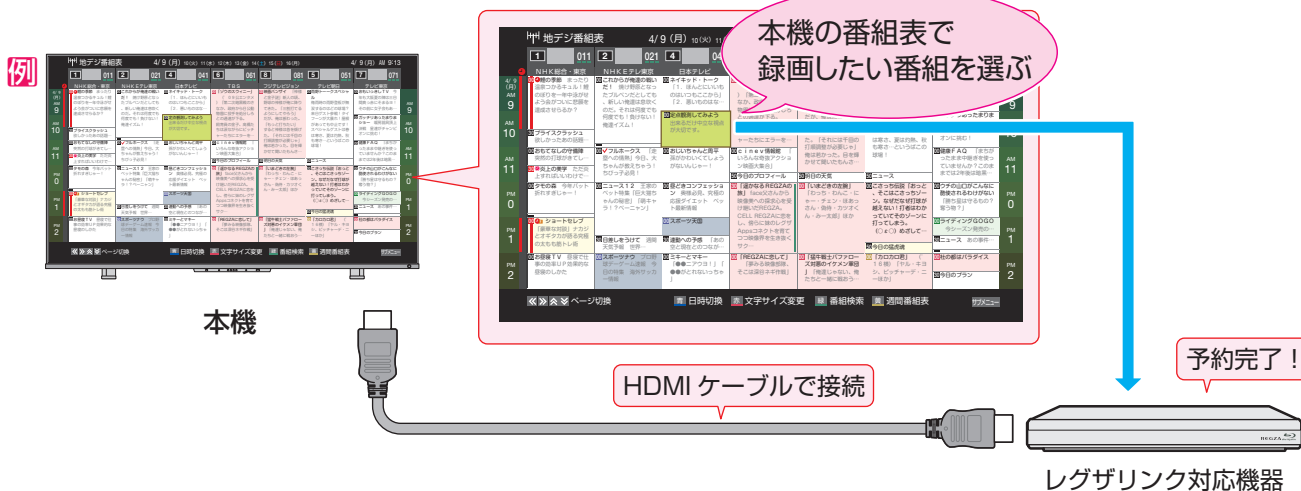


電源の入/切や入力切り換えの動作を連動させる

- ワンタッチプレイ …… レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
- システムスタンバイ …… 本機の電源を「待機」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

対応機器に録画・予約をする

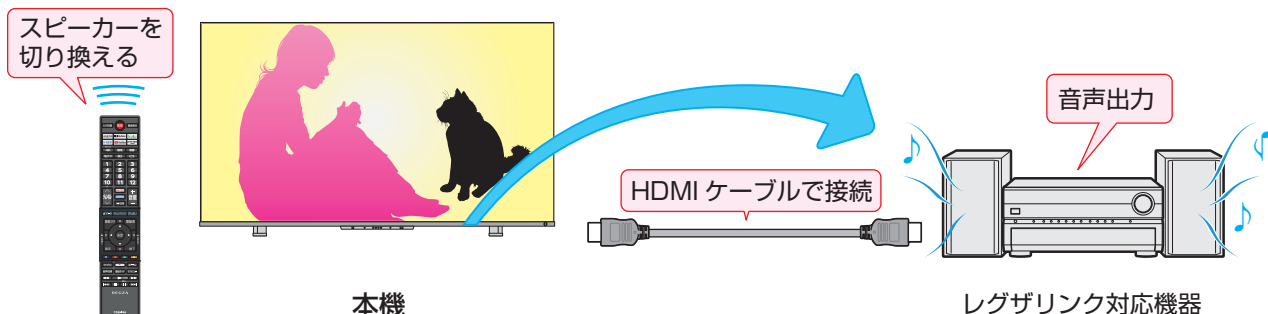
- 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます。 **[59]**



オーディオ機器と連携させる

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声が入力されるようにすることもできます。 **[91]**

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く



レグザリンクについて つづき

準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続:  オーディオの接続:  本機の設定: 	● レグザリンク(HDMI連動)機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。 ● レグザリンク対応の映像機器やオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のレグザリンク(HDMI連動)機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
 - 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダーなど当社推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
 - ・「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
 - 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
 - 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
 - HDMI連動機器に関する設定の変更をおこなった場合は、HDMIケーブルを一旦外してから、接続しなおしてください。
 - ・すべての接続機器の動作を確認してください。
- ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ないことがあります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。



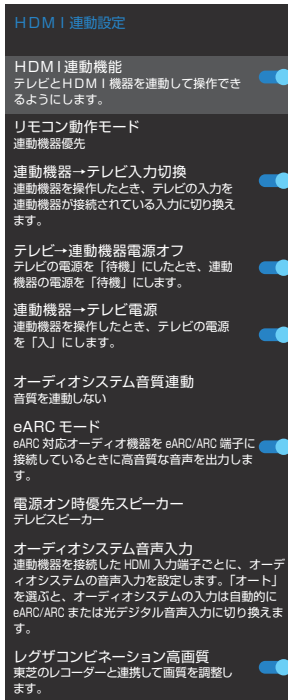
- レグザリンク対応機器については、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/>) でお知らせしています。
- ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。
- システムスタンバイについて
 - 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
 - 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「外部入力」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す



3 設定したい項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI 連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）。

※ 本機の「省エネ設定」**[45]**や「オフタイマー」**[47]**とも連動します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器を操作したときに本機の電源が「入」になります。
- ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。

オーディオシステム音質連動

- オーディオシステムでテレビ番組のジャンルに応じた音質に調整する機能の設定をします。
 - **音質を連動する**
オーディオシステムの音質調整を使用するときを選びます。
 - **音質を連動しない**
オーディオシステムの音質調整を使用しないときを選びます。

eARCモード

- eARC対応オーディオ機器をeARC/ARC端子に接続しているときに高音質な音声を出します。

電源オン時優先スピーカー

- 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。
 - **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声が出ます。
 - **オーディオシステム**
テレビの電源をオンしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。

[91]

- ※ サブメニューでスピーカーを切替えた場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

オーディオシステム音声入力

- 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。

例 HDMI 3入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力2」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、「HDMI 3」を選んで **決定** を押してから、「入力2固定」を選んで **決定** を押します。

レグザコンビネーション高画質

- 有効に設定すると、東芝のレコーダーと連携した高画質化機能が利用できます。
- ※ 映像が不自然に見えるときは、無効を選んでください。



- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が動かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器（レグザリンク対応レコーダーなど）：3台、再生機器（東芝のプレーヤー/PCなど）：3台までに制限されます。
- 「オーディオシステム音質連動」の対応機器については、ホームページ（<https://www.regza.com/regza/>）をご覧ください。

外部入力画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1～4、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」**[76]**～**[78]**をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換を押す

- **入力切換**を押すと「テレビ」が選択された状態で画面右側に入力一覧画面が表示されます。
- 「この入力を表示」**[79]**のチェックが外されている入力は表示されません。

3 入力切換を繰り返し押すか、▲・▼を押して入力を選ぶ

- **入力切換**を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 放送 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → ビデオ

- ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。

4 決定を押す

- 選択した入力の画面に切り換わります。

5 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」**[106]**を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方

1 サブメニューを押す

2 ▲・▼で「機器操作」を選び、決定を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、「本機のリモコンで対応機器を操作する」**[87]**をご覧ください。

本体ボタンで入力を切り換える

1 本体底面の本体ボタンをくり返し手前に動かし、入力切換に切り換える

- 画面左上に入力一覧画面が表示されます。

2 本体ボタンを左右に動かして入力を選ぶ

- 少し待つと選択した入力に切り換わります。



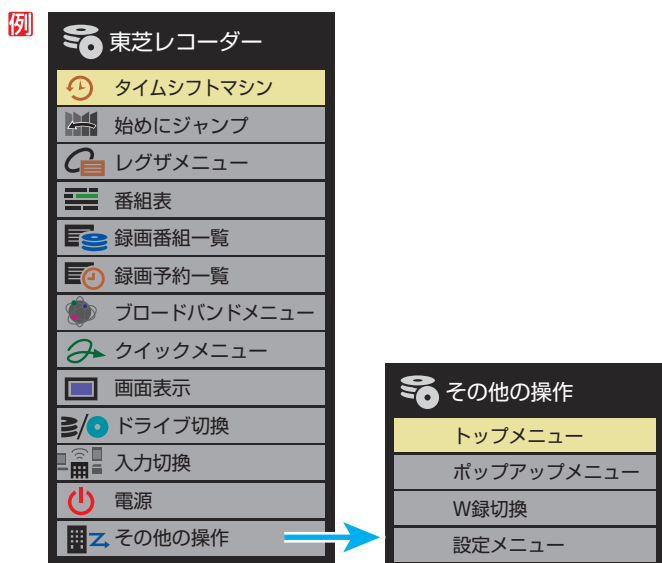
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名は、「外部入力」の各入力端子の名前を選んでください。

本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- **入力切替**の操作でレグザリンク(HDMI連動)対応機器が接続された入力(HDMI1～4)を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選べば、操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選べばサブメニューが表示されます。

① サブメニューを押し、▲・▼で「機器操作」を選んで **決定** を押す



- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤーなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、**89**をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます(機器操作メニューを再表示させるには、手順①の操作をします)。

タイムシフトマシン

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。

始めにジャンプ

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。

レグザメニュー(スタートメニュー)

- 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます(スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます)。

番組表

- 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧(見るナビ)

- 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます(「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます)。

録画予約一覧

- 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー

- 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー

- 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示

- 状態表示の表示/非表示を切り換えます。

ドライブ切替

- ハードディスクとブルーレイ(またはDVD)を切り換えます。

入力切替

- 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源

- **決定** で電源の「入」、「待機」ができます。

その他の操作メニュー

トップメニュー

- ディスク再生時に選べばディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー

- ディスク再生時に選べばディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切替

- W録選択を切り換えます。

タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
 - ・ タイムシフトマシン対応東芝レコーダー については、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

① サブメニューを押し、▲・▼で「タイムシフトマシン機器」を選んで **決定** を押す

- 機器の過去番組表が表示されます。

② ▲・▼・◀・▶で再生したい番組を選び、**決定** を押す

- 「番組指定再生」画面が表示されます。

③ ◀・▶で「見る」を選び、**決定** を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。

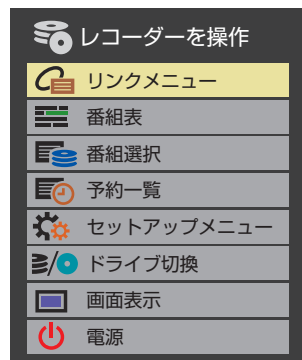
④ タイムシフトマシン再生を終了するには、**終了** を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、上記手順①～③をします。

本機のリモコンで対応機器を操作する つづき

HDMI-CEC対応の機器

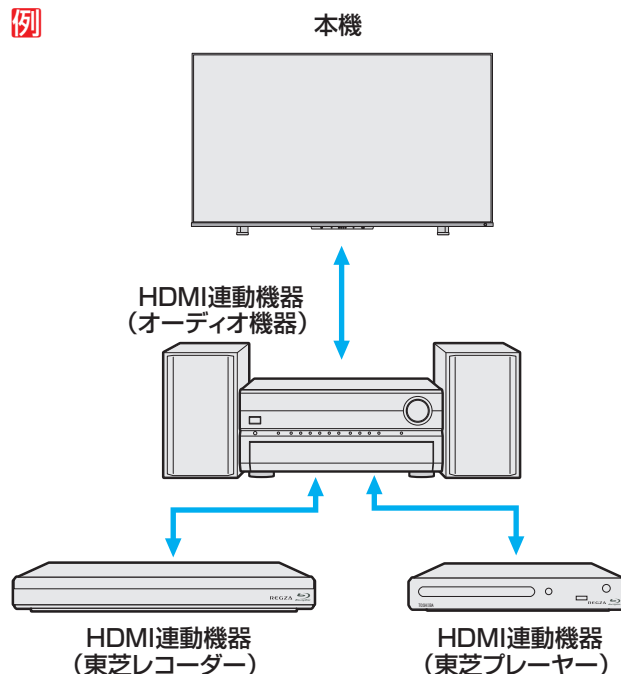
- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



HDMI連動機器に接続された機器

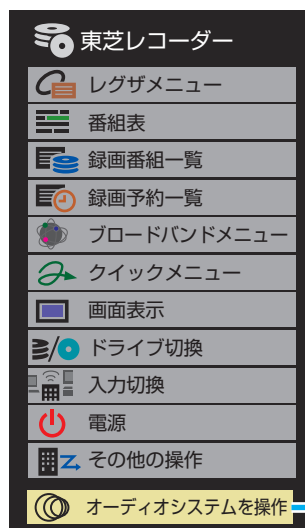
- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。

例



東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「オーディオシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。



- レグザリンク対応の東芝レコーダーやオーディオ機器については、ホームページ（<https://www.regza.com/regza/>）をご覧ください。

本機のリモコンでできるおもな操作

● HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。

※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	番組を再生します。
静止 	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
	再生中に押すと少し戻って再生します。
	メニューなどで項目を選択します。
	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
	一つ前の操作に戻ります。
	操作を終了します。
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能进行操作します。
赤	
緑	
黄	
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

レグザサウンドシステムで聴く

- 東芝のレグザサウンドシステムをHDMIケーブルで接続すると、レグザサウンドシステムで音声を聴くことができます。



- レグザサウンドシステムはHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。 **76**
- 光デジタルケーブルだけで接続した場合は、操作できません。
- 使用できる機能は機器によって異なります。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「スピーカー出力切換」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼でお好みのモードを選ぶ

- **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声を出力します。
- **オーディオシステム**
オーディオ機器から音声を出力します。
- ※ レグザサウンドシステムを使用する場合は、「オーディオシステム」を選んでください。
- レグザサウンドシステムの電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」 **85** を以下のように設定します。
 - HDMI連動機能……………有効

3 音量を調節する

- 本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

レグザサウンドシステムの音声を設定する

- 本機でレグザサウンドシステムの音声を設定するには、あらかじめ本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」 **85** を以下のように設定します。
 - HDMI連動機能……………有効
 - オーディオシステム音質連動……………音質を連動する

1 サブメニューを押し、▲・▼で「レグザサウンドシステム設定」を選んで **決定** を押す

- サウンドシステム設定メニューが表示されます。

2 ▲・▼で設定する項目を選び、 **決定** を押す

3 お好みの音声に調整する

サウンドモード

- 見る番組の種類に応じて、「オート」、「音楽」、「クリア音声」、「映画」からお好みのサウンドモードを選ぶことができます。
- 「オート」に設定すると、ジャンルに適した音声を聴くことができます。

イコライザー

- 音質を詳細に調整できます。設定のしかたは音声メニューの「イコライザー」 **113** と同様です。

低音強調

- 低音強調のレベルを「オフ」「弱」「強」から選びます。



- レグザサウンドシステム対応機器については、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。**[78]**
- ARCに対応していないオーディオ機器を使用する場合やHDMI入力2(eARC/ARC)端子以外に接続する場合は本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節できません。本機の音量を最小に調節し、オーディオ機器側で音量を調節してください。

1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼**で「スピーカー出力切換」を選んで **決定** を押す

2 **▲・▼**で「オーディオシステム」を選び、**決定** を押す

- 以下の場合に「オーディオシステム」が表示されます。
 - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている)。
 - 「HDMI連動設定」**[85]** が以下のように設定されている。
 - HDMI連動機能……………有効
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。

3 音量を調節する

- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。



- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/>) をご覧ください。
- オーディオシステム音質連動対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.regza.com/regza/>) をご覧ください。

動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」[82](#)、「ホームネットワーク機器の準備をする」[54](#)～[57](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、[140](#)をご覧ください。



- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

動画再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲・▼で「メディアプレーヤー」を選んで **決定** を押し、手順4から操作します。

動画/音楽/写真を切り換える

- ▲・▼・◀・▶で「フィルター」のファイル形式を選んで **決定** を押し、動画/音楽/写真/それらすべてのファイルに切り換えることができます。

1 アプリ を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀・▶で「動画」を選び、**決定** を押す

3 再生機器を▲・▼で選び、**決定** を押す

4 ▲・▼・◀・▶と **決定** で再生する動画を選ぶ

- フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

- ▲・▼・◀・▶で「並び替え順」の方法を選んで **決定** を押し、ファイルを並び替えることができます。
- ▲・▼で並び替える方法を選択して、**決定** を押して並び替えます。

プレイリストを作成する

- サブメニュー を押し、▲・▼で「プレイリストを作成する」を選んで **決定** を押し、接続している機器の動画をまとめたリストが生成され、フォルダと同じように表示されます。

表示の形式を切り換える

- サブメニュー を押し、▲・▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで **決定** を押し、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

- 「検索」を選んで **決定** を押し、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

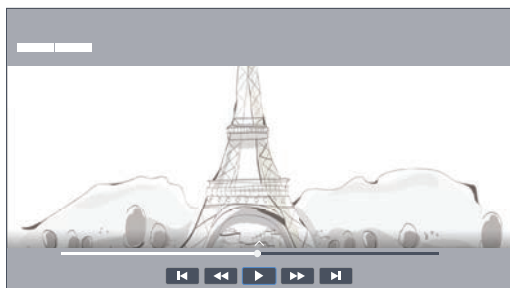


- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順4で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。

動画を再生する つづき

動画再生時にできるリモコン操作

- 動画の再生中に▲・▼・◀・▶を押すと再生コントロール画面が表示されます。▲・▼・◀・▶でカーソルを移動し、決定を押すと動画を操作できます。



アイコン	内容
	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。
	次の動画の先頭にスキップして再生します。
	一つ前の動画の先頭にスキップして再生します。

- 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀・▶で再生位置を選んで決定を押すと選択した再生位置にジャンプします。

動画の音声を切り換える

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「音声言語」を選んで決定を押す
- 2 ▲・▼で言語の設定を選び、決定を押す

動画の字幕を切り換える

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「字幕」を選んで決定を押す
- 2 ▲・▼で設定を選び、決定を押す

動画の画面サイズを切り換える

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「ズーム」を選んで決定を押す
- 2 ▲・▼で「元のサイズ」、「フィット」または「フル」から選び、決定を押す

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「リピートモード」を選んで決定を押す
- 2 ▲・▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ リピート……………フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します。
 - ・ 一回……………繰り返し再生をしません。
 - ・ 1コンテンツリピート…再生中の動画の再生を繰り返します。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「時間選択プレイ」を選んで決定を押す
 - 画面上に時間選択画面が表示されます。
- 2 ▲・▼・◀・▶と決定で時間を指定する
- 3 「再生」を選んで決定を押す
 - 指定した時間から再生が始まります。

動画ファイルの情報を見る

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「情報」を選んで決定を押す
 - 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「プレイリスト」を選んで決定を押す
 - 動画ファイルのプレイリストが表示されます。

画面を非表示にする

- 1 動画再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「消画」を選んで決定を押す
 - 画面が消えても、音声は再生されたままになります。



● 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。

音楽を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている音楽を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」[82](#)、「ホームネットワーク機器の準備をする」[54](#)～[57](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる音楽のフォーマットについては、[140](#)をご覧ください。



- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

音楽再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲・▼で「メディアプレーヤー」を選んで **決定** を押し、手順4から操作します。

1 **アプリ** を押し、▲・▼・◀・▶ と **決定** で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀・▶ で「音楽」を選び、**決定** を押し

3 再生機器を▲・▼で選び、**決定** を押し

4 ▲・▼・◀・▶ と **決定** で再生する音楽ファイルを選ぶ

- フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

- ▲・▼・◀・▶ で「並び替え順」の方法を選んで **決定** を押し、ファイルを並び替えることができます。
- ▲・▼で並び替える方法を選択して、**決定** を押して並び替えます。

プレイリストを作成する

- **サブメニュー** を押し、▲・▼で「プレイリストを作成する」を選んで **決定** を押しと接続している機器の音楽をまとめたリストが生成され、フォルダと同じように表示されます。

表示の形式を切り換える

- **サブメニュー** を押し、▲・▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで **決定** を押しと、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

- 「検索」を選んで **決定** を押しと、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

動画/音楽/写真を切り換える

- ▲・▼・◀・▶ で「フィルター」のファイル形式を選んで **決定** を押しと、動画/音楽/写真/それらすべてのファイルに切り換えることができます。

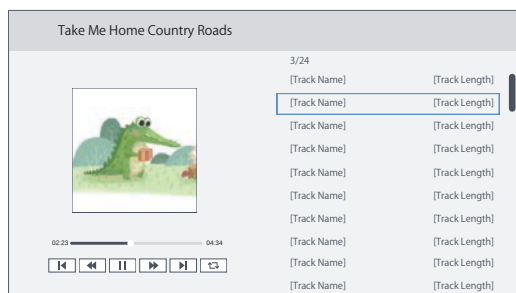


- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順4で選択した音楽ファイルを先頭にリスト内の音楽ファイルの連続再生になります。

音楽を再生する つづき

音楽再生時にできるリモコン操作

- 音楽再生中には再生コントロール画面と曲名リストが表示されます。▲・▼・◀・▶でカーソルを移動し、決定を押すと音楽ファイル进行操作できます。



アイコン	内容
	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。
	次の曲の先頭にスキップして再生します。
	一つ前の曲の先頭にスキップして再生します。
	くり返し再生の設定を変更します。押すごとに、くり返しなし→現在の曲を繰り返し再生→シャッフル再生→フォルダ内の曲を繰り返し再生→…の順で設定が切り換わります。

- 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀・▶で再生位置を選んで決定を押すと選択した再生位置にジャンプします。

歌詞を表示する

- 1 再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「歌詞表示」を選んで決定を押す

- 決定を押すごとに歌詞表示のオン/オフが切り換わります。

歌詞のデコードを変更する

- 1 再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「歌詞デコード」を選んで決定を押す

- 決定を押すごとに歌詞デコードのオン/オフが切り換わります。

音楽ファイルの情報を見る

- 1 再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「情報」を選んで決定を押す

- 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

- 1 再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「プレイリスト」を選んで決定を押す

- 音楽ファイルのプレイリストが表示されます。

画面を非表示にする

- 1 再生中にサブメニューを押し、▲・▼で「消画」を選んで決定を押す

- 画面が消えても、音声は再生されたままになります。



- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。

写真を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」[82](#)、「ホームネットワーク機器の準備をする」[54](#)～[57](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては[140](#)をご覧ください。



- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

写真再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲・▼で「メディアプレーヤー」を選んで **決定** を押し、手順4から操作します。

1 **アプリ** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀・▶で「写真」を選び、**決定** を押す

3 再生機器を▲・▼で選び、**決定** を押す

4 ▲・▼・◀・▶と **決定** で再生する写真を選ぶ

- フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

- ▲・▼・◀・▶で「並び替え順」の方法を選んで **決定** を押すと、ファイルを並び替えることができます。
- ▲・▼で並び替える方法を選択して、**決定** を押して並び替えます。

プレイリストを作成する

- **サブメニュー** を押し、▲・▼で「プレイリストを作成する」を選んで **決定** を押すと接続している機器の写真をまとめたリストが生成され、フォルダと同じように表示されます。

表示の形式を切り換える

- **サブメニュー** を押し、▲・▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで **決定** を押すと、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

- 「検索」を選んで **決定** を押すと、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

動画/音楽/写真を切り換える

- ▲・▼・◀・▶で「フィルター」のファイル形式を選んで **決定** を押すと、動画/音楽/写真/それらすべてのファイルに切り換えることができます。

5 以下の操作で写真を見る

- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。

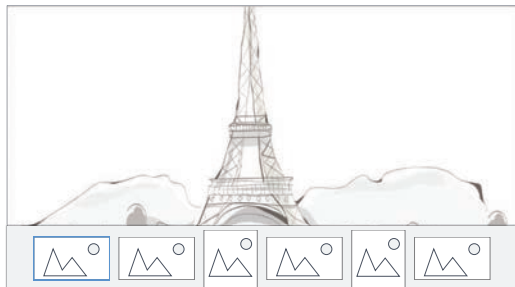


- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。

写真を再生する つづき

サムネイル画面表示中の操作

- 写真再生中に **決定** を押すと、サムネイル画面が表示されます。



- サムネイル画面の表示中は、スライドショーは一時停止します。
- サムネイル画面を表示中に **左右** でカーソルを移動し、**決定** を押すと選んだ写真を表示します。
- しばらく操作をしないでいると、サムネイル画面が消えます。

自動的に順番に再生する(スライドショー)

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「スライドショー再生」を選んで **決定** を押す

スライドショーの設定を変更する

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「スライドショー設定」を選んで **決定** を押す

- 2 **▲・▼** と **決定** で設定を変更する

- 写真が切り換わるときのアニメーション、表示時間、くり返し再生の設定をそれぞれ変更できます。

写真を回転する

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「回転」を選んで **決定** を押す

- 画面に回転操作のアイコンが表示されます。

- 2 **左右** で回転方向を選んで **決定** を押す

- **決定** を押すたびに、写真が90° 回転します。

写真の表示サイズを切り換える

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「ズーム」を選んで **決定** を押す

- 2 **▲・▼** で「フィット」、「元のサイズ」、または倍率を選び、**決定** を押す

- 拡大表示中は、**▲・▼・左右** で表示範囲を移動できます。**戻る** を押すと、元の表示に戻ります。

写真ファイルの情報を見る

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「情報」を選んで **決定** を押す

- 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

- 1 写真表示中に **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「プレイリスト」を選んで **決定** を押す

- 写真ファイルのプレイリストが表示されます。

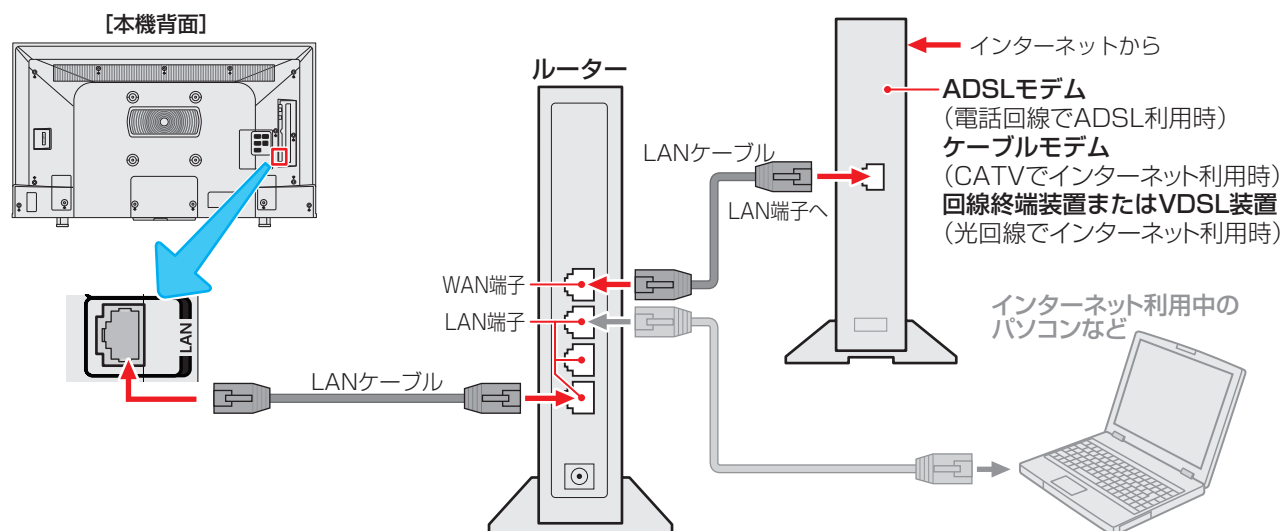
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて次ページの「ネットワーク設定」をしてください。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内 容	記載ページ
ネットワークサービス	● 動画配信サービスやクラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます。	103
データ放送の 双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。	43
ソフトウェアの更新	● サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます。	131

接続のしかた(有線LANの場合)



- ご注意**
- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- お願い**
- LANケーブルは、カテゴリ5 (CAT5) と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ・ビデオサービスや動画配信サービスなどを利用する場合、カテゴリ3 と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
 - 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
 - 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
 - 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・ ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・ 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
 - ・ プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・ 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
 - ・ モデムについてご不明な点など。

- お知らせ**
- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
 - 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
 - この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
 - ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 設定 を押し、▲・▼で「ネットワークとインターネット」を選び、決定 を押す

2 以降の手順で設定する

LANの設定をする

- はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

- 1 本機とルーターをLANケーブルで接続する
 - 有線LANの接続については、**98** をご覧ください。
- 2 接続テストをする場合は▲・▼で「接続テスト」を選んで、決定 を押す
 - 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」**100** をご覧ください。
 - 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。
- 3 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す
 - 有線LANの設定は終了です。
 - 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」、「IP設定」を行ってください。

無線LANの設定をする

- 有線LANでインターネットに接続しているときは、無線LANでの接続はできません。
- 1 「Wi-Fi」が有効になっているのを確認する
 - 無効の場合は決定 を押して有効にしてください。
 - 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出します。
 - 2 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、決定 を押す
 - 接続先が表示されていない場合は、「すべて表示」を選んでください。
 - 3 2で選択した無線LANアクセスポイントのパスワードを入力する
 - 4 接続テストをする場合は▲・▼で「接続テスト」を選んで、決定 を押す
 - 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」**100** をご覧ください。

- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。

5 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す

- 無線LANの設定は終了です。
- 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」、「IP設定」を行ってください。

無線LANから有線LANに切り換えるときは

- 無線LAN接続を使用中に、有線LAN接続に切り換えるときは、本機をWi-Fiネットワークから切断してください。「Wi-Fi」を選んで決定 を押すと、Wi-Fiは無効になります。

プロキシ設定

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
 - ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
 - ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
- 1 ▲・▼で「手動」を選び、決定 を押す
 - プロバイダーからの指定に従い、サーバー名やポート番号を設定してください。

IP設定

- 本機に割り当てられる固有の番号を設定します。
 - ※ 「IPアドレス」を「DHCP」に設定した場合は、IPアドレスは自動的に設定されます。
 - ※ 「IPアドレス」を自分で設定する場合は「静的」を選択して、画面の指示に従って設定してください。
- 1 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「DHCP」を選び、決定 を押す

ネットワーク情報

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「詳細設定」⇨「ヘルプ」の順に進む

2 ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、決定 を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

インターネットを利用するための設定をする つづき

接続テスト

1 **設定** を押し、▲・▼で「ネットワークとインターネット」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「接続テスト」を選び、**決定** を押す

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると接続テスト結果画面が表示されます。「インターネットに接続できました」と表示された場合は、「設定完了」を選んで **決定** を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで **決定** を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「ネットワークとインターネット」から設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。
 - ② ネットワーク環境の接続確認
 - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザを起動する
 - ② URL欄に「<https://www.regza.com/regza/>」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。
- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合
 - 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
 - ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。
上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。



- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合は、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。



- 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
- 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断される場合があります。
- すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンでを使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

クラウドサービスの情報を初期化する

- クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報などを削除します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワークとインターネット」⇒「クラウドサービス関連情報の初期化」の順に進む

2 ▲・▼で「はい」を選び、**決定** を押す

- クラウドサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

インターネットを利用するための設定をする つづき

ネットワークに関するお知らせ・用語



■ アドレス情報(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、「IP設定」を「DHCP」、「静的」のどちらでも設定できます(通常は、「DHCP」に設定します。「静的」の方法は「99」をご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「静的」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 「静的」を選択して手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス情報(IPv4)のDNSアドレスについて

- DNSアドレスを指定して設定するには、「IP設定」で「静的」を選択して、DNSアドレスを含め、ネットワークの設定項目の全てについて画面の指示に従って設定してください。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。



■ アドレス(IPv4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(IPv6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例: 1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(www.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MACアドレス

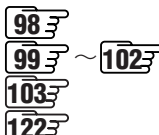
ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。ネットワークを使って、録画した番組やこれから放送される番組から、見たい番組やおすすめの番組を検索できます。また、タレントや好みのテーマに関する番組をおまかせ録画できます。録画した番組は、シーン情報を使って見たいシーンだけを楽しむこともできます。
- ※ サービスの概要などについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定	記載ページ
● インターネットを利用するための接続をする。 ● インターネットを利用するための設定をする。 ● 「レグザプライバシーポリシー」を「同意する」に設定する。 ● インターネットの利用制限を設定する。	

レグザプライバシー設定を変更する

- クラウドサービスやネットワークサービスを使用するには、レグザプライバシーポリシーに同意する必要があります。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「端末情報」⇒「法的情報」⇒「レグザプライバシー設定」の順に進む

2 ▲・▼で「同意する」を選び、**決定** を押す

お知らせ

■レグザプライバシー設定について

- レグザプライバシーポリシーを「同意する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切替、入力切替、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力が必要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。当社は、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、一切の責任を負いません。
- レグザプライバシーポリシーを「同意しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

お知らせ

- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切の責任を負いません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
- **レグザナビ**などのボタンを押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、**終了**を2秒以上押してから、**レグザナビ**を押します。

終了を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読み込みが行われ、**レグザナビ**を押すと再読み込み後の画面が表示されます。

レグザナビを使う

レグザナビについて

- レグザナビを使うと、録画した番組や放送予定の番組などから人気の番組やおすすめの番組を表示し、視聴や予約をすることができます。
- レグザナビを使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 レグザナビを押す

- レグザナビ画面が表示されます。

レグザナビ画面の見かた

検索

- 番組検索画面を表示します。
- 検索の方法は、「見たい録画番組を探して再生する」の手順2と同様です。

メッセージ

- メッセージの一覧を表示します。

レグザナビ設定

- レグザナビの設定画面を表示します。

コンテンツ

- カテゴリーに沿ったコンテンツが表示されます。

アプリ・設定

- 録画リスト/番組ガイドなど、レグザの各機能呼び出すアイコンが表示されます。

カテゴリーを編集する

- コンテンツ一覧のカテゴリーを追加することができます。

カテゴリーを追加/削除する

- 1 ▲・▼で「カテゴリー設定」を選び、決定を押す

- カテゴリー設定画面が表示されます。

- 2 ▲・▼でカテゴリーを選び、決定を押す

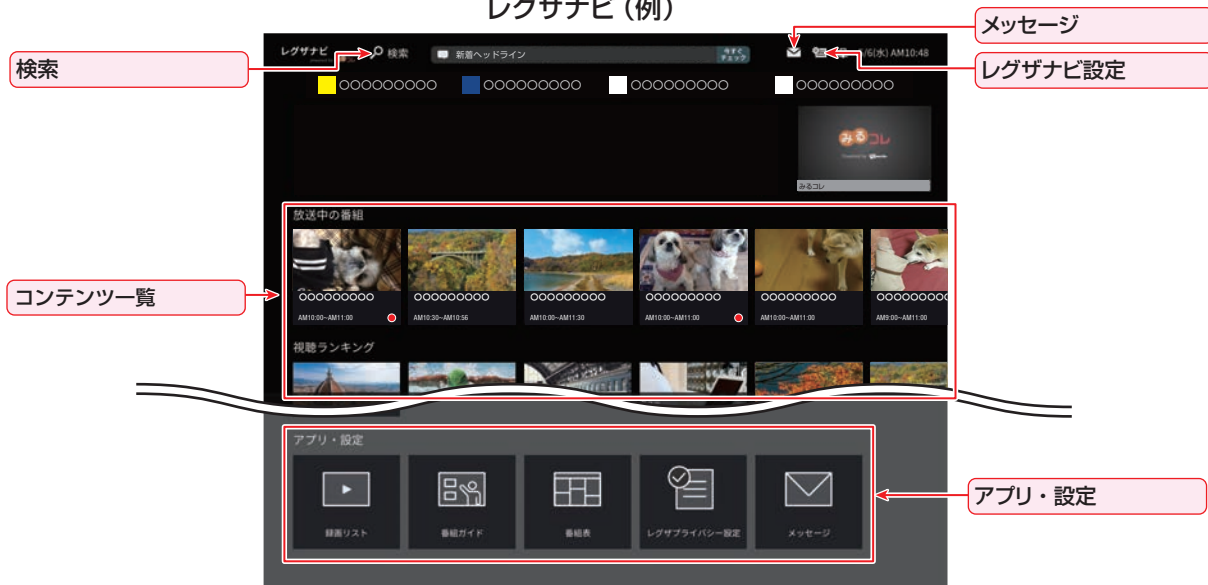
- 決定を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。チェックの入ったカテゴリーがレグザナビの画面で表示されます。

- 3 戻るで終了する

2 ▲・▼・◀・▶で項目を選び、決定を押す

- 未来番組を選んだ場合、番組詳細画面が表示されます。
- 録画番組を選ぶと、レグザナビを終了して選択したコンテンツの再生に切り換わります。

レグザナビ (例)



動画配信サービスを楽しむ

- さまざまな動画配信サービスを楽しむことができます。
- ※ お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。
- ※ サービスによっては、BS/C S 4K放送を録画中は、視聴できない場合があります。

動画配信サービスの利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。

動画配信サービスを見る



- 動画配信サービスの画面に切り換わります。
 - ※ **ホーム** や **アプリ** を押して表示される画面から選択して起動することもできます。
- おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。
- 「すべての初期化」を実行すると、ログイン設定も削除されます。

サービス起動中の制限

- 画面サイズの切替はできません。

サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、動画配信サービスを終了して予約したチャンネルが選局されます。

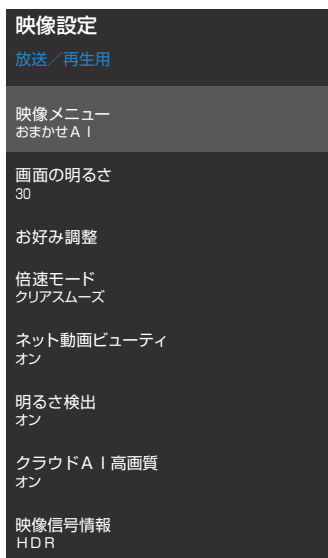
お知らせ

- 「レグザナビ画面」からも、一部のネット動画を視聴できます。
- 動画配信サービスの中には、「放送視聴制限設定」の設定に従って、視聴制限を行うサービスがあります。
- **My.Choice** の機能はソフトウェアのバージョンアップで追加を予定しています。

お好みの映像メニューを選ぶ

- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生や各入力端子など、テレビ画面に表示される映像、信号特性にあわせた画質を「放送/再生用」「HDMI1用」～「HDMI4用」「ビデオ用」「Androidアプリ用」として、それぞれ記憶させることができます。

1 「設定」を押し、▲・▼と決定で「映像設定」 ⇒「映像メニュー」の順に進む



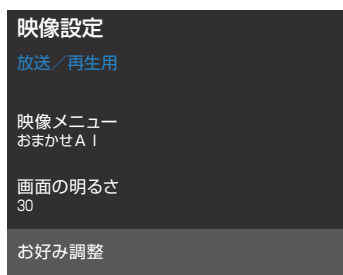
2 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、決定を押す

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー	内 容
おまかせA / おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます（「Androidアプリ用」画質で動作中は「おまかせ」になります）。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です（日常、ご家庭で使用する際の推奨設定です）。
放送プロ	テレビ番組やライブ映像を見るのに適しています（「Androidアプリ用」画質以外の場合に選択できます）。
映画プロ/映画	映画を見るときに適した設定です（暖か味のある色合いが再現されます）。（「Androidアプリ用」画質で動作中は「映画」になります。）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です（HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます）。
モニター	パソコンの画面を表示するのに適した設定です（HDMI入力のときに選択できます）。
Dolby Vision IQ、Dolby Vision Dark	Dolby Visionに対応した高画質な映像を見るときに適した設定です（HDMI入力、ネットサービスのときに選択できます）。

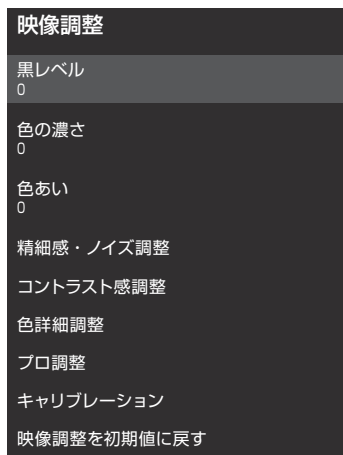
お好みの映像に調整する

1 「設定」を押し、▲・▼と決定で「映像設定」 ⇒「お好み調整」の順に進む



- 「映像メニュー」が「おまかせA |」、「おまかせ」以外のときは、「映像調整」に進みます。

2 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す



- ※ 映像メニューが「おまかせA |」、「おまかせ」以外のときは、「お好み調整を初期値に戻す」は「映像調整を初期値に戻す」になります。

3 以降の手順(1117まで)でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します（「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲・▼を押せば調整項目を切り換えることができます）。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶されます。調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、「放送/再生用」画質の「おまかせA |」と「HDMI1用」画質の「おまかせA |」は、異なる調整をして記憶させることができます。

お好みの映像に調整する つづき

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

- ① ◀▶で好みの明るさに調整し、決定を押す
 - 「-50」(暗)~「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

- ① ◀▶で好みの濃さに調整し、決定を押す
 - 「-50」(淡)~「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。

- ① ◀▶で好みの色あいに調整し、決定を押す
 - 「-50」(紫)~「+50」(緑)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

- ① 調整する項目を▲▼で選び、決定を押す
 - 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

精細感・ノイズ調整

シャープネス
0

レゾリューションプラス設定

MPEG NR
オート

ダイナミックNR
オート

- ② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

- ① ◀▶で好みの映像に調整し、決定を押す
 - 「-50」~「+50」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。
- ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。
- ※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

- ① ▲▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

- ② ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - オン …… 映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
 - オフ …… この機能は動きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

- ① ▲▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

- ② ◀▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整レベル	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせA I	-5 ~ +5	
おまかせA I 以外	0 ~ 10	

MPEG (エムペグ) NR

- デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

- ※ 「映像メニュー」が「ゲーム」「モニター」以外のときに設定できます。

- ① ▲▼で以下から選び、決定を押す

「Androidアプリ用」画質以外のとき

- オート …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動 …… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

- ① ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

「Androidアプリ用」画質で動作中

- 強、中、弱、オフ

ダイナミックNR

- 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

- ※ 「映像メニュー」が「ゲーム」「モニター」以外のときに設定できます。

- ① ▲▼で以下から選び、決定を押す

「Androidアプリ用」画質以外のとき

- オート …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動 …… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

- ① ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

- ※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

「Androidアプリ用」画質で動作中

- 強、中、弱、オフ

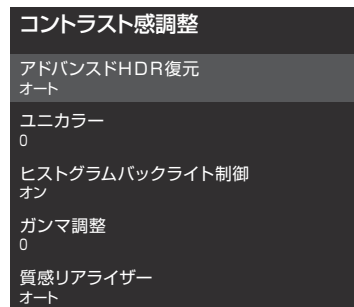
お好みの映像に調整する つづき

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して **決定** を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

アドバンスドHDR (ハイダイナミックレンジ) 復元

- 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

※ 映像信号によっては、選択できない場合があります。

① ▲・▼でお好みの映像に調整し、**決定**を押す

- オート
映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- モード1
明るさの領域を復元し、表現領域を拡大します。
- モード2
スーパーホワイト領域以外の明るさの表現領域を拡大します。

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

① ◀・▶でお好みの映像に調整し、**決定**を押す

- 「-50」～「+50」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

ヒストグラムバックライト制御

- 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オン……………ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
- オフ……………この機能は働きません。

ガンマ調整

- 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀・▶で調整し、**決定**を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
-10 ~ +10	

質感リアライザー

- 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

「Androidアプリ用」画質で動作中

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- 強、中、弱、オフ

「映像メニュー」が「おまかせAI」のとき

① ◀・▶で調整し、**決定**を押す

- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほどメリハリが強調されます)。
- 「詳細質感リアライザー」を選んで **決定** を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。

詳細質感リアライザー

① ▲・▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、**決定**を押す

② ◀・▶で調整し、**決定**を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	-5 ~ +5	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせAI」以外のとき

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オート……………映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- 手動……………手動で調整します。
- オフ……………この機能は働きません。

「手動」にしたとき

① ▲・▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、**決定**を押す

② ◀・▶で調整し、**決定**を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0 ~ 10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「手動」にしたとき

- ① ▲・▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

- ② ◀・▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0 ~ 10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

色詳細調整

- 「色詳細調整」を選択して決定を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

- ① 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

- ② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせA1」のとき

- ① ◀・▶で調整し、決定を押す

- 「-5」 ~ 「+5」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

「映像メニュー」が「おまかせA1」以外のとき

- ① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート……映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- D50
- D65
- 低
- 中
- 高

RGBゲイン

- 明るい部分の色温度を微調整します。

- ① ▲・▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀・▶で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

カラーイメージコントロール

- 映像の色調を調整することができます。

- ① ▲・▼で「色設定」を選び、決定を押す

- ② ▲・▼で調整したい色を選び、決定を押す

- 「レッド」、「グリーン」、「ブルー」、「イエロー」、「シアン」、「マゼンタ」、「フレッシュトーン」から選択できます。

- ③ ▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」または「明るさ」を選び、決定を押す

- ④ ◀・▶で調整する

- -10 ~ +10の範囲で調整できます。

プロ調整

- 「プロ調整」を選択して決定を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

EOTFモード

- 入力映像のEOTF (Electro-Optical Transfer Function) を自動的に判別するほかにマニュアルで設定することができます。

- ① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート……入力映像信号から自動的に入力映像のEOTFを判別します。
- SDR……EOTFをSDR (Standard Dynamic Range) に設定します。
- ST 2084……EOTFをST 2084に設定します。
- HLG……HLG (Hybrid Log-gamma) ITU-R BT 2100 HLGの規約に準じた画質設定になります。

色空間モード

- 入力映像の色空間を設定します。

- ① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート……入力映像信号から自動的に入力映像の色空間を判別します。
- BT.709……色空間をITU-R BT.709に設定します。
- BT.2020……色空間をITU-R BT.2020に設定します。

ワイドビューアングル

- 広い範囲で見る場合に見やすい階調設定にします。

- ① 決定を押して有効/無効を切り換える

- 決定を押すごとに有効と無効が切り換わります。

お好みの映像に調整する つづき

キャリブレーション

- 「キャリブレーション」を選択して **決定** を押すと、キャリブレーションのメニューが表示されます。

① 調整する項目を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

ホワイトバランス

- 白い部分の色を調整します。

① **▲・▼** で「ホワイトバランス」を選び、**決定** を押す

② **▲・▼** で「2ポイント」または「20ポイント」を選び、**決定** を押す

③ **▲・▼** で調整したい項目を選び、**決定** を押す

④ **◀▶** で調整する

「2ポイント」を選択している場合

- 以下の項目を、それぞれ -25 ~ +25 の範囲で調整できます。

- Rオフセット
- Gオフセット
- Bオフセット
- Rゲイン
- Gゲイン
- Bゲイン

「20ポイント」を選択している場合

- 以下の項目を、調整できます。
- 「レベル」は +5 ~ +100、その他の項目は -25 ~ +25 の範囲で調整できます。

- レベル
- レッド
- グリーン
- ブルー

- **▲・▼** で、調整する項目を切り換えられます。

ガンマ

① **▲・▼** で「ガンマ」を選び、**決定** を押す

② **▲・▼** で「入力レベル」または「ゲイン」を選び、**決定** を押す

③ **◀▶** で調整する

- 「入力レベル」は 5% ~ 100%、「ゲイン」は -25 ~ +25 の範囲で調整できます。

- **▲・▼** で、調整する項目を切り換えられます。

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「バックライト」、「画面の明るさ」、「明るさ詳細設定」、「なめらか調整」、「ネット動画ビューティ」、「クラウドA I 高画質」、「明るさ検出」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

バックライト

- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

① **◀▶** でお好みの明るさに調整し、**決定** を押す

- 「0」~「100」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

画面の明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」を設定していないときに表示されます。

- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

① **◀▶** でお好みの明るさに調整し、**決定** を押す

- 「-15」~「+15」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

- **青** を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

明るさ詳細設定

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。

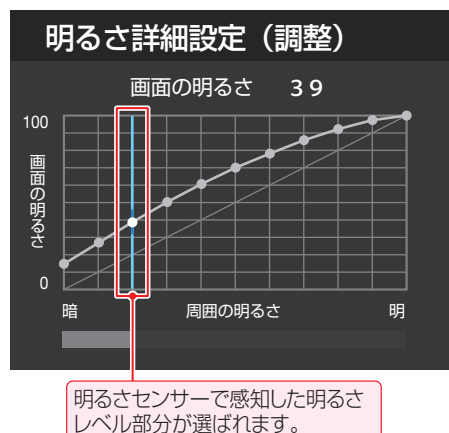
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

① 「調整」を選んで **決定** を押す

- 「基本設定」を選んで **決定** を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。

② 明るさを変えたいレベルを **◀▶** で選び、**▲・▼** で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。



③ 調整が終わったら、**決定** を押す

④ 「設定完了」を選び、**決定** を押す

- 「調整前に戻す」を選ぶと、調整前のレベルに戻ります。
- 「初期値に戻す」を選ぶと、お買い上げ時の調整に戻ります。

なめらか調整

- 映画やアニメなどコマ数が少ない映像に対し、なめらかな動きで映像を表示する機能です。

※ 映像メニューが「ゲーム」、「モニター」のときは、設定できません。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- クリアスムーズ …… 映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- スムーズ …… 映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- オフ …… 補間映像の挿入は行わず、元の入力映像をそのまま表示します。

ネット動画ビューティ

- ネット動画の映像に高画質処理をします。低階調な映像ではコントラストと精細感がアップします。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オン …… この機能が働きます。
- オフ …… この機能は働きません。

クラウドA1高画質

- おまかせA1モード時に、コンテンツに合わせた最適な映像設定に移行する機能です。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オン …… この機能が働きます。
- オフ …… この機能は働きません。

明るさ検出

- 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※ 「映像メニュー」が「おまかせA1」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オン …… 明るさ検出機能が働きます。
- オフ …… この機能は働きません。

映像信号情報

- 映像信号が「HLG」、「HDR10」、「HDR10+」、「Dolby Vision」、「Dolby VisionIQ」の場合、映像の種類が表示されます。

※ 「Dolby VisionIQ」の場合、映像信号情報には「Dolby Vision」と表示されます。

お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す

- 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」⇨「お好み調整を初期値に戻す」の順に進む

- 「映像メニュー」が「おまかせA1」以外のときは、「映像調整」⇨「映像調整を初期値に戻す」に進みます。

2 ▲・▼で「はい」を選び、決定を押す

テレビの電源ランプを消灯する

- テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。

※ テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」(お買い上げ時の設定)で使用することをおすすめします。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「電源LED表示設定」に進む

2 ▲・▼を押して「消灯」を選び、決定を押す

- 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。



■「画面の明るさ」と明るさセンサーについて

- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は16ページをご覧ください。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生や各入力端子など、テレビのスピーカーから出力される音声を「放送/再生用」「HDMI1用」～「HDMI 4用」「ビデオ用」「Androidアプリ用」として、それぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「音声メニュー」は「ー」と表示され、操作できません。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む



2 お好みの音声メニューを▲・▼で選ぶ

音声メニュー	内 容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

- 外部入力を選んでいるときは、「おまかせ」を選択できません。

お好みの音声に調整する

1 設定 を押し、▲・▼で「音声設定」を選んで決定 を押す

2 ▲・▼で調整したい項目を選んで決定 を押す

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶されます。調整・設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、「放送/再生用」音質の「ダイナミック」と「HDMI1用」音質の「ダイナミック」は、異なる調整をして記憶させることができます。

Dolby Atmos

- 上方向に広がりを持たせ、立体的な音にします。
- ① 決定 を押して有効/無効を切り換える
 - 有効……………Dolby Atmos信号に対応したコンテンツで、縦方向への広がりが出ます。
 - 無効……………この機能は動きません。

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「サラウンド」は「ー」と表示され、操作できません。
- クリア音声選択時は、「サラウンド」は「ー」と表示され操作できません。
- ※ 音声多重放送の視聴時に、「主」または「副」[44] を選んでいる場合は、効果が得られません。

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- ① ▲・▼でお好みの設定を選び、決定 を押す
 - おまかせ……………ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
 - オフ……………この機能は動きません。

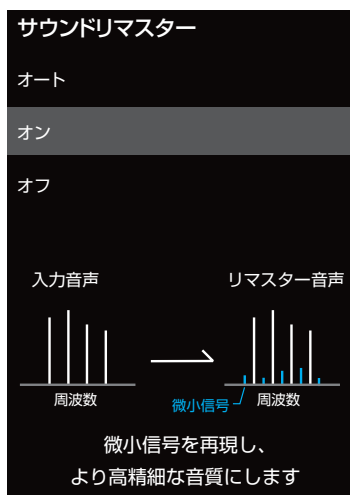
「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- ① ▲・▼でお好みの設定を選び、決定 を押す
 - ライブ……………ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
 - シネマ……………ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
 - オフ……………この機能は動きません。

サウンドリマスター

- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼でお好みの設定を選ぶ



- オート 音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- オン 高精細な音質になります。
- オフ この機能は動きません。

重低音

- 重低音の強さを調整します。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」、以外のときは、「重低音」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼でお好みの設定を選ぶ



「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- おまかせ 番組のジャンルに合わせて重低音を自動調整します。
- オフ この機能は動きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- 強／中／弱 重低音をお好みの強さに調整します。
- オフ この機能は動きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「イコライザー」は「ー」と表示され、操作できません。

① 調整する音域を▲・▼で選び、◀▶でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、「調整前に戻す」を選んで **決定** を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、「初期値に戻す」を選んで **決定** を押します。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「オートボリューム」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オン オートボリュームの機能が働きます。
- オフ この機能は動きません。

音声詳細設定

- テレビスピーカーやヘッドホン端子から出力する音声の詳細を設定できます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外のときは、「左右バランス」は「ー」と表示され、操作できません。

① ◀▶でお好みのバランスに調整し、**決定**を押す

お好みの音声に調整する つづき

Dolby DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- Dolby DigitalやDolby AtmosなどのDolby Audioが入力された場合に機能します。(外部機器からの入力の場合には、Dolby Audioの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- 強…… 音声レベルの補正効果が強く働きます。
- 弱…… 音声レベルの補正効果が弱く働きます。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

① ▲・▼で信号を選び、を押す

- オート……………
最適なフォーマットで出力します。
- Dolby Audio変換
Dolby信号に変換して出力します。
- デジタルスルー ……
AACやDolby信号がそのまま出力されます。
- PCM……………
常にリニアPCM信号が出力されます。
オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。



- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、「デジタル音声出力」を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。



- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力2(eARC/ARC)端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から信号は出力されません(HDMI入力端子が対応している音声信号については、[77](#)をご覧ください)。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。

① ◀▶でお好みのタイミングに調整し、を押す

- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。



- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン出力設定

- ヘッドホン端子の設定をします。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- ヘッドホンのみ
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- ヘッドホンとスピーカー
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。
- 「ヘッドホンとスピーカー」を選択しているときは、音量調整はヘッドホンの音量を調節します。



■ ヘッドホン端子について

- ヘッドホン端子では、「左右バランス」と音量の調整以外の音声調整の効果は得られません。
ヘッドホン出力設定で「ヘッドホンとスピーカー」を選択した場合は、「テレビスピーカー」のみ音声調整の効果を反映します。

テレビ設置設定

- 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。
- サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外の場合や、「レグザサウンドイコライザー設定」が無効のときは、「テレビ設置設定」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼で「スタンド」または「壁掛け」を選ぶ

レグザサウンドイコライザー設定

- 高精度な補正により、本機に最適な音質にします。

① を押して有効/無効を切り換える

- 有効…… 高精度な補正をします。
- 無効…… 補正をしません。

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

地上デジタル用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタル設定

地上デジタルアンテナ設定
地上デジタル放送のアンテナ信号状態の確認やアッテネーターの設定をします。

地上デジタルスキャン設定
地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

- 2 ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定** を押す

- 3 ▲・▼でチャンネルを選び、**決定** を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞ください)。
- 信号強度が推奨範囲(信号強度グラフ上の | | の範囲)内になっているか、信号品質が推奨の数値(信号品質グラフの | の位置)以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

地上デジタルアンテナ設定

地上デジタルアッテネーター ☐

伝送チャンネル
UHF27

推奨範囲の数値になっているか、確認します。

受信中のチャンネル
地デジ01 NHK総合1・東京

信号強度
NHK 総合・東京 現在55(最大66)

信号強度
現在66(最大66)

受信状態は良好です。

推奨以上の数値になっているか、確認します。

BS・110度CS用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

- 2 以下の手順で確認する信号を選ぶ

- 1 ▲・▼と **決定** で「受信チャンネル」を選び、表示される画面でBSまたはCS,およびチャンネルを選ぶ
 - 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 2 ▲・▼と **決定** で「トランスポンダ」を選び、表示される画面でトランスポンダを選ぶ
- 3 ▲・▼と **決定** で「衛星周波数」を選び、表示される画面で衛星周波数を入力する
 - 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。
 - ※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

- 2 以下の手順で確認する信号を選ぶ

- 1 ▲・▼と **決定** で「受信チャンネル」を選び、表示される画面でBSまたはCS,およびチャンネルを選ぶ
 - 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 2 ▲・▼と **決定** で「トランスポンダ」を選び、表示される画面でトランスポンダを選ぶ
- 3 ▲・▼と **決定** で「衛星周波数」を選び、表示される画面で右旋/左旋および衛星周波数を入力する
 - 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。
 - ※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき

- 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む



- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

アンテナを調整する つづき

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

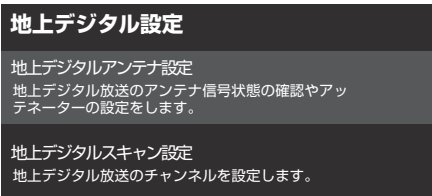
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、決定を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を有効にします。
- お買い上げ時は、無効に設定されています。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



2 ▲・▼で「地上デジタルアッテネーター」を選ぶ

3 決定を押して、有効または無効を選ぶ

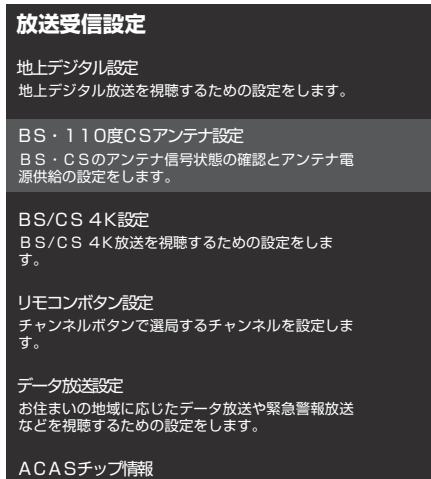
- 決定を押すごとに、有効と無効が交互に切り換わります。

※ 有効または無効に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲・▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「する」、「しない」または「オート」を選び、決定を押す

- する：本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- しない：アンテナに電源を供給しません。
- オート：必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を待機にしてから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、エラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わることがあります。



● 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません(BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - 初期スキャン……「かんたん初期設定」の「地上デジタルスキャン設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - 再スキャン……放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - 自動スキャン……本機の電源が「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(1～12)に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む

2 お住まいの地方を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

3 お住まいの都道府県または地域を ▲・▼ で選び、**決定** を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは有効に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを無効に設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」の順に進む

2 ▲・▼ で「自動スキャン」を選ぶ

3 **決定** を押して、有効または無効を選ぶ

- **決定** を押すごとに、有効と無効が交互に切り換わります。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき つづき

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(**1** ~ **12**)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

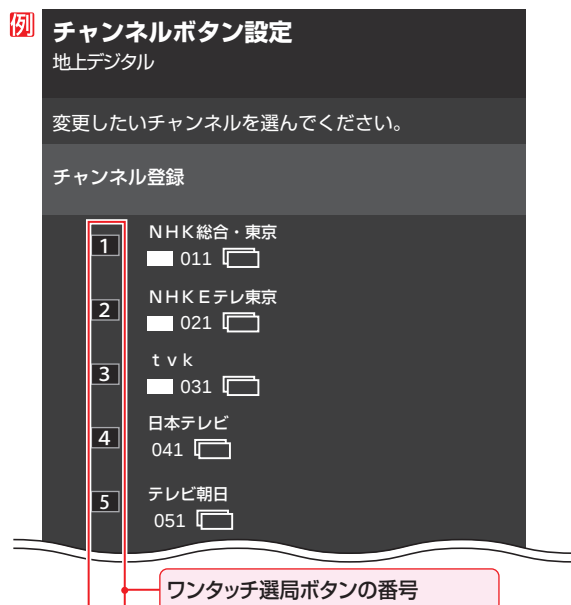
1 **設定** を押し、**▲・▼**と **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

3 設定するボタン(**1** ~ **12**)の番号を **▲・▼** で選び、**決定** を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。



- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
グループのA、B (BSデジタル放送、BS・110度CS 4K放送)、A ~ F (110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。
グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 **▲・▼**で受信チャンネルを選び、**決定** を押す
110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

- 1 手順2で、「110度CS」を選び、**決定** を押す
- 2 チャンネルボタン設定画面(手順3)で「チャンネル選択登録」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲・▼**で登録したいチャンネルを選び、**決定** を押す

- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

BS/CS 4K放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

- 1 手順2で、「BS/CS 4K」を選び、**決定** を押す
- 2 チャンネルボタン設定画面(手順3)で「チャンネル自動登録」を選び、**決定** を押す
- 3 **◀▶**で「はい」を選び、**決定** を押す

- グループAのチャンネルが、数字が小さいボタン順に登録されます。



- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「かんたん初期設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。
- BS・110度CS 4K放送のAグループの「チャンネルボタン設定」をユーザーが変更していない場合、放送局からの情報に従って、チャンネルボタン設定の内容が更新される場合があります（「チャンネルボタン設定」の設定内容をユーザーが変更した場合は、放送局からの情報が更新されても、チャンネルボタンの設定内容は更新されません。）。

視聴しないチャンネルをスキップする

-  で選局するとき、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- スキップする設定にしたチャンネルは番組表  に表示されません。また、番組検索  の対象になりません。

1 を押し、▲・▼と で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、 を押す

-  を押すたびに  と  が交互に切り換わります。チェックの入っていないチャンネルはスキップされます。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します(違う放送のチャンネルを設定する場合は  を押し、手順2からの操作を繰り返します)。



■ チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルをスキップする設定にすると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルをスキップする設定にした場合は、代表チャンネルは選局できます。
- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップする設定になっています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「かんたん初期設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「地域設定」の順に進む
- 2 該当する地方を▲・▼で選び、**決定** を押し
● 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
- 3 該当する地域を▲・▼で選び、**決定** を押し
● 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
● 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号」の順に進む
● 郵便番号の入力画面が表示されます。
- 2 お住まいの地域の郵便番号を▲・▼・◀・▶で入力し、**決定** を押し

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む
- 2 **決定** を押して有効/無効を切り換える
● 有効に設定すると、文字スーパーが表示されるようになります。

文字スーパーの言語を切り換える

- 複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
 - お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む
● 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。
 - 2 優先する言語を▲・▼で選び、**決定** を押し



● 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

● 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「文字スーパー表示」を無効に設定した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

視聴できる番組やアプリを制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除をするときにも暗証番号の入力が必要になります。



- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝テレビで相談センター」にご連絡ください。

※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

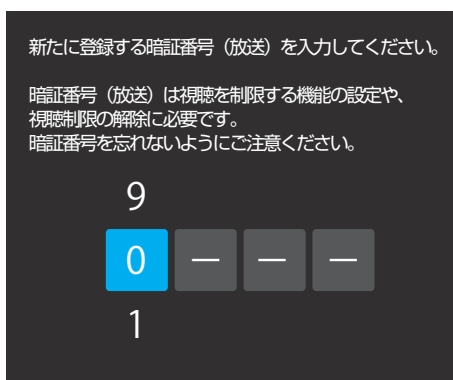
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」⇒「暗証番号設定(放送)」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

- 2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

- 3 登録したい暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する



重要

登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

- 4 ▲・▼・◀・▶でもう一度同じ暗証番号を入力する

- 5 確認画面で **決定** を押す

暗証番号を削除するとき

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」⇒「暗証番号削除(放送)」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

- 2 ▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力する

- 3 確認画面で、▲・▼で「はい」を選び、**決定** を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されています。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」⇒「放送視聴年齢制限」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

- 2 ▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力する

- 3 ▲・▼で年齢を設定し、**決定** を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。

- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

視聴できる番組やアプリを制限する つづき

ネットワークサービスの利用を制限する

- 本機には、お子様などに見せたくないインターネット上の映像等の視聴を制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、この制限機能の利用をお勧めします。
- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 放送視聴制限の暗証番号とインターネット利用制限の暗証番号は、別々に設定する必要があります。

暗証番号を設定する

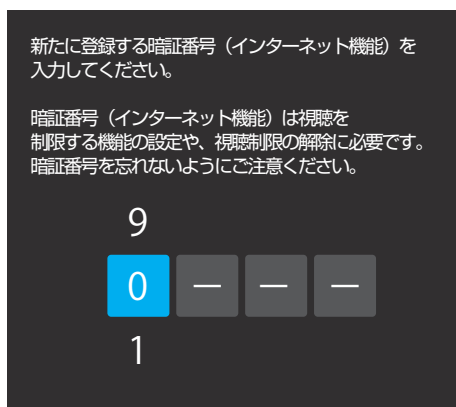
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「インターネット機能制限設定」⇒「暗証番号設定(インターネット機能)」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

- 2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

- 3 登録したい暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

- 4 ▲・▼・◀・▶でもう一度同じ暗証番号を入力する

- 5 確認画面で **決定** を押す

暗証番号を削除するとき

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「インターネット機能制限設定」⇒「暗証番号削除(インターネット機能)」

- 暗証番号の入力画面になります。

- 2 ▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力する

- 3 確認画面で、▲・▼で「はい」を選び、**決定** を押す

インターネット機能制限設定(パスワードロック機能)

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「視聴制限設定」⇒「インターネット機能制限設定」⇒「インターネット機能制限」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

- 2 ▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力する

- 3 ▲・▼で「制限する」または「制限しない」を選び、**決定** を押す

- ・ 制限する ……ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。
- ・ 制限しない ……暗証番号入力は不要です。

アプリのインストールを制限する

- セキュリティに問題の可能性があるアプリのインストールを許可するかの設定を行えます

提供元不明のアプリをインストールさせない

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「セキュリティと制限」⇒「提供元不明のアプリ」の順に進む

2 ▲・▼・◀・▶で設定を変更する

アプリのインストール時に確認する

- 損害をもたらす可能性があるアプリのインストール禁止またはインストール前に警告させるかを設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「セキュリティと制限」の順に進む

2 ▲・▼で「アプリの確認」を選ぶ

3 **決定** を押して設定を切り換える

リモコンの設定を変更する

リモコンを登録する

- リモコンのマイクでGoogleアシスタント機能を使用するには、あらかじめリモコンを本機に登録する必要があります。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「リモコンとアクセサリ」⇒「リモコン設定」⇒「リモコンの登録」の順に進む

2 ▲・▼で「新しいリモコンを登録する」を選び、**決定** を押す

3 **青** を押したまま **黄** を押し続ける

- そのまましばらくお待ちください。

4 「リモコンの登録が完了しました」が表示されたら、**青** と **黄** から指を離し、**決定** を押す

2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する

- 同じ室内で東芝テレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。
- ※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「リモコンとアクセサリ」⇒「リモコン設定」⇒「リモコンコード設定」の順に進む

2 ▲・▼で「リモコンコード1」または「リモコンコード2」を選び、**決定** を押す

リモコンコード設定

東芝のテレビを2台使用しているとき、1台だけを操作するためにリモコンコードを切り換えます。

☒ リモコンコード1

☐ リモコンコード2

- 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順3を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。

3 **決定** を押したまま、**1** または **2** を約2秒間以上押し続ける

- 手順2で「リモコンコード1」に設定した場合は **1** を、「リモコンコード2」に設定した場合は **2** を押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

4 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。



- テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンの **電源** を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ本体のボタンで設定するとき

- テレビ本体のリモコンコードを、本体底面にある本体ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを手前に動かし、そのまま押し続ける

- リモコンコード1とリモコンコード2が交互に切り換わります。

使わない放送切換ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送切換ボタン **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む

2 ▲・▼で放送を選ぶ

操作無効設定

視聴しない放送に切り換わらないように放送切換ボタンを無効にするための設定です。チェックを外すと操作が無効にできません。

地上デジタル	☒
BS	☒
110度CS	☒
BS/CS 4K	☒

3 **決定** を押して、有効または無効を選ぶ

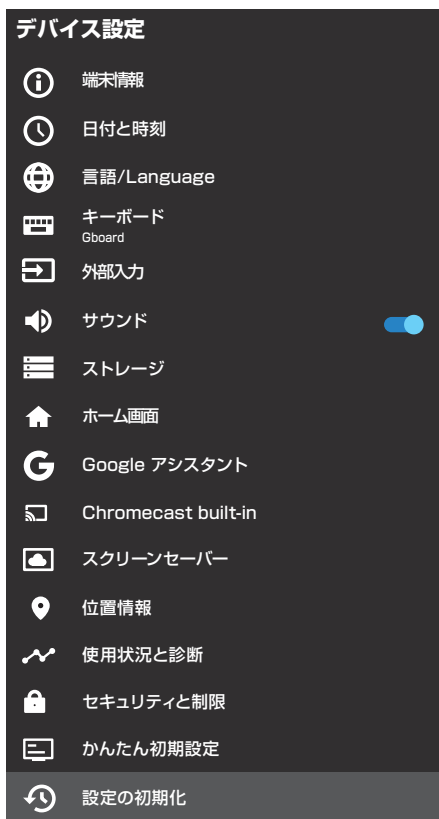
- **決定** を押すたびに ☒ と ☐ が交互に切り換わります。
- チェックを外した放送切換ボタンは操作が無効になります。

Android TV™の設定を変更する

Android TVの設定を変更する

- 設定メニューの「デバイス設定」から、Android TVに関する情報を確認したり、設定を変更したりすることができます。

1 設定 を押し、▲・▼で「デバイス設定」を選び、決定 を押す



2 ▲・▼と 決定 で項目を選び、▲・▼と 決定 で設定を変更する

- Android TVの設定には、次のような項目があります。

端末情報

- 本機の情報が確認できます。

日付と時刻

- 日付と時刻の設定を確認、変更できます。

言語/Language

- ホーム画面など、Android TV機能での表示言語を日本語/英語から選択できます。



- 設定を「English」にしても、機能によっては日本語で表示される場合があります。

キーボード

- 文字入力の際に使用するソフトウェアキーボードの設定ができます。

外部入力

- 外部入力に関する機能を設定できます。詳しくは「外部入力の機能を設定する」[123](#)をご覧ください。

サウンド

- システム音の設定を変更できます。

ストレージ

- 利用可能なメモリの状況を確認したり、設定を変更したりできます。

ホーム画面

- ホーム画面で表示するアプリの並び順の変更や、チャンネル表示の設定を変更できます。

Googleアシスタント

- Googleアシスタントに関する機能を設定できます。詳しくは次ページの「Googleアシスタントの設定を変更する」[123](#)をご覧ください。

Chromecast built-in

- Chromecast built-inアプリに対応したモバイル機器から本機の画面に動画をキャストするChromecast built-in機能の設定を確認できます。

スクリーンセーバー

- 本機を操作していないときに起動するスクリーンセーバーの設定ができます。

位置情報

- 現在地のステータスや、位置情報をリクエストしたアプリの情報を確認できます。

使用状況と診断

- Googleに診断情報などを送信するかを設定できます。

セキュリティと制限

- 本機にインストールするアプリの制限などを設定できます。詳しくは「アプリのインストールを制限する」[123](#)をご覧ください。

かんたん初期設定

- 本機の初期設定をやり直すことができます。

設定の初期化

- 本機の設定を初期化します。詳しくは「お買い上げ時の設定に戻すには」[123](#)をご覧ください。

Android TV™の設定を変更する つづき

Googleアシスタントの設定を変更する

- Googleアシスタントを使用した検索に関する設定が変更できます。

検索対象のアプリを変更する

- 検索結果に表示するアプリを選択できます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「Googleアシスタント」の順に進む
- 2 ▲・▼で「検索対象のアプリ」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶と **決定** で設定を変更する

不適切なコンテンツや語句をフィルタリングする

- 検索結果から不適切なコンテンツを非表示にしたり、不適切な語句を表示しないようにします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「Googleアシスタント」の順に進む
- 2 ▲・▼で「セーフサーチ」または「不適切な語句のブロック」を選ぶ
セーフサーチ
 - 検索結果で、不適切な表現のコンテンツを表示するかどうかを設定します。**不適切な語句のブロック**
 - 音声認識した語句の中で、不適切なものを非表示にするかどうかを設定します。
- 3 **決定** を押して設定を変更する

電源待機時の動作モードを変更する

- テレビが電源待機の時でもGoogleアシスタント機能を使用できるようにするための設定です。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「スクリーンレスモード」の順に進む
- 2 **決定** を押して設定を切り換える
 - 有効にすると、電源待機時でもGoogleアシスタント機能を使うことができますが、電源待機時の消費電力が増えます。
 - 無効にすると、テレビの状態によってはGoogleアシスタント機能を使うことができなくなりますが、電源待機時の消費電力を抑えることができます。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

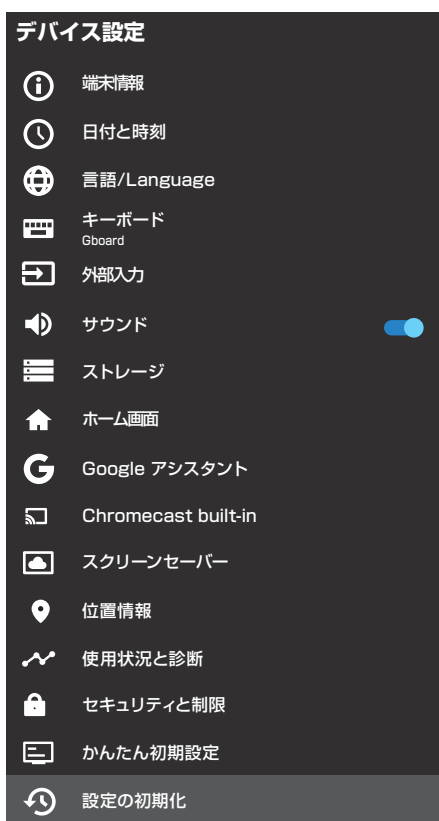
● お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。



※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

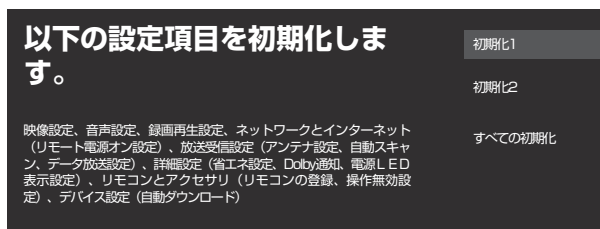
項 目	内 容
初期化1	● 以下の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 - 映像設定 - 音声設定 - 録画再生設定 - ネットワークとインターネット(リモート電源オン設定) - 放送受信設定(アンテナ設定、自動スキャン、データ放送設定) - 詳細設定(省エネ設定、Dolby通知、電源LED表示設定) - リモコンとアクセサリ(リモコンの登録、操作無効設定) - デバイス設定(自動ダウンロード)
初期化2	● 以下の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 初期化1の項目と、初期化1で初期化されない以下の項目を含めて初期化します。 - チャンネル設定 - チャンネルボタン設定 - チャンネルスキップ設定
すべての初期化	● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「設定の初期化」の順に進む

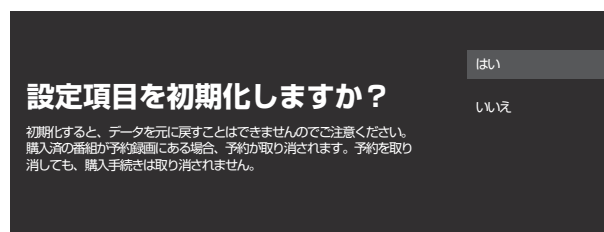


2 ▲・▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、**決定** を押し

● 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。



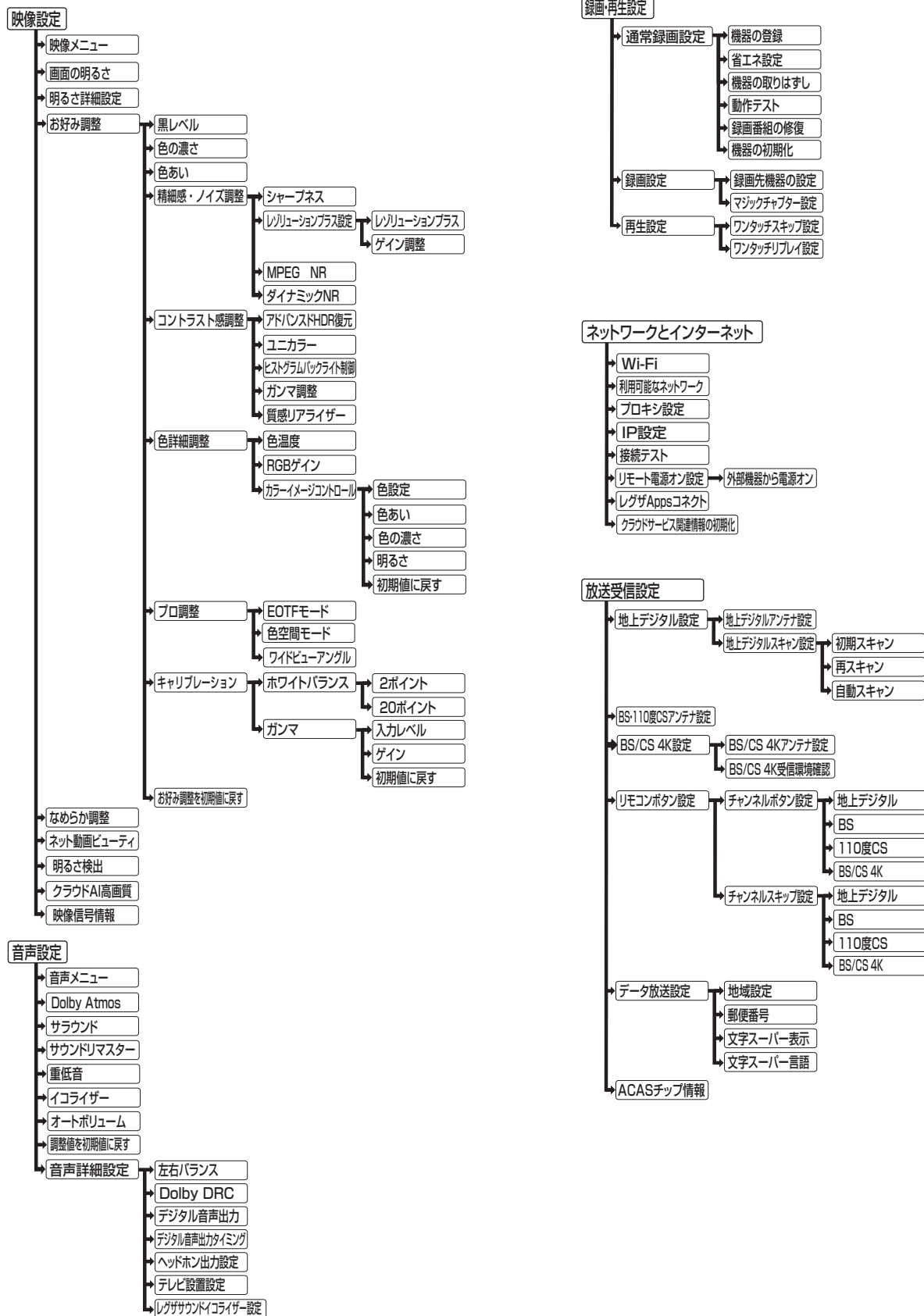
3 初期化する場合は▲・▼で「はい」を選び、**決定** を押し



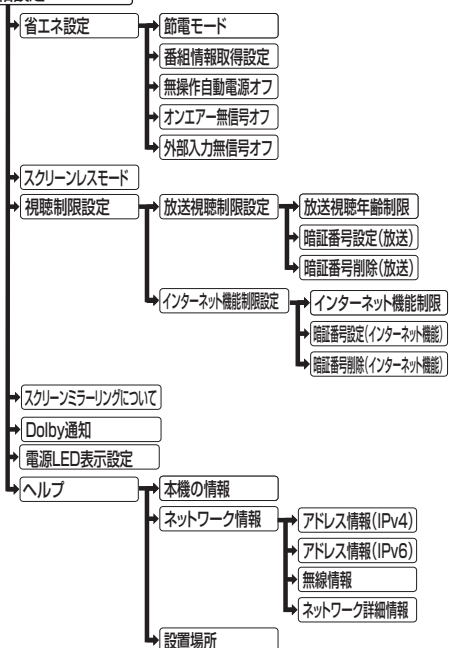
- テレビの初期化が行われます。
- ※ 初期化中は、リモコン操作などをしないでください。
- 初期化が終了するとテレビが再起動します。

設定メニュー一覧

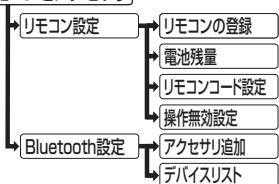
- 設定メニュー一覧を下図に示します。
- ※一部のメニュー項目は、詳細項目は省略しています
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせA1」を選んでいる場合の内容です。
- 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、予告なく追加、削除、または内容を変更する場合があります。



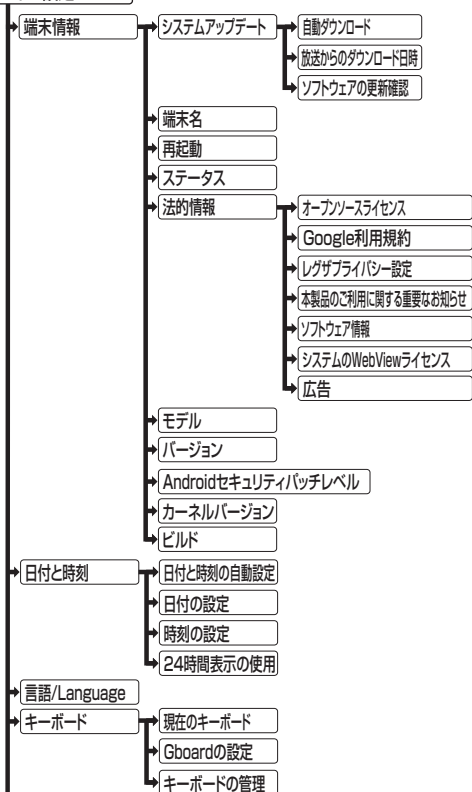
詳細設定



リモコンとアクセサリ

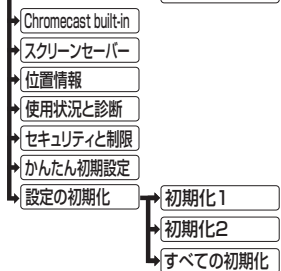
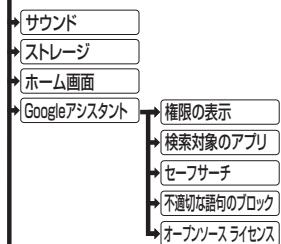
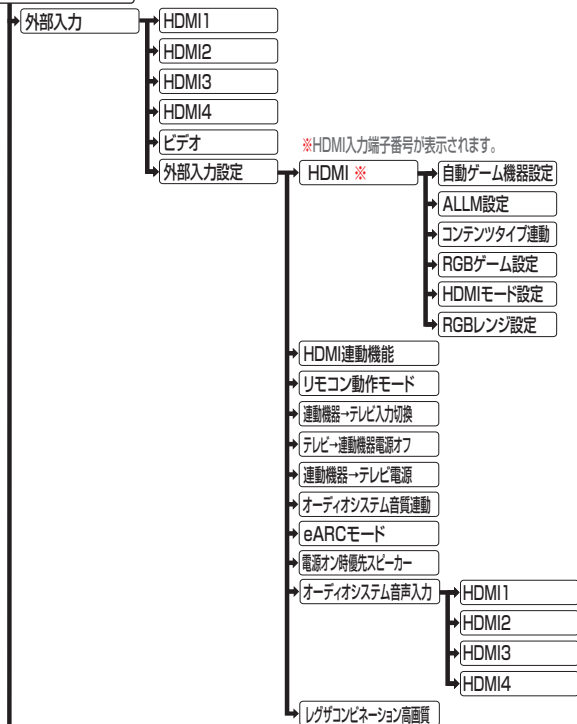


デバイス設定



右上に続く

デバイス設定(つづき)



アプリ

アカウントとログイン

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.regza.com/regza/support/>)でお知らせしています。
 - ・ 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- ソフトウェアを自動的に更新するために、電源プラグは非常時と長期間で使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用してサーバーから更新用のソフトウェアをダウンロードすることができます。
- ソフトウェアを更新する際に内部共有ストレージを使用します。内部共有ストレージの容量が足りなくなるとソフトウェアを更新することができません。十分な空き領域を確保するようにしてください。
- ソフトウェアの更新により、録画が中止される場合があります。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を有効(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由で更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することができます。
放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、更新用のソフトウェアがある場合に、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。
ネットワークを利用したソフトウェアのダウンロードは、更新用のソフトウェアがサーバーに公開された場合に、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

用語

- **ダウンロード**
放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

自動ダウンロードの設定を変更する

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「デバイス設定」⇒「端末情報」⇒「システムアップデート」⇒「自動ダウンロード」の順に進む

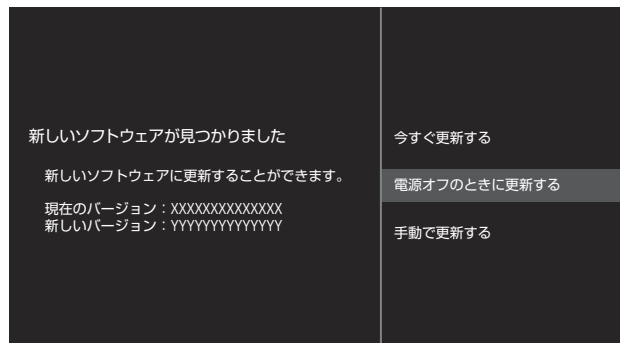
2 **決定** を押して有効/無効を切り換える

- 「システムアップデート」の「放送からのダウンロード日時」を選んで **決定** を押し、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 手動でソフトウェアの更新をすることもできます。

131

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を無効に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



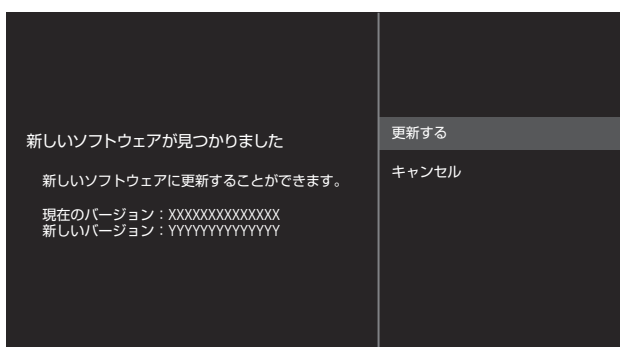
- ▲・▼で以下のどれかを選び、**決定** を押します。
 - ・ **今すぐ更新する** ……ソフトウェアの更新を始めます。
 - ・ **電源オフのときに更新する** ……本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
 - ・ **手動で更新する** ……ソフトウェアの更新は始めません。「サーバーから手動でダウンロードする」**131** の操作でソフトウェアをダウンロードします。
- 更新する内容によっては、「手動で更新する」が表示されない場合があります。

サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定  ～  が必要です。

1 を押し、▲・▼と で「デバイス設定」⇒「端末情報」⇒「システムアップデート」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ▲・▼で「更新する」を選び、 を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- 「バックグラウンドでおこなう」を選択すると、テレビの視聴をしながらソフトウェアの更新をおこなうことができます。
- 更新する内容によっては、「キャンセル」が表示されない場合があります。

3 「再起動」を選び、 を押して更新を完了する

- テレビが再起動して、ソフトウェアが更新されます。
- 「あとで」を選択すると、次回電源を入れたときに新しいソフトウェアでの起動となります。



■ サーバーからのダウンロードについて

- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

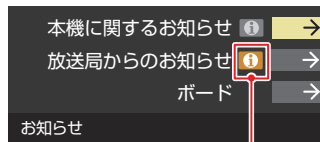
1 を押し、▲・▼と で「詳細設定」⇒「ヘルプ」⇒「本機の情報」の順に進む

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、チャンネル切替時や **画面表示** を押したときに、画面に「お知らせアイコン」**i** が表示されます。**135**

1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「その他の操作」⇒「お知らせ」の順に進む

2 **▲・▼** でお知らせの種類を選び、**決定** を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- 本機に関するお知らせ…本機が発行したお知らせです。
- 放送局からのお知らせ…デジタル放送局からのお知らせです。
- ボード……………110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを **▲・▼** で選び、**決定** を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

1 「本機に関するお知らせ」の画面で、**青** を押す

2 **◀・▶** で「はい」を選び、**決定** を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。



■「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- BS 4K放送とCS 4K放送は、それぞれ10通まで記憶されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。
 - ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。
- ※ ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています(B-CASカードは付属していません)。

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「ACASチップ情報」の順に進む

- ACASチップの情報が表示されます

ACASチップ情報

識別番号
XXXX

ID番号
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

状態
正常に動作しています。

2 情報を確認したら、を押す

ACASチップID番号記入欄

- 下欄にACASチップのID番号を記入しておく、有料放送
のご契約やお問い合わせの際などに役立ちます。

ACASチップ

[illegible]

文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などでキーボード画面が表示されます。
- ※ 下のキーボード画面は、イメージになります。実際の画面とは若干異なります。



1 ▲・▼・◀・▶で文字を選び、決定を押して入力する

- 文字に続けて ` ` を選ぶと、濁点(` )や半濁点( `)の入力ができます。
- ⇧ を選ぶと、英字の大文字と小文字が切り換わります。
- スペースを入力するときは、␣ を選びます。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を ◀・▶ で選んで入力します。
- 入力文字の種類を変えるときは、次のキーを選びます。
 - ・ アイウ
キーボードをカタカナ入力に切り換えます。
 - ・ あいう
キーボードをひらがな入力に切り換えます。
 - ・ !123
キーボードを英字数字入力に切り換えます。

文字を削除するには

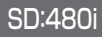
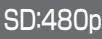
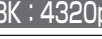
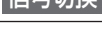
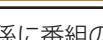
- 1文字を削除するには、⌫ を選びます。
カーソルの左の1文字が削除されます。

2 すべての入力が終わったら、「→」を選んで決定を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	ステレオ音声放送		視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
	サラウンドステレオ放送		有料放送で契約済のチャンネル。
	二重音声放送		有料放送で契約していないチャンネル。
	字幕放送		PPV（ペイ・パー・ビュー）番組。○○は金額が入ります。
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送		録画回数が制限されている番組
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送		デジタル録画ができる番組
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送		有料でデジタル録画ができる番組
	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送		デジタル録画ができない番組
	放送フォーマットが2160pの4K映像放送		光デジタル録音ができる番組
	放送フォーマットが4320pの8K映像放送		1回だけ光デジタル録音ができる番組
	複数の映像、または音声またはデータがある番組		有料で光デジタル録音ができる番組
			光デジタル録音ができない番組

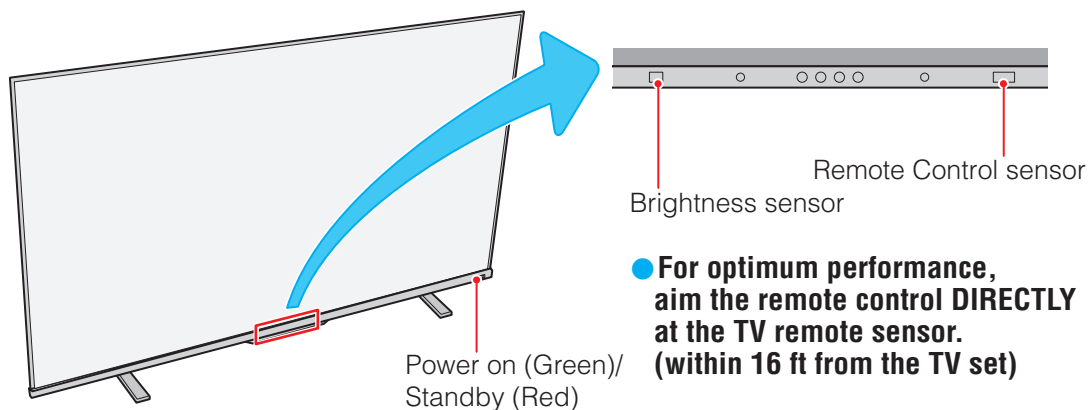
● ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

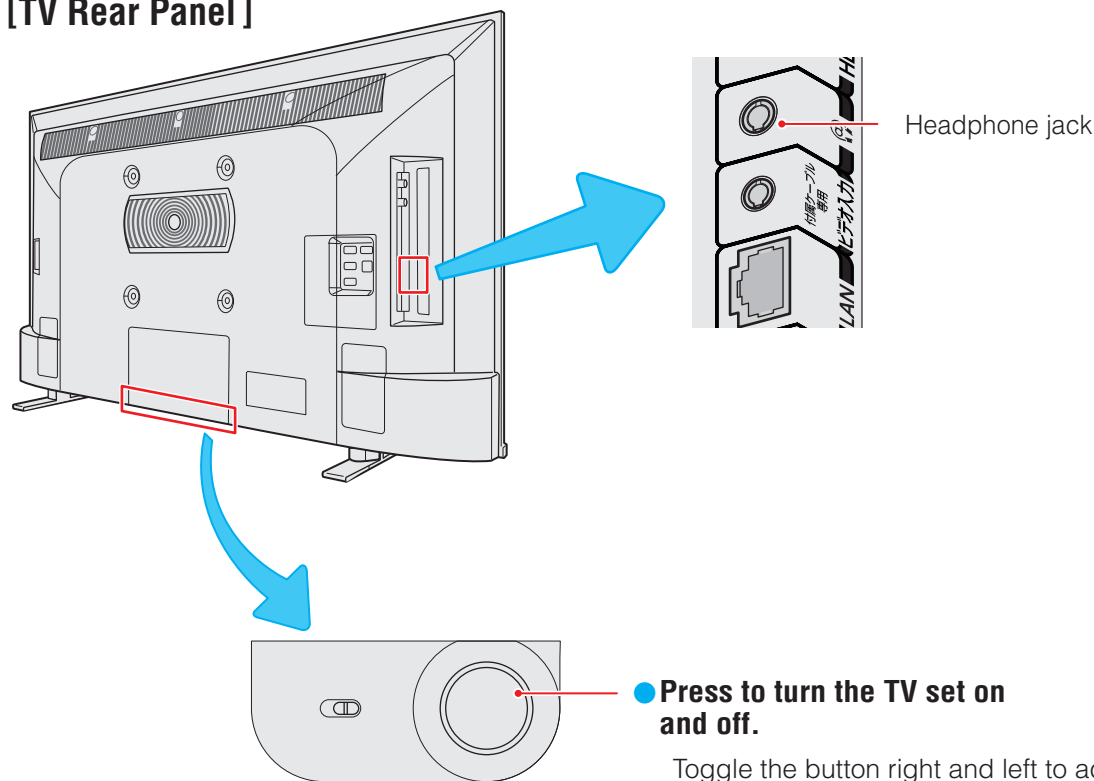
アイコン	説明	アイコン	説明
	録画予約		おまかせ録画予約
	連ドラ予約		視聴予約が重なったときに表示されます。
	視聴予約		録画番組が「保護」対象
	録画中		録画番組が「上書き」対象
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。		未読の「お知らせ」
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		既読の「お知らせ」
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。		非リンク型サービス(通信番組) 
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。		

Basic Operations

[TV Front Panel]

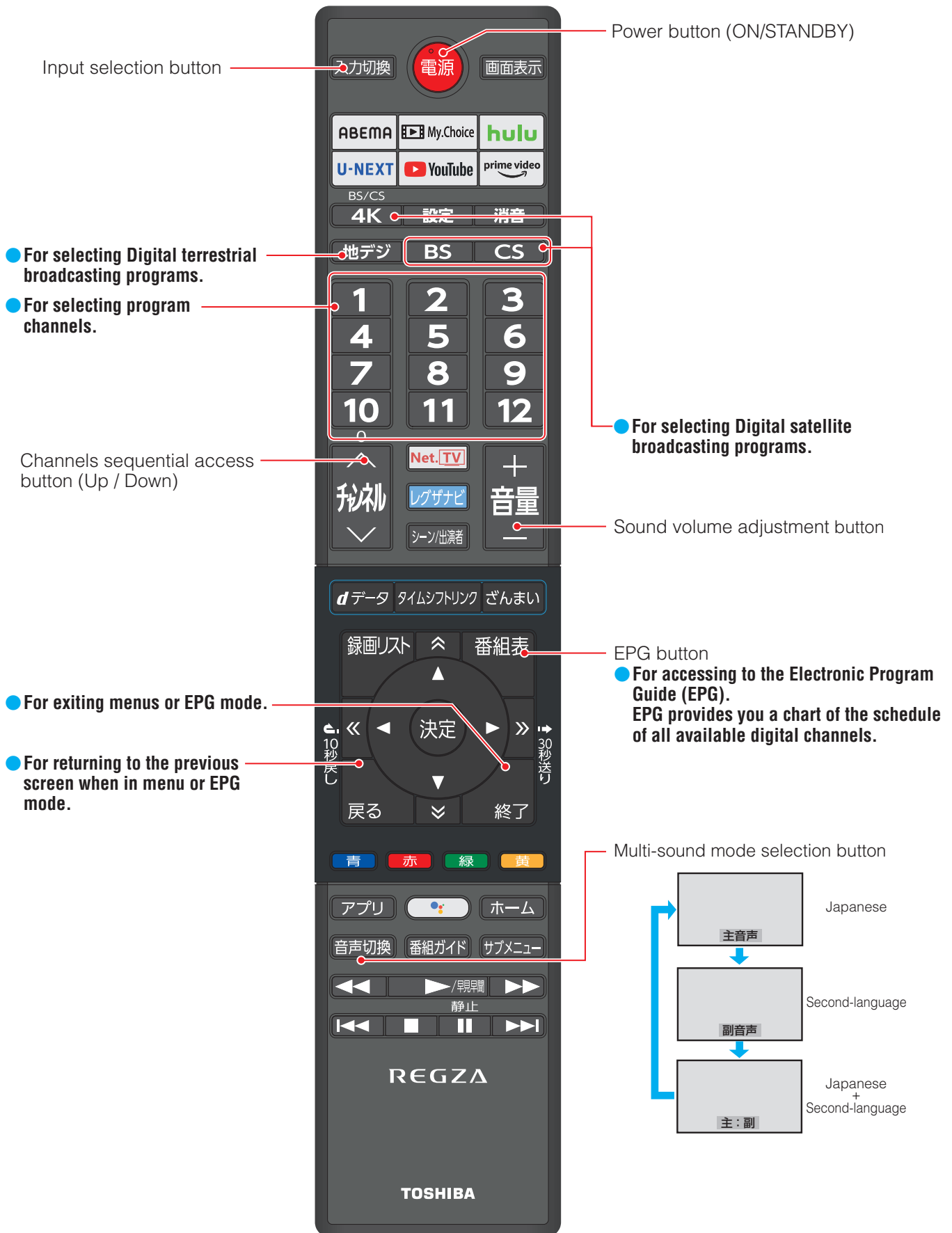


[TV Rear Panel]



● For more information on operations, safety instructions, maintenance, etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]



画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応している HDMI入力信号フォーマット」 をご覧ください。

放送番組の映像や動画の再生をしているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像(480p、480i)	ノーマル、ズーム
デジタル放送の16：9の映像	ノーマル、ズーム

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

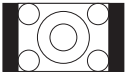
映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	4:3、16:9、ズーム
VGA、SVGA、XGA、SXGA	ノーマル、フル、ネイティブ
720p、1080i、WXGA	ノーマル、ズーム
1080p	ノーマル、ネイティブ、ズーム
WQHD	ノーマル、ネイティブ
3840×2160p	ノーマル、ズーム
4096×2160p	ノーマル

※ビデオ入力端子は、4:3、16:9、ズームが選択できます。



- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説 明
4:3	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
16:9	ノーマル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ズーム		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
4K信号	ノーマル (3840×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	ズーム (3840×2160p)		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。 ※左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」(4K信号3840×2160p)にした場合の見えかたです。
	ノーマル (4096×2160p)		4K信号の映像を画面に合わせて縮小して表示するモードです(上下の映像がない部分は黒く表示されます)。
HDMI	ノーマル/ Normal		映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	フル/Full		映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ネイティブ/ Native		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。 ※WQHD (2560x1440)を除く
	ネイティブ/ Native (WQHD)		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。
一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
 - 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。
- ※ 4Kの10bit/12bit信号の映像を見る場合は、HDMI1またはHDMI2端子へ接続してください。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz
2160p	3840×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000kHz	593.407 / 594.000MHz
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz
2160p	4096×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000kHz	593.407 / 594.000MHz
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787kHz	241.500MHz

本機で再生できるファイルのフォーマット

- ※ コンテンツを編集したツールやその他の理由によって、以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

コンテンツ形式	ファイル形式
動画	.mkv、.mp4、.mov、3gp、.3gpp、.avi、.mpg、.mpeg
音楽	.mp3、.aac、.wav、
写真	.jpg、.bmp、.png、.gif

ライセンスおよび商標などについて



この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision IQ、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-2020年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- **ACCESS™ NetFront®** 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- **HDMI®** HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- **eilex PRISM VIR FILTER eilex FOCUS** この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR Filter、Eilex FocusはEilex International, LLC の商標です。

- Google、Google Play、YouTube、Android TV、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 本製品の一部に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

● AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

PlayReady end user notice

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
- This product has used the FreeType code.

本製品のご利用に関する重要なお知らせ

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の利用を開始される前に、必ずこのソフトウェア等利用規約(以下、「本規約」といいます。)をお読みください。なお、お客様(以下、「利用者」といいます。)による本製品の利用開始をもちまして、本規約の内容を十分にご理解いただき、また本規約の内容に同意したものとさせていただきます。

本規約は、利用者とTVS REGZA株式会社(以下、「当社」といいます。)との本製品又は本製品に含まれるソフトウェア(当社が利用許諾を受けている第三者(以下、「原権利者」といいます。))のソフトウェアを含みますが、これに限られません。なお、本規約とは別のソフトウェア利用条件が定められているソフトウェアも本製品に含まれますが、このようなソフトウェアの利用条件に関しては後述します。本製品に含まれるソフトウェアを、以下、「本ソフトウェア」といいます。)の利用に関する条件について規定する契約です。なお、本規約は、これらに加え、本製品に同梱される印刷物やオンラインで提供される情報も対象としております。

万が一、本規約にご同意いただけない場合、本製品に含まれるソフトウェア又はコンテンツサービス(以下、「本ソフトウェア等」といいます。)をご利用いただくことはできませんので、本製品の利用を開始する前に本製品の返品等について、当社までお問い合わせ下さい。また、当社の提供するコンテンツまたはコンテンツサービス(以下、「当社サービス」といいます。)に関するプライバシーポリシー(以下、「当社プライバシーポリシー」といいます。)に同意いただけない場合、本ソフトウェア等の利用に関し一部制限がかかる場合があります。なお、本規約又は当社プライバシーポリシーは、当社の判断により、適宜変更されることがありますので、予めご了承ください。本規約及び当社プライバシーポリシーについては、本製品の「設定」内の「端末情報」から「法的情報」をお選びいただくと、ご覧いただけます。

インターネット接続環境又は第三者サービス等

- (1) 本製品は、当社サービス又は当社以外の第三者コンテンツプロバイダー(以下、「第三者プロバイダー」といいます。)から提供されるソフトウェア、動画、画像、文書、音声その他一切のコンテンツサービス(以下、「第三者サービス」といいます。)へのアクセスを可能にする機能を搭載しておりますが、この機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要となっております。当社サービス又は第三者サービス(以下、併せて「本サービス」といいます。)へのアクセス速度やサービスの品質、画質、利用可能な画像サイズその他一切のサービスは、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境(インターネットサービスの性能、回線容量等を含みますが、これに限られません。)又は第三者サービスの配信環境に依存します。
- (2) インターネットプロバイダーを含むインターネットサービス事業者への接続料等の支払いについては、利用者が責任を負うこととし、当社は責任を負わないものとします。また、本サービスの品質については、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境に依存するものとなりますから、当社は、インターネット接続環境に対しては、関係法令により許容される範囲において一切責任を負いません。

- (3) 第三者サービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるサービスであり、当該第三者プロバイダーの提示する条件に基づいて提供されており、当社は第三者サービスには関与していません。第三者サービスについては、第三者プロバイダーが定める条件に従ってご使用ください。当社は、第三者サービスに起因する損害については、関係法令により許容される範囲において一切責任を負いません。また、当社及び第三者プロバイダーは、一切の送受信に関する事項(送受信の非適時性、送受信データの消失、エラー又は不保存を含みますが、これに限られません。)について、関係法令により許容される範囲において一切責任を負いません。

本ソフトウェア等又は本サービスの取扱い

- (1) 本ソフトウェア等は、衝撃耐性を有していないため、本ソフトウェア等の欠陥や誤作動により、利用者又は第三者の生命、身体、財産等に物理的な損害を与えるような環境下ではご使用いただくことはできません。当社、原権利者又はこれらの関係者は、本ソフトウェア等がこのような環境下で有効に機能することを一切保証するものではありません。本ソフトウェア等は、暗号化技術を含んでいるものもあります。暗号化技術を含むソフトウェア又はコンテンツは、輸出入に関する法律、規則、又は政府による許認可の対象となる可能性があり、利用者は、このような法律、規則、許認可又は条約等一切の規律を順守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む本ソフトウェア等は、政府関係機関又は外国政府による使用を意図しておりません。
- (2) 本サービスは、利用者の私的利用の範囲内で利用されるものであり、レンタルや入場料又は視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に利用することは禁止されております。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに関する一切の行動(本サービスへのアクセス、閲覧、利用等を含みますが、これに限られません。)について、自ら責任を負い、合法的な目的においてのみ、本ソフトウェア等又は本サービスを利用することができます。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービス又はこれらの複製について、商用的又は公共的目的のために、販売、交換、修理又は送信することはできません。また、利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに係る動作を停止させ、又は停止を試みてはなりません。
- (3) 本サービスは、現状有姿のまま何らの保証なく提供されるものとします。当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、本ソフトウェア等又は本サービスについて、何らの保証(利用者の要求を満たすこと、本ソフトウェア等又は本サービスが中断なく稼働し不具合のないこと、第三者から侵害されないこと、利用者にとって有用であり合目的性があること、正確性や信頼性があること等を含みますが、これに限られません。)も行いません。また、当社又は当社代表者や役員等からの一切の情報の提供は、改めて当社による保証を生じさせるものではなく、本規約上の保証に関する条項を変更させるものではありません。さらに、本サービスの内容は、適宜変更されることがあり、またサービスそのものが終了することもありますので、あらかじめご了承ください。

- (4) 本ソフトウェア等又は本サービスは、バグの修正、機能の改善、セキュリティ機能の強化等の目的で、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、事前の通知なく、適宜、アップデート等の修正(以下、単に「修正」といいます。)がなされることがあり、この修正の適用を本ソフトウェア等の継続的な使用の条件にすることもあります。このような修正により、利用者が利用している本ソフトウェア等又は本サービスの機能が変更され、又は一部削除される可能性があります。

本製品又は本ソフトウェア等には放送番組の録画機能が備えられておりますが、修正により、この録画機能が中止され、適切に録画がなされない可能性もあります。また、本製品又は本ソフトウェア等には利用者の嗜好情報に基づいて放送番組を自動録画する機能も備えられていますが、利用者が意図した全ての放送番組の自動録画を保証するものではありません。録画を希望する放送番組がある場合、通常録画予約をお勧めしますが、これについても、録画予約が重複し、若しくは本ソフトウェア等又は本サービスが修正される等の理由で放送番組が録画されない可能性もあります。当社は、放送番組の録画が確実になされることを保証するものではありません。なお、録画済みの放送番組は、自動録画用に設定したハードディスク領域の空き容量が少なくなると、自動的に消去されることとなりますので、予めご了承ください。

- (5) 利用者は、本規約で明示的に定められたもの以外の目的で、本ソフトウェア等を利用することはできません。本ソフトウェア等は、本規約に基づいて、本製品においてのみ、利用が許諾され、また利用が可能となりますが、利用者に譲渡されるものではありません。また、本ソフトウェア等は、データを自動作成することがありますが、かかるデータは本ソフトウェア等の一部とみなします。利用者は、当社の同意なく、本ソフトウェア等の一部を本ソフトウェア等から分離して利用してはならず、また本ソフトウェア等の一部又は全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルしてはならず、さらに本ソフトウェア等を譲渡、貸与又はリースしてはならないものとします。
- (6) 利用者は第三者に対して、当該第三者が本規約の全条項に同意することを条件とし、本製品の譲渡に伴う本ソフトウェア等(本ソフトウェア等のあらゆるアップデート又はバージョンに係る構成部分、媒体、印刷物若しくはその複製が含まれますが、これに限られません。)又は本規約上の地位を譲渡することができず、当社又は原権利者は、本規約上利用者に許諾されていない全ての権利を留保しております。
- (7) 当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、利用者に事前の通知なく、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、本ソフトウェア等又は本サービスの全て又は一部を、一次的又は恒久的に変更、中止、終了又は削除することがあります。当社は、かかる変更、中止、終了又は削除によって利用者に何らかの損害が生じたとしても、関係法令により許容される範囲において一切の責任を負いません。また、利用者が本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、本規約の履行を強制し、又は不履行を是正するため、あらゆる法的又は技術的な対策(利用者の本ソフトウェア等又は本サービスへのアクセス権限の即時停止等を含むが、これに限られない。)をとることができることとします。

本製品の取扱い等

- (1) 本製品又は本ソフトウェア等には、本規約だけでなく、本規約とは別のソフトウェア利用条件に従っていただくもの(以下、「一部ソフトウェア」といいます。)が含まれます。一部ソフトウェアには、オープン・ソース・イニチアチブ(OSI)によりオープンソースライセンスと認められたソフトウェアの他、それに代替する類似のソフトウェアライセンス(頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にしなければならない等の頒布条件の付されたもの)が含まれますが、これに限りません。)が適用されるソフトウェアもあります。一部ソフトウェアに適用される個々の条件は、本規約又は本製品の「設定」内の「端末情報」から「法的情報」をお選びいただくと、ご覧いただけます。なお、一部ソフトウェアに適用されるライセンスの条件は、当該一部ソフトウェアにおいて求められる限度において、本規約に代わって適用されるものとし、本規約の内容が、一部ソフトウェアに適用されるライセンスによって禁止されている場合、その限度において、当該本規約の内容は、当該一部ソフトウェアに適用されないものとします。当社は、一部ソフトウェアに適用されるライセンスに求められる限度において、本ソフトウェア等のソースコードを提供することとします。
- (2) 本製品又は本ソフトウェア等には、ジェネラル・パブリック・ライセンス(GPL)又はグヌー・レッサー・ジェネラル・パブリック・ライセンス(LGPL)の適用を受けるソフトウェアが含まれます。これらのソースコードをご覧になりたい場合は、当社ホームページにて「Linuxに関するお問い合わせ」からお問い合わせください。
- ただし、エンド・ユーザー・ライセンス・アグリーメント(EULA)に同意することを条件として提供される一部ソフトウェアには、著作権者又は当社を含む第三者の保証がないことを前提に、利用者が自身の判断で利用することが認められているものもあります。この場合、当該一部ソフトウェアは無償で利用者に利用許諾されますが、当該一部ソフトウェアの保証(市場性や特定目的適合性に関する黙示の保証も含まれますが、これに限りません。)は適用されず、当該一部ソフトウェアは、現状のまま提供されることとなりますので、利用者は、当該一部ソフトウェアの品質や性能に関する責任を負うこととなります。また、当該一部ソフトウェアに欠陥が確認された場合、修理等に伴う費用やそれに派生する費用について、当社は一切責任を負いません。また、著作権者やその許諾を受けて当該一部ソフトウェアの変更、再頒布をなし得る者は、法令の定め又は書面による合意がない限り、当該一部ソフトウェアを使用したこと又は使用できないことに起因する一切の損害(データ自体又は正確性の消失、利用者又は第三者が被った損害、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等の通常損害、特別損害、間接損害、偶発損害等一切の損害が含まれますが、これに限られません。)について、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合であっても、責任を負いません。当該別途ソフトウェアの利用条件等の詳細については、各EULAをご参照ください。

本製品のご利用に関する重要なお知らせ つづき

本サービスに対する姿勢

本製品を通じた本サービスの提供は、当社が本サービスを推奨していることを意味するものではありません。本サービスには広告物を含むことがあります。同広告物は本サービスを提供するのにやむを得ず掲載等をしているものもあります。なお、当社又は第三者プロバイダーは、同広告物やコンテンツが正確性を有していること、適法であること、信頼に足るものであることを保証するものではなく、これらの広告物やコンテンツについて、関係法令により許容される範囲において一切の責任を負いません。

また、本サービスの一部は、年少者又はそれに準じる者に対して適切でないものも含まれます。そのようなサービスは、年齢制限が指定されているものもあれば、そのような指定がされていないものもありますが、当社は、そのようなサービスについて一切の責任を負いませんので、そのようなサービスの利用については利用者自らの判断と責任で行っていただくこととなります。そのため、年少者による本サービス全般の利用について、利用者による監視監督が必要な場合があります。なお、利用者が未成年であれば、次のいずれかのサービス又はそれに類するサービスを利用する前に、親権者等の法定代理人の同意を得る必要があります。

- ・ 当社にメッセージその他一切の情報を送る行為
- ・ ゲームまたは懸賞等に参加する行為
- ・ グループ又はチャットルームに参加し、若しくは掲示板へ投稿する行為
- ・ 物品又はサービスを購入する行為

なお、当社は、新規又は既存の当社サービスの利用について、課金を要するような変更を加える権利を留保します。利用者の同意なく一方的に課金されることはありませんが、利用者が課金に同意しない場合、利用者は当社サービスの内課金対象となったサービスを利用できないことがあります。

アカウント等の機密保持等

利用者は、当社又は第三者プロバイダーにより、本ソフトウェア等又は本サービスの利用にあたってユーザーアカウント又はパスワード(以下、「アカウント等」といいます。))の作成又は更新を求められることがあります。利用者は、自らの責任のもとで、アカウント等の機密性を保持することとし、このような機密性の保持については、利用者が一切の責任を負うものとします。

利用者が本規約に従って本製品を返品、譲渡し、又は本規約が解除される場合、利用者は、本製品を通じてアクセスし取得したアカウント等を消去し、本製品をすべて初期化して購入時の状態に戻すこととします。

当社による情報の利用等

当社は、利用者が提供した一切の情報(提供方法の如何を問わず、またコメント、メッセージ、質問及び回答、提案その他一切のデータを含みますが、これに限られません。以下、「利用者情報」といいます。))は、すべて機密情報又は利用者に専属的に帰属する情報でないものとして取り扱います。そのため、当社による利用者情報の利用は、利用者のいかなる権利(所有権又は著作権、著作者人格権等の知的財産権等を含みますが、これに限られません。))も侵害したことにならず、また、すべての利用者情報は、地域の限定なく利用(複製、開示、放映、上演、出版、販売、送信、公表、翻案等を含みますが、これに限られません。))される可能性があります。また、利用者は、すべての利用者情報に関する権利等を当社に譲渡することとし、当社は、利用者に対価を支払うことなく、利用者情報に含まれるアイデアや技術等の知的財産権を自由に利用することができるものとします。なお、当社が利用者情報を取得しても、利用者情報又はそれに含まれる知的財産権を利用する義務を負うものではありません。

なお、インターネットを利用した情報の送信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。当社に対する利用者情報等の送信が傍受されていたとしても、当社は利用者に対して、特別な責任を負うものではありません。

第三者プロバイダーによる情報収集等

第三者プロバイダーにより、第三者サービスを通じて、利用者に関する情報が収集されることがありますが、当社は責任を負うものではありません。第三者プロバイダーによる情報収集については、当該第三者サービスに関するプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

知的財産権の取扱い

本サービスには、知的財産権に関する条約、法律又は規則等により保護されています。本サービスの利用を認めることは、当社、原権利者又は第三者プロバイダーが、利用者に対して、保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他これらに類するものに関する権利を譲渡又は利用許諾するものではありません。本サービス又は本サービスの複製に関する一切の権利は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに帰属するものとし、本規約において明示的に許諾されていない一切の権利についても同様とします。

本規約の改定

本規約は、当社の判断(利用者が本規約に違反したことを含むが、これに限られない。))により、適宜、変更、追加又は削除されることがあります。いずれの場合も、利用者には、その実施後に通知(本ソフトウェア等によって行われます。))されますが、当該通知があった以降、利用者が本ソフトウェア等又は本サービスを利用することをもって、変更、追加又は削除された新たな契約内容に同意したものとさせていただきます。

免責

当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、関係法令により許容される範囲において、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの認識の有無、過失の有無を問わず、債務不履行責任、利用者に生じたあらゆる通常損害、特別損害、直接損害、間接損害、積極損害、間接損害、懲罰的損害、派生的損害その他これらに類する損害(本製品、本規約、本ソフトウェア等又は本サービスに起因するもの、これらの使用、不使用、稼働、非稼働に伴うもの、逸失利益に関するもの、データ等の消失、エラーに関するもの、営業上の損害に関する補償又は一切の返金処理が含まれますが、これに限られません。)に対する賠償責任、その他一切の法的責任を負いません。

利用者の責任

利用者に次のいずれかの事由又はこれらに類する事由が生じて、当社、当社関係者(役員や従業員を含みますが、これに限られません。以下、併せて「紛争関係者」といいます。)又は利用者と第三者とのあいだで紛争が生じた場合、利用者は、紛争関係者と協議の上、自己の名前と責任、費用でそれら紛争を解決することとし、紛争関係者に一切の迷惑をかけないようにしなければなりません。なお、紛争関係者は、利用者から補償を受けることを前提に、自己の名前と責任、費用で当該紛争を解決する権利を留保します。

- ・ 本規約に違反し、又は違反するおそれがあること
- ・ 当社に対して何らかの情報が提供されたこと
- ・ 第三者に対する権利侵害があったこと
- ・ 本ソフトウェア等又は本サービスが損傷又は毀損されたこと

なお、利用者は、同紛争を解決するため、自己の判断で代理人を選任することができますが、利用者が紛争関係者の代理人を選任する場合、当該紛争関係者の同意を得なければなりません。利用者は、紛争関係者の事前の書面による同意を得ることなく、紛争関係者の不利益になるような合意をすることはできません。

完全合意等

本規約、本製品に関する保証、当社プライバシーポリシー又は当社サービス(修正されたものも含みますが、これに限りません。)は、これらの利用に関して、利用者と当社との間の完全合意であることとします。

当社による本規約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄するというものではありません。仮に本規約の一部が関係法令等により無効になったとしても、それ以外の部分は本規約の趣旨に鑑みて、関係法令により許容される範囲で有効に存続するものとし、利用者に適用されるものとしします。

原権利者又は第三者プロバイダーは、本規約における受益者として取り扱われることがあります。本規約は、適宜適切に、原権利者又は第三者プロバイダーのために適用されるものとしします。

本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合、当社と利用者とは、誠実に協議し、これを解決するものとしします。

存続期間等

利用者が本規約に違反した場合、又は本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、事前の通知なく直ちに本規約を解除することができるものとし、このような解除がなされるまでの間、本規約は有効に適用されるものとしします。

なお、このような解除がなされた場合、利用者は、本製品、本ソフトウェア等その他これらの複製品を直ちに廃棄又は返還しなければなりません。また、利用者は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに対し、このような解除がなされたことに伴い、費用の償還を求めることはできないものとしします。

準拠法、裁判管轄

本規約の準拠法は、日本国の法律とします。本規約に関わる一切の紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

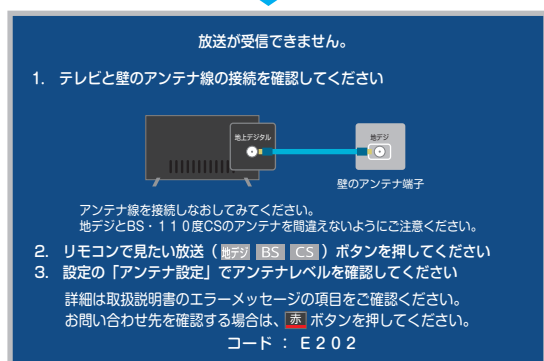
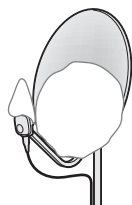
大雨が降っている



大雪が降っている



アンテナに雪が積もっている



本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

故障かな？と思ったら

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以下の流れに従ってもう一度チェックしてみてください。

1 テレビを再起動する

- 右の「テレビを再起動する」の手順に従ってテレビを再起動してみてください。

2 ソフトウェアの更新をする

- 「ソフトウェアを更新する」の手順に従ってソフトウェアを最新にアップデートしてください。

3 「症状に合わせて解決法を調べる」を参照する

- 次ページの「症状に合わせて解決法を調べる」をご覧ください。

4 サポートページで調べる

- 下記サポートページをご覧ください。最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせを調べてください。
<https://www.regza.com/regza/support/>

- それでも解決しないときは、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

テレビを再起動する

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以下の手順でテレビを再起動してください。

1 を長押しする

- 再起動/電源オフの選択画面が表示されます。

2 ▲・▼で「再起動」を選び、 を押す

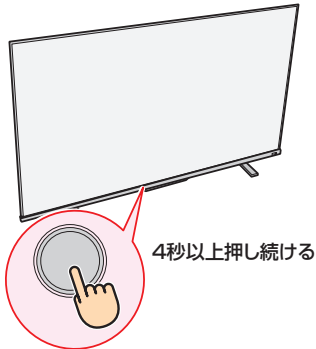
- テレビが再起動します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

テレビが操作できなくなったときテレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作を試みてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体ボタンを長押ししてリセットする
① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	① 本体底面にある本体ボタンの中央部を押し続ける  4秒以上押し続ける ② シャットダウン中画面が表示されたら、本体ボタンから手を離す

症状に合わせて解決法を調べる つづき

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
電源コードが本体から抜けていませんか。	• 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。	26
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	25
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	25
リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。	• 向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。	25
リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。	• リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。 リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。	124
他のチャンネルでは、操作ができますか。	• データ放送やHybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。その場合、リモコンの dデータ を押してデータ放送やHybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスを終了します。 ※ dデータ を押しただけではデータ放送などが終了しない場合があります。その場合は放送やチャンネルを切り換えてください。	35
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	—

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	22
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。	—
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	—
レコーダーなどを經由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	—
電波が弱くありませんか。	• アンテナレベルを確認します。 • アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。	115
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたりしていませんか。	• 確認して、しっかりと接続します。	22
アンテナ線(端子)がさびていませんか。	• 販売店にご相談ください。	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	76
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	—
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• リモコンの 入力切換 で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	86
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	• 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。	80

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせA I」を選択してみます。 • 「バックライト」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。	106 110
映像メニューが「おまかせA I」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。	• 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせA I」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	15
一時停止や、静止画になっていませんか。	• 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。	—

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	106

映像メニューが一定時間後あざやかに変更される

確認すること	解決法・その他	ページ
設置場所が「店頭」に設定されていませんか？	• 設定の「設置設定」を「ご家庭」に変更してください。	27

音声

音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• + 音量 — で音量を上げます。	33
消音状態になっていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます + 音量 — (でも解除されます)。	33
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	• 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。	80

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」：0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

症状に合わせて解決法を調べる つづき

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	- 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	115
「初期スキャン」をしましたか。	「初期スキャン」をします。	117
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ (http://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。	—
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)。	—

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	22
有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	- 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 - ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。 - BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	23
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。	左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	—
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	- BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。	116

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」：0120-97-9674（無料）、0570-05-5100（携帯から、有料）

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。	22
有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	- 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 - ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。 - BS・110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	23
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。	左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	—
左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。	左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。	22
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。 「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。	116

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんか。	- 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 「番組表を更新する」の操作をします。	— 38

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
—	番組表を表示中に 赤 を押して、文字の大きさを変更することができます。	39

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にいませんか。	番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。	39
「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)が入っていますか。	「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)を入れてください。チェックの入っていないチャンネルは表示されません。	119

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

症状に合わせて解決法を調べる つづき

お知らせアイコンが何度も表示される

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	- サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、画面表示を押したときにアイコンが表示されます。	132

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	- 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ (https://www.regza.com/regza/) でお知らせしています。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	—
機器が正しく接続されていますか。	「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。	49
機器の電源がはいっていますか。	- USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	—
機器が本機に登録されていますか。	USBハードディスクを本機に登録します。	50
USBハブを使用している場合、本機で使えるようになっていますか。	- ホームページ(https://www.regza.com/regza/)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	49

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	- 残量を確認する。 - 不要な番組を削除する。 「自動削除設定」を「オン」に変更する。	72 75
コピー禁止の番組ではありませんか。	録画はできません。	—
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。	本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	—
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	- 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	66
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第〇〇話」や出演者名など)を削除します。	63
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	- サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	132

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「オン」になっていませんか。	「自動削除設定」を「オフ」に設定する。 - または、消したくない番組を保護する。	75
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	- 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。	— 69
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	録画リストの分類タブで「すべて」を選択する。	67

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	- ルーターを通して正しく接続します。 - 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作を試してみてください。 ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く ③ 1分以上待つ ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする - 映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。 それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。	54
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	—
本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス情報(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていませんか。	「IP設定」を「DHCP」に設定します。 ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。	99
ネットワークメディアサーバーやDHCP-IP対応サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	- 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「詳細設定」⇒「ヘルプ」の「本機の情報」や「ネットワーク情報」で確認することができます。	— 99
無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。	無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。	—
本機が再生できる種類のコンテンツですか。	本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。	135

ほかのレグザで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

症状に合わせて解決法を調べる つづき

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	- HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。	76
推奨機器(対応機器)ですか。	- ホームページ https://www.regza.com/regza/ でお知らせしています。 ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	—
本機と接続機器の設定は正しいですか。	- 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。 - 本機の「デバイス設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。	—

オーディオ機器(オーディオシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	- HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。 - レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。 - ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。	76 78
接続機器側の設定は正しいですか。	オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。	—
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「オーディオシステム」に設定しておく、テレビの電源をオンしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 - サブメニューの「スピーカー出力切替」で「オーディオシステム」に切り換えます。	85 90

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。	- 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 - ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。	— 103
接続や設定は正しいですか。	確認して、正しく接続・設定します。	98 102
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	—
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	「IP設定」を「DHCP」に設定します。	99
レグザプライバシーポリシーを「同意する」にしていますか。	「同意する」に設定します。	103
本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス(機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く)を利用できるソフトウェアバージョンですか。	- ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。 ※ 本機のソフトウェアバージョンを常に新しい状態にするために、電源プラグを抜かないようにしてください。クラウドサービスが正しく表示されない場合、「クラウドサービス関連情報の初期化」を行うと、正しく表示されるようになります。	— 101

無線LANが使えない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続や設定は正しいですか。	確認して、正しく設定します。	98 102
お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。	無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。	—
複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。	無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

症状に合わせて解決法を調べる つづき

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。	「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(I P v 4)」を確認します。 - 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する - 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします 機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする 接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。 接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。 ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機を再起動します。 <table><tr><th>再起動のしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td> ① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ </td><td> ① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ </td></tr></table> - 再起動をしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 - 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	再起動のしかた	操作で対処したいとき	① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ	① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ	99 147 127
再起動のしかた	操作で対処したいとき					
① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ	① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ					

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
アドレス情報(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。	- お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(I P v 4)」を確認します。 - 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっているればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。 - ルーターを再起動する。 - 本機を再起動する <table><tr><th>再起動のしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td> ① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ </td><td> ① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ </td></tr></table> - 本機のIPアドレスを確認する	再起動のしかた	操作で対処したいとき	① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ	① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ	99 147 99
再起動のしかた	操作で対処したいとき					
① リモコンの「電源」ボタンまたは本体底面にある本体ボタンの中央部を長押しする ② リモコンの「電源」ボタンを長押しした場合は、ポップアップ表示画面から「再起動」を選ぶ	① 設定メニューの「端末情報」の「再起動」を選ぶ					

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。 [サブメニュー]から[降雨対応放送]に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	44
「放送が受信できません。 1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見た放送([地デジ][BS][CS])ボタンを押してください 3. 設定の「アンテナ設定」でアンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：E202」	- アンテナが放送に適合していない。 - アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 - BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 - アンテナの方向ずれや故障。 - 電波が弱くて視聴できない。 - 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	- 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 - アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。 - BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	22 24 116
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「ACASチップが認識できません。」	ACASチップが破損してる。	東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	—

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「USB1端子(またはUSB2端子または通常録画用USB端子)の電源容量をこえました。 接続機器をはずし、電源ボタンで、電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」：0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

エラーメッセージが表示されたとき つづき

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合(なんらかの操作、動作、表示をしている)がある。	しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。	—
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。	レコーダーで予約を取り消します。	—
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。	指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。	—
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。	—
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。	レコーダーの時刻設定をします。	—
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。 レコーダーが正しく接続されていない。	レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。 本機とレコーダーを正しく接続します。HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。	— 76

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーにアクセスできませんでした。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	98 102
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	—
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません(本機の動作は正常です)。	—
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。		

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「8K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。	—	—

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめ承知おきください。

■それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.regza.com/regza/support/>

※上記アドレスおよびQRコードは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」:

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 (通話料: 無料)

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 (通話料: 有料)



使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などにくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください(番組情報を取得するためです)。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI入力1~4)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
 - ・ ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - ・ 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- ① **画面表示**を押して、録画中の表示が出ないことを確認する
 - ② 電源プラグをコンセントから抜く

遠隔操作について

- リモコン、またはレグザAppsコネクトなどを利用してスマートフォンやタブレットPCからテレビを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画することはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ・ 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
 - ・ 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他人に送る。
 - ・ 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

4K映像の表示について

- 本機はBS・110度CSの4K放送に対応しています。
- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

本機の無線LAN/Bluetoothを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備(無線LAN/Bluetooth)を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 無線LANの2.4GHz帯とBluetoothは同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると、電波が干渉し合い通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANを5GHz帯に設定してお試しください。
- 本機の無線LANおよびBluetoothが使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANやBluetoothを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)

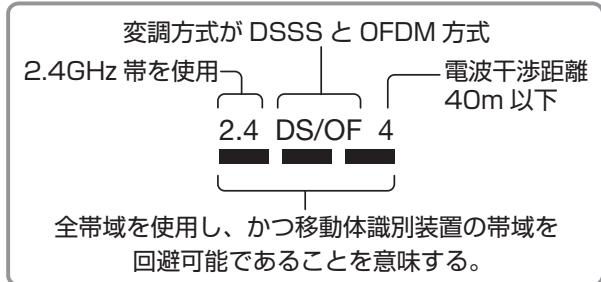
0120-97-9674

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)

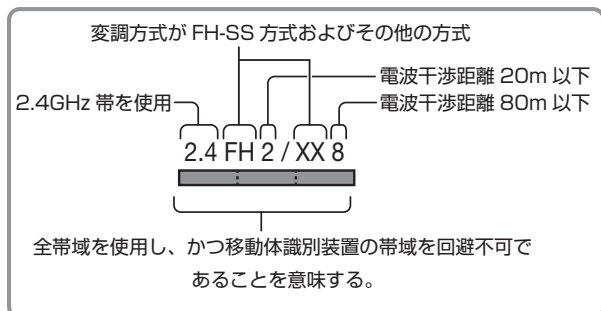
0570-05-5100

※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用にならない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用する場合は、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
- 無線LAN：



- Bluetooth：



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

規格	チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n	1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48 5.18 ~ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64 5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140 5.50 ~ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗する場合があります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。
- 本機のBluetoothは、以下の規格を使用しています。
規格：Bluetooth Specification Ver.5.0
周波数帯：2.4GHz帯
- Bluetoothの性能や環境条件による影響など：
 - Bluetoothは、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機は、USB接続のBluetoothアダプターには対応していません。本機のUSB端子にUSB接続のBluetoothアダプターを接続した場合、内蔵のBluetoothが正常に動作しなくなる場合があります。

使用上のお願いとご注意 つづき

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまうおそれがあります。

- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」で、暗証番号や双方向サービスの情報(住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報)、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- 廃棄時にご注意ください
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合わせによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて



注意

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

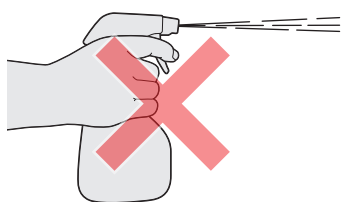
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押ししたりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。
- ※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。
- ※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

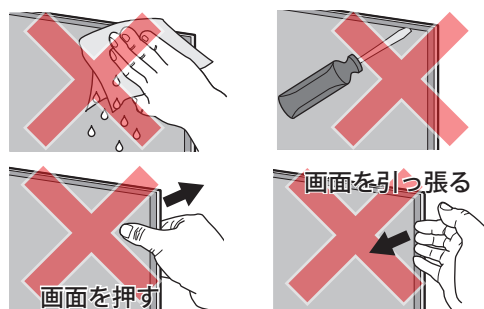
- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



- ※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。
- ※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。
- ※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。

また、画面のみを押ししたり、引っ張ったりしないように注意してください。



ソフトウェアのバージョンアップ予定

- 本機では、ソフトウェアのバージョンアップによる機能の追加が予定されています。
バージョンアップ用ソフトウェアが利用可能になり、「ソフトウェアを更新する」**130**でソフトウェアが更新されると、追加機能が利用できるようになります。（「サーバーから手動でダウンロードする」**131**の操作でもソフトウェアの更新ができます）
バージョンアップ用ソフトウェアについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/support/>)でお知らせしています。
- 追加された機能の操作のしかたについては、以下のホームページの「取扱説明書ダウンロード」に、「M550K追加機能編」がM550Kシリーズの取扱説明書と一緒に掲載されることがありますのでご確認ください。

<https://www.regza.com/regza/>

バージョンアップで追加を予定している機能

- My.Choice (マイドットチョイス)機能

- ※ バージョンアップの時期については、機能によって異なる場合があります。
- ※ お買い上げの時期によっては、上記の機能が追加されている場合があります。
その場合は、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)の「取扱説明書ダウンロード」にM550Kシリーズの取扱説明書と一緒に「M550K追加機能編」が掲載されることがありますのでご確認ください。

仕様

種 類		4K液晶テレビ				
形 名		43M550K	50M550K	55M550K	65M550K	75M550K
受 信 機 型 サ イ ズ		43V	50V	55V	65V	75V
電 源		AC 100V 50/60Hz共用				
消 費 電 力		143W 電源「待機」時 0.5W※1、 (機能動作時 21W)※2	143W 電源「待機」時 0.5W※1、 (機能動作時 21W)※2	173W 電源「待機」時 0.5W※1、 (機能動作時 21W)※2	206W 電源「待機」時 0.5W※1、 (機能動作時 21W)※2	248W 電源「待機」時 0.5W※1、 (機能動作時 21W)※2
年 間 消 費 電 力 量 [標 準] 時		90kWh/年	90kWh/年	97kWh/年	113kWh/年	123kWh/年
区 分 名		DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能1)				
ス タ ン ド を 含 む 外 形 寸 法 () は 本 体 の	幅	96.5(96.5)cm	111.9(111.9)cm	123.2(123.2)cm	145.1(145.1)cm	167.5(167.5)cm
	高 さ	58.3(56.2)cm	67.1(64.9)cm	73.4(71.3)cm	85.7(83.6)cm	98.3(96.2)cm
	奥 行	19.6(8.7)cm	25.9(8.1)cm	25.9(8.1)cm	32.0(8.1)cm	37.7(8.2)cm
ス タ ン ド を 含 む 質 量 () は 本 体 の み		10.0(9.7)kg	13.0(12.6)kg	15.5(15.1)kg	20.5(20.0)kg	30.0(29.3)kg
壁 取 付 金 具 の 取 付 寸 法		幅20cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅30cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅30cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅40cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅40cm x 高さ30cm、 M6ネジ
液 晶 画 面	画 寸 面 法	幅94.1cm、 高さ52.9cm、 対角108.0cm	幅109.6cm、 高さ61.6cm、 対角125.7cm	幅121.0cm、 高さ68.0cm、 対角138.8cm	幅142.8cm、 高さ80.4cm、 対角163.9cm	幅165.0cm、 高さ92.8cm、 対角189.3cm
	駆 動 方 式	TFTアクティブマトリクス				
	画素数	水平3840×垂直2160				
受 信 チ ャ ン ネ ル		地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999、110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K：BS 4K 001～499、CS 4K 500～999				
ス ピ ー カ ー		フルレンジ 2個、ウーハー 1個				
音 声 出 力		実用最大出力10W+10W+20W(総合音声出力40W) (JEITA)				
入 力 ・ 出 力 端 子	H D M I 入 力	HDMI入力 4系統(eARC/ARC：HDMI入力2のみ対応)				
	ビ デ オ 入 力	口径3.5mmミニジャック※3				
	U S B (録画専用)端子	USB3.0				
	U S B 端 子	USB2.0 2系統				
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力 1系統				
	ヘ ッ ド ホ ン	口径3.5mmステレオミニジャック				
L A N 端 子		RJ-45				
使 用 環 境 条 件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80% (結露のないこと)				
付 属 品		「付属品を確認する」 143 をご覧ください。				

※1：設定の「スクリーンレスモード」を「無効」にしているときの消費電力です。

※2：電源「待機」時に以下の動作をしているときの消費電力です。

- ・番組情報などを取得しているとき

※3：付属のビデオ入力変換アダプターを使い、ミニジャックからRCA入力端子に変換します。

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 / ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応していません。
伝送方式	OFDM方式 / DSSS方式
周波数範囲(中心周波数) およびチャンネル	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11ac： 5.18GHz～5.24GHz (36、40、44、48) [W52] 5.26GHz～5.32GHz (52、56、60、64) [W53] 5.50GHz～5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b： 2.412GHz～2.472GHz (1～13)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません。)

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(50Vなど)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- ※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)



グリーンマークは、「JIS C0950電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(通常J-Moss)での、特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを表すマークです。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。
- ※ 「自動削除設定」が「オン」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例 1TBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大17Mbps)だけを録画する場合	約125時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大24Mbps)だけを録画する場合	約88時間
BS/110度CSの4K放送番組 (4K 最大33Mbps)だけを録画する場合	約64時間

- 放送番組の種類は、**シーン出典**から確認することができます。
- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面**72**に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です(<https://www.regza.com/regza/>)。

さくいん

数字

1コンテンツリピート	93
------------------	----

アルファベット

A

Android TV™の設定を変更する	126
Android TV™を使う	30
ACASチップ情報を確認する	133
ALLM設定	79

B

Basic Operations	136
Bluetooth機器を接続する	81
BS・110度CSアンテナ設定	115

D

DNSアドレス	103
Dolby Atmos	112
Dolby DRC	114

E

eARC/ARC	16, 76, 78, 85, 90
----------------	--------------------

G

Googleアカウント	27
Googleアシスタント	31
Googleアシスタントの設定を変更する	126

H

HDMI連動機能	84
HDMI連動設定	85
Hybridcast	43

I

IPアドレス	99
IP設定	99

R

RGBレンジ設定	80
----------------	----

U

USBハードディスクが使用できない	152
USBハードディスクの残量	72
USBハードディスクの設定をする	50
USBハードディスクの接続をする	49
USBハードディスクを本機に登録する	50

W

Wake on LAN	57
-------------------	----

かな あ

アイコン一覧	135
明るさ検出	111
明るさ詳細設定	110
明るさセンサー	15, 111
アクセスポイント選択	27, 99
あざやか	106
頭出し再生	89
アドバンスドHDR (ハイダイナミックレンジ)復元	108
アプリ画面	31
暗証番号削除	121, 122
暗証番号設定	121, 122
アンテナを接続する	22
アンテナを調整する	115

い

イコライザー	113
色あい	107
色温度	109
色がおかしい	149
色の濃さ	107
インターネットに接続する	98
インターネット機能制限設定	122

う

上書き録画	63
-------------	----

え

映画	106, 112
映画プロ	106
衛星アンテナ電源供給	116
映像、音声を切り換える	44
映像が出ない	148
映像信号切換	44
映像の詳細情報を表示させる	45
映像メニュー	106
映像を静止させる	45
エラーメッセージ	157

お

オーディオ機器で聴く	91
オーディオ用光デジタルケーブル	77
オートボリウム	113
お知らせアイコンが何度も表示される	152
お知らせを見る	133
追っかけ再生	67
オーディオシステム	91
オーディオシステム音質連動	85
オーディオシステム音声入力	85
お手入れについて	163
音を一時的に消す	33
オフタイマー	47
おまかせ	112
おまかせ録画	65
おまかせAI	106
音楽を再生する	94
音楽ファイルのフォーマット	140
音が出ない	149
音声詳細設定	113
音声信号切換	44
音声メニュー	112
オンタイマー	46
音多切換	44
音量を調節する	33

さくいん っづき

か

外部機器を接続する	76
外部入力	86
外部入カスキップ設定	79
外部入力設定	79
外部入力の機能を設定する	79
外部入カ表示設定	92
各部のなまえ	15
各部のなまえ-リモコン	17
画面が暗い	149
画面サイズ切換	44
画面の明るさ	110
かんたん初期設定	27
「かんたん初期設定」をやり直すとき	29
乾電池を入れる	25
ガンマ調整	108

き

機器の情報	72
キャリブレーション	110

く

クラウドサービス	103
クラウドサービスの情報を初期化する	101
クラウドA 高画質	111
クリア音声	46, 112
黒レベル	107

け

ゲイン調整	107
ゲーム	106

こ

降雨対応放送	44
故障かな? と思ったら	146
コントラスト感調整	108
こんな場合は故障ではありません	146

さ

サーバーから手動でダウンロードする	132
再スキャン	118
再生設定	52, 68, 69
再生中にできるリモコン操作	68
サブメニューについて	35
左右バランス	114
サラウンド	112
ざんまいスマートアクセス	73

し

シーン検索	69
システムスタンバイ	83, 84
視聴制限一時解除	40, 67
視聴予約	59
質感リアライザー	108
指定した日時の番組表を表示させる	38
自動ゲーム機器設定	79
自動削除設定	75
自動スキャン	118
字幕を表示させる	33
シャープネス	107
写真のフォーマット	140
写真を再生する	96
週間番組表	38
重低音	113
仕様	165
省エネ設定	45, 51
症状に合わせて解決法を調べる	147

消費電力	165
商標	141
初期スキャン	118
信号フォーマット詳細表示	45

す

ズーム	138
スピーカー出力切換	90, 91
スライドショー	97

せ

精細感・ノイズ調整	107
接続ケーブルの種類と画質・音質の関係	77
設定の初期化	127
設定メニュー 一覧	128
節電モード	45

そ

操作ガイドについて	34
操作無効設定	124
双方向サービス	43
ソフトウェアの自動ダウンロード	130
ソフトウェアのバージョン	131
ソフトウェアを更新する	130

た

対応機器について	166
ダイナミック	112
ダイナミックNR	107
タイムサーチ	93

ち

地域と郵便番号を設定する	120
地上デジタルアッテネーター設定	116
地上デジタルアンテナ設定	115
地上デジタルチャンネルを自動で設定する	117
地上デジタル放送が映らない	150
地デジ表示	40
チャンネルスキップ設定	119
チャンネル並び順	40
チャンネルをお好みに手動で設定する	118

つ

追跡キーワード	63
追跡基準	63
通常モード	80

て

データ放送の設定をする	120
データ放送やラジオ放送を楽しむ	43
デジタル音声出力	114
デジタル音声出力タイミング	114
デジタル放送の種類と特徴	21
テレビが操作できなくなったとき	147
テレビスピーカー	90, 91
テレビ設置設定	115
テレビ番組を楽しむ	32
テレビ/ラジオ/データ切換	40, 43
テレビ→連動機器電源オフ	85
テレビを設置する	20
電源LED表示設定	111
電源オン時優先スピーカー	85
電源がはいらない	148
電源を入れる	26
転倒・落下防止のしかた	20

と

動画のフォーマット	140
動画配信サービスを楽しむ	105
動画を再生する	92
動画を並べ替える	92
独立データ放送	43

に

日時を指定して予約をする	62
入力切替	86

ね

ネイティブ	138
ネットワークサービス	102
ネットワーク情報	99
ネットワーク設定	27, 99
ネットワークメディアサーバー	53
年間消費電力量	165

の

ノーマル	138
------	-----

は

バックライト	110
早送り再生	68, 89, 93, 95
早見早聞	68
早戻し再生	68, 89, 93, 95
番組概要表示	40
番組ガイドで番組を予約する	61
番組検索	62, 70
番組検索(番組を探す)	41
番組情報を見る	36
番組説明を見る	36, 114
番組表	37
番組表-1チャンネル表示とマルチ表示	39
番組表-ジャンル色分け	39
番組表-週間番組表	38
番組表で予約をする	67
番組表-日時切替	38
番組表に内容が表示されない	151
番組表の文字が小さい	151
番組表-番組記号一覧	40
番組表-番組情報の取得	38
番組表-放送メディア切替	40
番組表-文字サイズ変更	39
番組表を更新する	38
番組表を便利に使う	38
番組を検索して録画・予約をする	62
番組を並べ替える	72

ひ

光デジタルケーブル	77, 78
表示チャンネル数	40
標準	106, 112

ふ

付属品を確認する	14
プロキシ設定	99
プロ調整	109

へ

ヘッドホン出力設定	114
ヘッドホンで聴く	47

ほ

放送局からのお知らせ	132
放送時間(連動)	63
放送視聴制限設定	121
ボード	132
ほかのレグザで再生できない(USBハードディスク)	153
保護	63, 75
ホーム画面について	30
本機から起動する機器を登録する	57
本機に関するお知らせ	132
本機の情報	125, 131
本機の特長	2
本機の入出力対応信号	77
本機のリモート電源オン機能を設定する	57
本機のリモコンで対応機器を操作する	87
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	162
本体操作ボタンと入出力端子	16
本体ボタンによる「機能切替」について	33

ま

マジックチャプター	52, 63
マルチ表示	39

む

無線LANの設定をする	99
-------------	----

め

メディアプレーヤー	82, 92, 94, 96
免責事項について	162

も

文字スーパーの言語を設定する	120
文字を入力する	134
モニター	106

ゆ

ユニカラー	108
-------	-----

よ

予約の確認	64
予約の動作について	66
予約の取り消し	64
予約の変更	64
予約・録画の優先順位について	66

ら

ライセンス	141
ラジオ放送	43

り

リピート	93, 95, 97
リモート電源オン設定	57
リモコンコード設定	124
リモコン設定	124
リモコンで操作ができない	148
リモコンで番組を選ぶ	32
リモコン動作モード	85
リモコンの準備をする	25
リモコンの使用範囲について	25

さくいん つづき

れ

レグザAppsコネクトの設定.....	56
レグザサウンドイコライザー設定.....	114
レグザサウンドシステム.....	78, 91
レグザナビを使う.....	104
レグザプライバシーポリシー.....	103
レグザリンクについて.....	83
レジューム再生.....	67
レゾリューションプラス設定.....	107
連続ドラマを予約する.....	60
連動機器→テレビ電源.....	85
連動機器→テレビ入力切換.....	85
連動データ放送.....	43
連ドラ.....	63
連ドラ予約.....	60, 63

ろ

録画ができない、または録画されなかった.....	152
録画先.....	63
録画した番組が消えた.....	153
録画した番組を再生する.....	67
録画設定.....	52
録画できる機器と番組.....	48
録画できる時間の目安.....	166
録画番組の修復.....	69
録画番組を消す.....	75
録画番組を保護する.....	75
録画品質.....	63
録画予約.....	59
録画・予約機能について.....	48
録画・録音について.....	160
録画を中止するとき.....	58

わ

ワンタッチスキップ.....	68
ワンタッチスキップ設定.....	68
ワンタッチプレイ.....	83
ワンタッチリプレイ.....	68
ワンタッチリプレイ設定.....	68

保証とアフターサービス

必ずお読みください

① 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.regza.com/regza/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



② 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ 形名 製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】

フリーダイヤル(通話料：無料)

0120-97-9674

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用にならない場合は、

03-6830-1048 (通話料：有料)

【携帯電話からのご利用は】

ナビダイヤル(通話料：有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通話料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証期間(ご購入後一年間)を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのもと、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。

- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
- 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼される時は～出張修理

- 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を待機にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	4K液晶テレビ
形名	43M550K、50M550K、55M550K、65M550K、75M550K
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくとう便利です。
	TEL() —

① 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.regza.com/regza/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



② 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ 形名 製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)

0120-97-9674

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048 (通話料：有料)

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

TVS REGZA 株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。